

令和2年度事業報告書

令和3年6月

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

第 1 基本方針	1
第 2 主要事業	4
第 3 実施項目	
基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり	
実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します	1 7
実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します	2 1
実施目標 3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します	2 8
基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり	
実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します	3 2
実施目標 2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します	3 5
基本目標 3 災害福祉支援体制づくり	
実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します	5 3
実施目標 2 災害時の市町社協を支援します	5 5
基本目標 4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり	
実施目標 1 組織・経営強化を図ります	5 7
実施目標 2 「人財」育成を図ります	6 3
事業報告の附属明細書	6 5

本書は、別途作成した「第五次活動推進計画」の理念・体系に基づいて作成しています。

基 本 方 針

第1 基本方針

1 第五次活動推進計画 基本理念

| 本県における地域福祉を取り巻く現状と課題

最も大きな課題は人口減少への対応	現在 364 万人 →2025 年 推計 348 万人(約 16 万人減少)
超高齢社会への対応	一人暮らしや夫婦のみの高齢者世帯の増加 ⇒日常生活を支える仕組みづくり
価値観の多様化や地域のつながりの希薄化	社会的孤立、地域の福祉力が脆弱化 ⇒福祉教育、地域づくり(多分野連携)
課題の複合化・複雑化、制度の狭間	各分野の関係機関の連携が必要(包括的な支援体制の整備、協働の中核機能)
福祉・介護人材の安定的な確保 (2025 年の介護職員 8 千人不足)	イメージアップ、高齢者・外国人の介護人材確保等
誰一人取り残さない社会の形成と高齢者、女性、外国人など、これまで以上に多様な人材の活躍が不可欠	



めざす社会の姿「地域共生社会の実現」

制度・分野の『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、世代や分野を超えて『丸ごと』つながり、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

※基本理念とは、組織の姿勢や進むべき方向性を明確化するものである。(組織の存続原点、使命)

| 地域福祉の推進を目的とする県社協の役割(機能)

1 広域機能

社会全体として取り組んでいくべき重要な課題や、市町段階では容易に取り組めないような困難性の高い課題への対応

2 専門機能

地域における利害調整等を行う「第三者機関」の役割や、単独の事業体では完結できないような専門的な課題への対応(経営支援、人材確保・育成)

3 政策提言・連絡調整機能

地域間格差を解消していくような情報提供と調整、情報共有の場づくり、政策提言

4 情報提供機能

全国各地の情報や新たな課題への対応事例、そのノウハウなどを収集し、提供

計画推進機関：令和2年(2020年)4月～令和7年(2025年)3月の5年間

2 第五次活動推進計画 推進体系

基本理念

地域共生社会の実現をめざし、
多様な主体の参画による地域福祉を推進します。

<p>基本目標 1 地域福祉を支える 仕組みづくり 地域共生に資する住民主体の地域力強化及び包括的な支援体制の構築を、広域的な見地から推進します</p>	<p>実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します 地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みる体制づくりを推進します</p> <p>実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します 総合相談体制を構築するとともに、問題を解消するための伴走型支援の拡充や官民協働による支援活動を推進します</p> <p>実施目標3 地域共生の基盤となる市町社協を支援します 地域の最前線で地域福祉の推進をリードする、市町社協の経営基盤の強化及び総合力を活かした活動の活性化を支援します</p>
<p>基本目標 2 地域福祉を支える 組織・人づくり 地域共生に資する福祉サービスの質の向上及び福祉・介護人材の確保・育成支援を推進します</p>	<p>実施目標1 社会福祉事業者等を支援します 社会福祉事業者等の経営基盤の強化とともに、複数の社会福祉法人等が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図ります</p> <p>実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します 福祉の仕事のイメージアップを図ると共に、関係団体との連携を深め、多様な人材確保や就労環境の改善に資する担い手の育成の支援に努めます</p>
<p>基本目標 3 災害福祉支援 体制づくり 地域共生に資する総合的な福祉救援活動の体制整備を平時から推進します</p>	<p>実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します 県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制を構築します</p> <p>実施目標2 災害時の市町社協を支援します 市町社協が災害支援活動に専念できるよう、社協ネットワークを活かした重層的な支援体制を構築します</p>
<p>基本目標 4 地域福祉を支える 県社協の基盤づくり 地域共生に資する県域の地域福祉推進の中核として、基盤づくりを推進します</p>	<p>実施目標1 組織・経営強化を図ります 多様な主体の参画による組織体制、ガバナンス、安定的な経営基盤の強化とともに、様々な媒体を活用した情報収集と広報力の強化を図ります</p> <p>実施目標2 「人財」育成を図ります 職員を「人財」として大切に、目指す職員像・行動目標を作成し、職員のキャリアアップを支援する計画的な人材育成を図ります</p>

大切にする視点

- ・「SDGs（持続可能な17の開発目標）」（貧困、保健、教育、ジェンダーなど）
- ・5つの特徴：普遍性、包摂性（誰一人取り残されない）、参画型（全てに役割を）、統合性、透明性

3 SDGs（持続可能な開発指標）と第五次活動推進計画の関係

- 1 持続可能な社会の実現を目指し、2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された「SDGs」では、2030年に向けて、すべての国々に普遍的に適用される17の目標に基づき、経済・社会・環境をめぐる広範な課題への統合的な取組が求められています。
- 2 第五次活動推進計画に掲げる基本目標に基づく取組の推進が、SDGsの目標につながります。

- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの目標（一部）

- ① 貧困（あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ）
- ② 保健（あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する）
- ③ 教育（すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する）
- ④ ジェンダー（ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る）
- ⑤ 成長・雇用（生産的な完全雇用及び働きがいのある人間らしい仕事を推進する）
- ⑥ 平和（持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進）
- ⑦ 実施手段（持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化）

第五次活動推進計画基本目標	①貧困	②保健	③教育	④ジェンダー	⑤成長・雇用	⑥平和	⑦実施手段
①地域福祉を支える仕組みづくり	○	○	○	○	○	○	○
②地域福祉を支える組織・人づくり		○	○	○	○	○	○
③災害福祉支援体制づくり		○		○		○	○
④地域福祉を支える県社協の基盤づくり		○		○	○		○

主 要 事 業

第2 主要事業

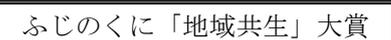
基本目標 1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標 1 住民主体による地域力の強化を推進します

重点事項 福祉以外の分野との協働促進及び地域福祉教育の推進

全ての世代の人々が地域、暮らし、生きがいととともに創り合う「地域共生社会」の実現を目指し、教育、農林水産、多文化共生など福祉以外の分野との協働促進を図るとともに、“社会的包摂”に向けた地域福祉教育を推進した。

<決算額：1 1,260 千円、2 2,586 千円、3 3,500 千円>

事業内容	
1	<p>ふじのくに「地域共生」大賞の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度ふじのくに「地域共生」大賞の募集（7/7～9/15） 応募件数 56 件 優秀賞 2 件、奨励賞 2 件、神谷基金賞 4 件、多文化共生賞 1 件 ふじのくに「地域共生」大賞表彰式の開催（7/7） 優秀賞 1 件、奨励賞 2 件、神谷基金賞 1 件、多文化共生賞 2 件 
2	<p>生活支援体制整備の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町社協生活支援コーディネーター&地域福祉担当者 ZOOM 会議（5/22, 5/29） 移動支援事業促進事例映像の製作（御殿場市ほくばらみんなで支えるプロジェクトの取組を撮影） 移動支援サービス運営に係るシステム研究会の開催（9/17） 生活支援コーディネーター養成研修&フォローアップ研修の開催（10/17, 1/15） 「地域共生社会を志向した住民主体の支え合い活動」紹介動画の作成（赤い羽根助成） 
3	<p>「福祉教育副読本・プログラム集」「地域福祉教育の手引き」の活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校 506 校に「福祉教育副読本・プログラム集」を配付 ※赤い羽根助成事業 地域福祉教育担当者会議の開催（9/9） 地域福祉教育推進委員会の開催（12/9） 福祉教育副読本の活用実態把握のサンプリング調査の実施（180 小学校のうち 112 から回答）

【進捗状況及び成果】

「地域共生社会」の実現に向けて、「縦割り」から「丸ごと」の地域づくりや「多分野連携」を図るために、令和元年度ふじのくに地域共生大賞受賞団体を表彰し、先駆的な事例を情報発信するとともに令和2年度の大賞募集を行った。コロナ禍であってもつながりを絶やさずに各市町の取り組みを情報共有し、生活支援体制整備事業が進むよう支援を行った。

また、福祉教育副読本及びプログラム集を小学校 506 校に配付するとともに、活用状況及び課題を把握するため、活用実態把握のサンプリング調査を行い、地域福祉教育の推進につなげた。



福祉教育副読本
「みんながってもおなじ『いのち』」



住民主体の支えあい活動紹介映像

実施目標 2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

重点事項 市町における包括的な支援体制の構築の推進

住民が抱える生活課題の内容は様々で複雑化・複合化しているため、高齢、障がい、児童、生活困窮者などの属性に関わらず、住民が抱える生活課題の解決と繋がり続ける支援活動に向け、支援機関がチームとなり包括的な支援体制を構築する取組を支援した。

＜決算額：1,2 2,700千円 3,4 6,075千円＞

事業内容	
1	<p>多機関協働による包括的支援体制の構築支援 ※県委託事業</p> <p>ア 全体会の開催 (6/26 WEB 配信) 改正社会福祉法が目指す地域福祉の方向性及び市町の包括的支援体制構築に向けた取組について 講師：厚生労働省、中島修教授 (文京学院大学人間学部人間福祉学科)</p> <p>イ 地域別研究会の開催 (7/21 東部①、7/31 賀茂、8/5 中部、8/7 東部②、8/12 西部)</p> <p>ウ 市町へのアドバイザー派遣 (小山町 12/9・函南町 12/22・藤枝市 12/25・沼津市 1/18) 及び事前ヒアリング6市2町へ実施</p> <p>エ 市町の体制整備に係る相談支援 (伊豆市：9/22、熱海市：10/16)</p> <p>オ 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (10/7、3/11)</p>
2	<p>市町社協における総合相談体制づくりの推進</p> <p>ア 静岡県市町社会福祉協議会連絡協議会相談事業部会の開催 (12/24) 社協・生活支援活動強化方針 (第二次アクションプラン) のチェックリストに基づく取り組み状況の協議</p> <p>イ 静岡県下社会福祉協議会『保証機能』研究会の開催 (7/30、2/19)</p> <p>ウ 相談事業担当者研修会 (多機関協働による包括的支援体制の構築支援の地域別研究会と合同開催)</p>
3	<p>コミュニティソーシャルワーク (地域福祉コーディネーター) 実践者養成研修会の開催</p> <p>Step1 (7/10・11) WEB開催、Step2 (2/5・6) 25人</p> <p>コミュニティソーシャルワーク実践者スキルアップ研修会 (WEB開催) 20人</p> <p>CSW静岡県東部研究会 CSW事例検討会 (WEB共催) 2/7 16人</p>
4	<p>コミュニティワーク研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティワーク研修会 (データ利活用基礎編) WEB開催 1/17 37人 ・地域アセスメント研修会 WEB開催 2/2 32人

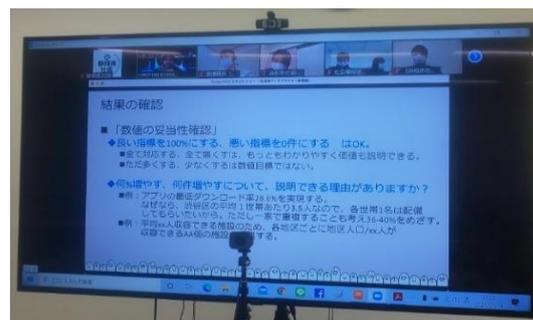
【進捗状況及び成果】

県内全市町及び市町社協に対し、包括的相談支援体制構築事業及び重層的支援体制整備事業の内容や必要性を伝えることができた。すでに体制整備に向けた準備を始めている市町に対しては、アドバイザー派遣を行うことでより具体的に検討を進めることができている。

また、コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修やコミュニティソーシャルワーク研修会を開催し、小地域福祉活動の担い手の養成や資質向上を図った。



コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会 (後期)



コミュニティワーク研修会 (データ利活用基礎編)

実施目標 3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

重点事項 市町社協の基盤強化と活動支援

地域共生社会づくりにむけて、「社協・生活支援活動強化方針」に基づく事業展開を進めるために市町社協連絡協議会の部会運営や市町社協個別支援・担当制の導入により市町社協の組織・事業基盤の強化を図り活動を支援した。

<決算額：26,761千円>

事業内容	
1	<p>市町社協連絡協議会及び部会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事会の開催（5/25）WEB開催 ・広報啓発部会、総務部会、介護保険部会の設置と開催
2	<p>市町社協個別支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業に取り組む13市町社協に地区担当職員を配置し、個別の事業支援を実施している。（支援回数102回） ・賀茂地区1市5町及び中西部3町社協の介護保険事業に関して、地域包括ケアのセーフティネットを担う訪問介護事業を中心に、個別コンサルテーションを伴う研修会を実施した。
3	<p>市町社協役職員研修・会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協監事研修会の開催(4/16) 監査体制や監事の役割を確認し、監査による組織基盤の強化を図った 監事のための監査チェックマニュアル第7版の発行 ・市町社協事務局長会議の開催（5月書面開催） 社会福祉を取り巻く環境の変化に迅速かつ適切に対応するため、各社協の事業展開に関する情報交換を書面にて実施した ・市町社協会計実務研修会の開催(7/16) 会場参加11人、WEB参加60人 基礎的な会計実務とコロナ禍における特殊な会計処理の習得を図った ・市町社協会長会議の開催（12/7予定）WEB開催 現状や課題を共有するとともに、地域を取り巻く情勢を踏まえ、今後の社協活動の方向性の確認を図った ・市町社協決算実務研修会の開催(2/15)
4	<p>社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施</p> <p>市町社協がプラットフォームを構築し、社会福祉法人単独では解決できない福祉課題に対応するため、複数の社会福祉法人等が参画するネットワークを構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業担当者WEB会議（6/17） ・焼津・藤枝地区 社会福祉法人役職員セミナー【共催】（9/10） ・伊豆市社会福祉法人等のネットワーク化による協働推進事業研修会(9/18) ・福祉人材新卒採用戦略セミナー@焼津【共催】（10/29） ・伊豆市・熱海市内社会福祉法人による『福祉なんでも相談』実施に向けたWEB勉強会【共催】（11/6） ・新型コロナ禍における『福祉の仕事の魅力』PR映像制作 ・社会福祉法人等「社会資源データベース」構築 ・13市町社協個別支援の実施【再掲】



賀茂地区における地域包括ケア構築に係る基盤強化研修会（令和2年8月9日）



伊豆市社会福祉法人等のネットワーク会による協働推進事業研修会（令和2年9月18日）

【進捗状況及び成果】

特に、市町における社会福祉法人等のネットワーク化や協働事業の実施に向けて、県社協に地区担当を配置し、支援に取り組んだ。新たに7市町が「社会福祉法人等ネットワーク化による協働事業」に取り組み、これまで県内35市町の内、24市町でネットワーク化が進んだ。

基本目標 2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標 1 社会福祉事業者等を支援します

重点事項 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人等が常に利用者の立場に立って、良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令順守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

また、新型コロナウイルス感染症への対応を、県や福祉・介護事業所等と連携して取り組んだ。

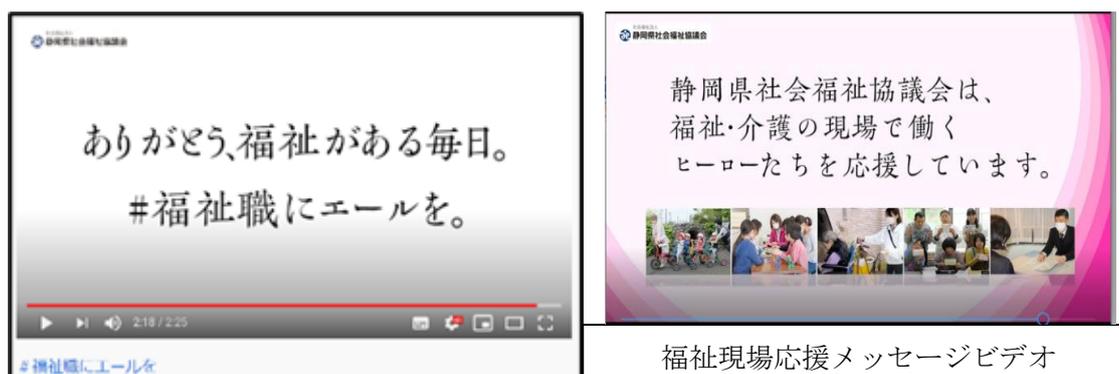
<決算額：1 15,039 千円, 2 6,092 千円, 3 11,827 千円, 4~6 17,800 千円, 7 385 千円, 8 2,200 千円>

	事業内容
1	民間社会福祉施設運営基金助成事業の実施 助成実績 ①一般助成 35件 5,727,000円 ②感染症対策緊急助成 106件 6,677,000円
2	福祉施設経営指導事業の実施 相談件数 588件
3	経営に関する研修会・セミナー等のWEB配信による開催 研修実績 9研修 参加事業所数 計946事業所 3研修 参加人数 計937人
4	「新型コロナウイルス感染症への対応に係る県への緊急提案及び要望」の実施 (1) 福祉・介護事業所、県域関係団体及び市町社会福祉協議会に対し、現状抱えている課題、行政への提案・要望事項等の緊急調査を実施（4月） (2) 調査結果を基に、主要事項を取りまとめ、県知事に対し緊急提案・要望書を提出（4/30） 【要望事項】 ①マスク等衛生用品の優先的な確保、②福祉・介護事業所に対する支援 ③福祉・介護職員の士気高揚、④新型コロナウイルス感染症への対応に係る情報提供 ⑤風評被害の防止に向けた啓発、⑥生活福祉資金貸付の特例措置に係る対応

5	<p>感染症発生施設への応援体制の構築に向けた検討(県委託事業 8/17 契約)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体、職能団体及び県関係部局で構成する検討会の開催(2回) ・施設・事業所職員を対象にした感染対策研修会(動画配信)の開催(視聴回数:17,515回) ・クラスター発生施設への応援職員の派遣(2件/有料老人ホーム、介護老人保健施設)
6	新型コロナウイルス感染症対策に係る研修会の開催 6/1 (300事業所/1,000人)
7	<p>福祉現場応援メッセージビデオ「#福祉職にエールを。」編の作成</p> <p>視聴回数 8,326回(令和3年3月末時点)</p>
8	<p>新型コロナウイルス感染症対策物資頒布事業の実施(県委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対策物資頒布サイトを構築し、主に中小の福祉・介護保険事業所を対象に、非接触型体温計、消毒液、手袋、ガウン等の物資購入支援を実施した。 <p>頒布実績:体温計162台、手袋6,000枚、消毒液4個、使い捨てガウン140枚</p>

【進捗状況及び成果】

特に、新型コロナウイルス感染症への対応として、県に対する緊急提案及び要望活動をはじめ、感染症発生施設への応援体制の構築に向けた検討、感染症対策物資頒布、「福祉現場応援メッセージビデオ」の作成など、福祉介護現場を応援するため積極的に取組を実施した。



実施目標 2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

重点事項 福祉サービスの担い手の確保の推進

福祉分野における人材確保が一層厳しくなる中、よりきめ細かなマッチングに努めるとともに、福祉の仕事のイメージアップや未来を担う人材の参入促進を図る事業に積極的に取り組んだ。

<決算額：64,563千円>

	事業内容
1	<p>社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉人材無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） <p>新規求人登録数 10,225人 新規求職登録数 3,464人 就職者数 521人</p> <p>※県全体（浜松市福祉人材バンク分含む） 703人 全国1位</p>
2	<p>福祉人材マッチング機能強化事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 本所と東部支所に配置した計5名のキャリア支援専門員により、求職者のニーズに適した職場開拓や従事者が働きやすい職場環境づくりのための事業者支援などを行うことにより、求職者と求人者のマッチングの強化を図った。 事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施 <p>福祉人材確保・定着実践研究会 福祉業界全体で取り組むイメージアップ戦略や効果的な採用活動を協議する場を設け、その課題に応じて研究会を開催した。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB会議＋分科会方式とした。</p> <p>①就職フェア分科会、②学生や他業種へのアプローチ分科会、③WEB会議ツール分科会、④人材定着分科会、⑤外国人雇用分科会</p>
3	<p>福祉の就職&進学フェアの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> I期 WEB開催（8/21～25に117法人の求人PR動画を公開） <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初めてのWEB開催となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> II期 求人PR特設サイト＋WEB方式（2/21,26）＋対面方式（西3/11,東3/13,中3/14） 県内福祉系大学等での出前説明会の実施（セミナー、求人冊子制作、出張相談） <p>計8回</p>
4	<p>他機関との連携による外国人福祉人材等の雇用・定着支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国人介護人材サポート事業 <p>外国人介護人材が言語、文化、生活習慣等の相違などを越えて職場環境に適応し、安心して働くことができるよう定着支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前調査の実施 巡回訪問（50か所） 研修交流会の開催（県内各地で18回計画、14回開催） <p>外国人介護職員が、出身国ごとに集まり、学びながら交流する機会を提供した。</p>
5	<p>福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透</p> <p>(1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施 小学校79回、中学校43回、高等学校26回 計148回 福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施</p> <p>(2) 福祉のしごと学び体験ツアー（リモート版）の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 東部（サンウェル沼津）9/5、中部（シズウェル）8/22

・西部（生活介護事業所ぴのほーぷ）8/29
 VR認知症体験プログラムや寸劇をとおして認知症の理解を促すとともに、リモートや動画等を交えて福祉の仕事のやりがいや魅力を伝えた。
 なお、中部会場では、静岡福祉大の学生による学校紹介等も実施。 参加者計46人
 (3) 保護者向け啓発資料の作成・配付 3月 10,000部作成

【進捗状況及び成果】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、求職者が直接、求人者の話を聞く機会が減少する中、個別就職相談会やWEBを活用しての施設見学会等を実施することにより、全国的に福祉分野の求職者数が減少している中であって、521人の就職者を確保し、浜松市福祉人材バンクと合わせて計703人と全国1位の実績となった。

なお、将来の人材確保につなげるための小・中・高校生に向けた福祉の仕事の魅力を伝える取組は、新型コロナウイルス感染症対策のため学校の休校等があり、目標の150講座より2講座少ない148講座となった。



福祉の就職&進学フェア<@WEB会場>
 令和2年8月21日~25日開催

福祉のしごと学び体験ツアーVR認知症体験
 <西部地区：令和2年8月29日>
 (社会福祉法人和松会 生活介護事業所ぴのほーぷ)



福祉のお仕事魅力発見セミナー
 (令和2年9月30日浜松市立鴨江小学校)

重点事項 保育士・保育所支援センターによる保育士確保の促進

今後見込まれる保育士需要の増加に向け、潜在保育士等の就職を支援した。

<決算額：13,186千円>

事業内容	
1	<p>保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育士・保育所支援センターの運営 <p>保育士・保育所支援センターの業務を担うため、就職支援コーディネーター2名を、福祉人材部に配置した。 保育所就職者数 109人</p>
2	<p>保育士就職説明会の開催</p> <p>潜在保育士及び新卒保育士に対する就職相談の場として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回中部 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、形式を変えて開催 @WEB会場（WEBサイト上でのエントリー者限定の動画配信）8/21～25 @ほいく Job Book（求人情報・就職応援セミナー冊子 3,000部作成） 西部1/16、第2回中部1/30、東部1/31
3	<p>潜在保育士現場復帰研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回中部 @ほいく Job Book内にセミナーページとして掲載、西部1/16、第2回中部1/30、東部1/31※保育士就職説明会と同日開催
4	<p>出張相談会の開催（開催回数：計11回）</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県委託分 6回 ・静岡市委託分 5回
5	<p>保育現場体験事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 静岡県委託分 体験15人35日・静岡市委託分 体験11人26日・見学3人4日
6	<p>保育士さんの働く職場説明会&セミナー</p> <p>（保育園等見学ツアーが新型コロナウイルス感染症対策により実施できないため、代替として開催した。） 第1回 静岡市12/2、第2回 袋井市12/16、第3回 沼津市1/31</p>
7	<p>放課後児童支援員の人材確保支援</p> <p>保育士資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と求人者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施 求職相談件数 11件 就職者数 0人</p>
8	<p>離職保育士届出制度の促進</p> <p>保育人材確保につなげるため、潜在保育士や離職予定の保育士に対して、「保育士・保育所支援センター」への届出勧奨を行った。 登録者 136人(令和3年3月末現在)</p>

【進捗状況及び成果】

県、静岡市の委託を受けて県保育連合会や県保育士会等と連携しつつ、潜在保育士等の掘起しに向けた就職説明会、保育現場復帰研修や現場体験事業などに取り組むとともに、丁寧なマッチングにより、令和3年3月末までに潜在保育士88人、その他勤務保育士等21人、合計109人の就職に結びついた。



『保育のお仕事フェア』<中部①>
 @WEB会場令和2年8月21日～25日開催
 @ほいく Job Book 潜在保育士現場復帰支援研修ページあり

基本目標 3 災害福祉支援体制づくり

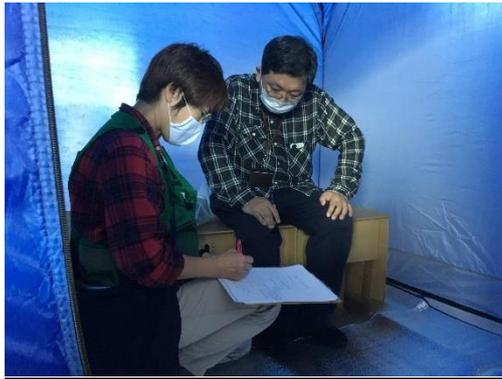
実施目標 1 災害に備えた支援体制を構築します

重点事項 静岡県災害ボランティアセンター本部・情報センター及び静岡県災害福祉広域支援ネットワークの機能強化

県内全域を対象としたボランティア活動の支援と、要配慮者支援を一体的に展開する災害時の広域支援体制の構築に向けて取り組んだ。

<決算額：4,804千円>

事業内容	
1	<p>静岡県災害ボランティアセンター本部・情報センターの機能強化</p> <p>市町社協における平時及び災害時の情報システム強化に関するワーキング会議の開催(10/12, 12/2, 3/1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動資機材配備と保守点検を通じた稼働訓練の実施 災害ボランティア活動用資機材整備事業の実施。特別養護老人ホーム中伊豆に設置(6/10) ※赤い羽根助成事業 県本部・情報センターの体制整備 IT支援協定に基づくオンライン会議による情報共有、WEBサイトの充実及び情報発信の強化 静岡県災害ボランティア活動検討会の開催(7/7、1/19) 「新型コロナウイルス感染防止を踏まえた静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び市町災害ボランティア本部の運営の考え方」の作成(第1版7/9、第2版9/10)  <p style="text-align: center;">災害ボランティア活動用資機材整備事業(令和2年6月10日)</p>
2	<p>静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DCAT)の体制強化 静岡県災害福祉広域支援ネットワークの運営</p> <p>ア スキルアップ研修の開催(2回) DCAT活動に必要な感染症の知識と対応策(11月) 長野県ふくしチームの活動事例から学ぶ(12月)</p> <p>イ 平常時の支援活動展開 静岡JRAT定例会議の参加(6月25日) 長野県災害派遣福祉チーム(長野ふくしチーム)との意見交換会(8月19日) リモートサバイバルin掛川の参加(9月12日) 浜松市北区情報交換会(10月15日) ケアハウス コフレ・アントレド富士防災訓練出前講座(11月4日) 西豊田地区防災訓練の参加(11月21日) 浜松市福祉避難所開設訓練(2月28日)</p>



西豊田地区防災訓練 (11/21)



浜松市福祉避難所開設訓練 (2/28)

ウ 災害支援チーム連絡会の開催 (9月25日、2月12日)

参加団体：静岡 DMAT、静岡 DHEAT、保健師、災害支援ナース、静岡 JRAT



災害支援チーム連絡会(9月25日)

エ 県内3地域(東部・中部・西部)における支部化

オ エリア別情報交換会の開催

エリア	開催日	時間	開催場所
東部	11/2(月)	13:30~15:00	プラザヴェルデ
中部	10/26(月)	13:30~15:00	レイアップ御幸町ビル
西部	10/29(木)	13:30~15:00	アクトシティ浜松

カ ネットワーク会議の開催(2月25日)

キ 静岡 DWAT 啓発用映像の作成 (赤い羽根助成事業)



DVD 配布ほか、県社協 YouTube チャンネルで配信 (時間：25分)

【進捗状況及び成果】

賀茂地域を支援するため、伊豆市(中伊豆)に災害ボランティア活動用資機材のストックヤードを整備し、これまで県内4カ所で拠点整備が進んだ。

なお、災害ボランティアセンターに係る費用について、全国の社協を挙げて要望活動を展開した結果、災害救助法の国庫負担の対象となった。ICTの積極導入を諮り検証を継続している。

実施目標 2 災害時の市町社協を支援します

重点事項 市町社協運営支援と被災者への生活支援

市町社協が災害支援活動に専念できるよう支援活動を展開し、大規模災害発生時に支援が必要な被災者に対する支援体制の整備を図った。

<決算額：1,400千円>

事業内容	
1	・「新型コロナウイルス感染防止を踏まえた静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び市町災害ボランティア本部の運営の考え方」の作成（第1版7/9、第2版9/10） ・市町社協における平時及び災害時の情報システム強化に関するワーキング会議の開催(10/12),1/19（再掲） ・市町社協災害担当者との被害情報収集訓練 ・島田市災害ボランティアセンター設置・運営訓練への協力（3/13）

【進捗状況及び成果】

特に「新型コロナウイルス感染防止を踏まえた静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び市町災害ボランティア本部の運営の考え方」を作成し、市町災害ボランティア本部の運営にあたり、新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分に配慮しつつ、どのような視点で被災者への生活支援を進めるのかのポイントを整理した。

ICTを活用した災害ボランティアセンター運営に向けて、アプリ開発を市町社協と共同で行い、検証を繰り返している。

基本目標 4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標 1 組織・経営強化を図ります

重点事項 安定的な法人運営の実施

本会の会員サービスの充実に向けた検討と事業を実施するとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、経営基盤を強化するために、事業の効率化、財源の確保、ITの高度化を進めるとともに、組織体制・ガバナンスの強化を図った。

<決算額：1～6 2,073千円、7 100,912千円、8～9 1,519千円>

事業内容	
1	会員参画の場の充実 ・新たな会員サービスとして、新型コロナウイルス感染対策に対する助成(106件 6,677千円)、感染症対策に係る研修会を実施(参加：300施設、約1,000人) 上記事業に対する複数の問い合わせがあり、3施設が新規入会した。 ・新たに保育所・こども園(65法人)に対して情報発信や入会の勧誘を行い、5施設の新規入会があった。
2	連絡協議会、部会、委員会活動の充実 ・広報啓発部会及び総務部会を新たに立ち上げ、先進事例や解決事例を共有
3	理事会・評議員会等の運営 新型コロナウイルス感染拡大を受け、生活困窮者のための生活福祉資金の貸付申請が急増したことや、感染症対策に関連した新規事業の円滑な実施のため、定時開催に加え、随時、理事会及び評議員会を書面により開催し、必要な予算措置を行った。 ・理事会 年9回開催(うち書面7回) ・評議員会 年8回開催(うち書面6回)

4	<p>経営基盤の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協封筒に広告枠の設定（新たな自主財源の確保） ・社債（電力債）運用の開始（基金の運用方法の見直し） ・備品管理の一元化、トータルコストを考慮した印刷機の更新 ・グループウェアの変更（サイボウズ）による業務効率化、文書収発簿の電子化 ・インターネットの活用による消耗品費の低減
5	<p>任意監査の実施</p> <p>公認会計士による任意監査を通じ、会計経理の適正な手続と事業運営の透明性を確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算書類（5/15、18）・出納業務（10/20、21）・会計業務及び予算執行（2/3、4）
6	<p>政策提言の実施</p> <p>会長及び副会長が知事と面談（9月1日）し、地域福祉の推進について3項目を提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス禍における県民の生命と生活を守るための継続支援及び「地域共生社会」に向けた取組の推進 ・福祉・介護人材の安定的な確保 ・災害にも強い福祉のまちづくりの推進
7	<p>県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理運営 （指定管理期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館内の新型コロナウイルス感染防止対策の実施 アルコール消毒液の設置、受付の飛沫防止パネルの設置、トイレ消毒の徹底、館内換気の励行と3密を避ける呼びかけ、など ・防災訓練の実施 第1回防災訓練 避難誘導訓練、救護訓練、放水訓練等（参加者 146人） 第2回防災訓練(火災) 避難誘導訓練、救護訓練、放水訓練等（参加者 153人）
8	<p>県社協災害対策本部の立ち上げ訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス関連業務を優先したことから中止した。
9	<p>地域福祉情報の発信</p> <p>様々な媒体を活用した広報・情報提供の取組を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公式インスタグラムの開設 ・広報戦略委員会を中心にした SNS 運用チームを部局横断的に設置し、平日は、ほぼ毎日 SNS を更新 ・機関紙「社会福祉しずおか」全面リニューアル

【進捗状況及び成果】

会員サービスの充実のため、新型コロナウイルス感染対策の助成金の創設や研修会を実施したことにより、入会について複数の問い合わせがあり、3施設が入会した。また、保育所・こども園を対象に入会の勧誘を行った結果、5施設の入会があった。

新型コロナウイルスの感染拡大に対応し、県と連携しながら理事会・評議員会の柔軟な開催を通じて必要な予算措置を行い、円滑な事業執行を図った。

また、地域福祉の推進における重点事項について、県に対し3項目の提案をした。

県総合社会福祉会館の管理・運営においては、新型コロナウイルス感染防止対策や、大規模地震や火災を想定した防災訓練を実施し、入居者・来館者が安心し、安全に利用できる環境整備に努めた。なお、フェスタシズウエルについては、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。

実施目標 2 「人財」育成を図ります

重点事項 安心して働ける職場づくり

本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるような環境を整備するとともに、計画的な職員の人材育成を図った。

<決算額：1,611千円>

事業内容	
1	働きやすい職場環境の整備 ・ 休暇の取得奨励 ・ 時間単位特別休暇の導入（小通学校の臨時休校等に対応した子の養育） ・ 在宅勤務（テレワーク）制度の導入 ・ 新型コロナウイルス感染防止対策（アルコール消毒液の配置、飛沫防止対策仕切板の設置、室内換気の励行、会議等における3密回避の取組等） ・ 夏季の残業時間における熱中症予防（スポットクーラー等、空調機器の配置）
2	職員福利厚生事業 ・ 職員健康診断、ストレスチェックの実施 ・ 人間ドック、インフルエンザ予防接種の費用助成 ・ 衛生委員会の開催
3	職員研修の実施 ・ 階層別研修（新規採用職員研修・市町社協新任職員研修会への参加等） ・ 専門研修（職業紹介責任者講習、会計事務講座、福祉人材センター業務法令研修、甲種防火管理者研修等） ・ 外部からの依頼による講師派遣（三重県 DWAT 養成研修、市町市民後見人養成講座等）

【進捗状況及び成果】

働きやすい環境整備のため、小中学校等の臨時休校等に対応した時間単位の特別休暇の導入、確実な休暇取得の促進、ICTを活用した在宅勤務（テレワーク）の導入を行い、ウィズコロナを意識しながら、職員が安心して働ける環境を整備した。

引き続き、各種健康診断やストレスチェック、人間ドックやインフルエンザ予防接種の費用助成等を通じ、職員の健康保持をすることができた。

職員研修については、階層別研修、専門研修（テーマ別）、自発的な資格取得の支援などを組み合わせて実施し、体系的な人財育成を進めた。なお、役員の福祉現場視察については、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。

实施项目

基本目標1 地域福祉を支える仕組みづくり

実施目標1 住民主体による地域力の強化を推進します

推進事項1 地域住民が支え合う地域づくりの推進

市町において地域力強化や生活支援体制整備するにあたり、市町間の情報共有の場づくりや人材育成などの市町への支援、及び広域で推進していく必要がある取組を関係機関と協働して推進した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 地域共生社会づくりのための広報啓発 ア 地域づくり推進委員会の開催 (11/24) イ ふじのくに「地域共生」大賞の実施(優秀賞、奨励賞、神谷基金賞、多文化共生賞)(募集期間7/7~9/15) 応募56件 受賞団体:優秀賞1件、奨励賞2件、神谷基金賞4件、多文化共生賞1件 ウ ふじのくに「地域共生」大賞表彰式の開催(7/7)	継続	・多分野連携における取組の情報発信につながった。 ・先駆的・実践者な地域福祉活動の掘り起こしに寄与した。 ・“我が事・丸ごと”の地域づくりに寄与した
(2) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制整備の支援 ア 地域福祉推進ブロック会議の開催 イ 国モデル事業等の先進事例情報提供	〃	・市町社協の生活支援体制整備事業へ主体的な参画 ・コロナ渦においても生活支援体制整備事業が促進するように生活支援コーディネーターを対象に会議、研修を実施
(3) 生活支援体制整備の構築 ア 生活支援コーディネーター養成研修の開催 イ 生活支援コーディネーターフォローアップ講座の実施 ウ 静岡県下社会福祉協議会「移動支援サービス」運営に係るシステム研究会(9/17) エ 市町社協生活支援コーディネーター&地域福祉担当者 ZOOM 会議(5/22, 5/29)	〃	
(4) ふじのくに型福祉サービスの推進 ア 専門家派遣事業の実施 4件	〃	
(5) 子どもの居場所づくりへの支援 ア 子ども食堂 実態調査(県と共同で実施)	〃	



令和2年度ふじのくに「地域共生」大賞の募集チラシ



受賞団体のPR映像の作成

推進事項2 地域福祉教育及びボランティア・市民活動の推進

全県的な福祉啓発活動の推進とともに、市町社協と協働して、地域を基盤とした福祉教育を推進した。

また、ボランティア・市民活動を推進するため、中間支援組織との関係づくりとともに、広域の中間支援組織として、新たな担い手や社会資源の確保・マッチング、情報提供、人材育成に対する支援を行った。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 地域福祉教育の推進</p> <p>静岡県地域福祉教育推進計画の推進</p> <p>ア 静岡県地域福祉教育推進委員会の開催 (12/9)</p> <p>イ 市町社協担当者会議の実施 (9/9) WEB開催</p> <p>ウ 福祉教育副読本作成事業 (小学校 506 校) ※赤い羽根助成事業</p> <p>エ 福祉教育副読本の活用実態把握のサンプリング調査の実施 (180 小学校のうち 112 から回答)</p> <p>(2) 全県的な福祉啓発の推進</p> <p>ア 暮らし・安心・支え合い”福祉のまちづくり県民運動の実施(主に 9～10 月)県民福祉の日に関する広報啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「県民福祉の日」啓発用チラシ 10,000 部、ポスター 3,000 部の作成・配布 ・他団体が実施する行事等への協賛依頼 ・啓発用のぼり旗の作製・設置 ・啓発用グッズの作成 (エコバック作成中) <p>イ 福祉のまちづくり絵画コンクールの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する絵画作品の募集。応募総数 622 作品 ・最優秀賞、優秀賞等 15 作品を選定。 ・展示会(入選作品の展示) ※東、中、西部各 1 か所 <p>中部：県庁別館 21 階 10/30～11/16 ※18 日間</p> <p>西部：磐田アミューズ豊田 12/3～12/18 ※16 日間</p> <p>東部：サンウエル沼津 1/12～1/27 ※16 日間</p> <p>ウ 福祉カレンダーの作成・配布</p> <p>上記コンクール入賞作品を使用してカレンダーを作成、配布</p> <p>※カレンダーには福祉に関する日(県民福祉の日や介護の日等)を書き入れ、その周知と福祉教育等に活用</p> <p>エ マスコミを活用した広報・啓発活動の実施</p> <p>オ 静岡県健康福祉大会の開催(※中止)</p>	<p>継続</p> <p>〃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の地域福祉への関心、地域活動への参加機運の醸成に寄与した。 ・住民の地域活動への参加拡大につながっている。 ・福祉教育副読本の活用を促進した。 <p>県民の「県民福祉の日」制定意義の再確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の気づきや地域活動への参加機運の醸成に寄与した。 ・福祉の諸問題に対する社会的関心の喚起、理解の促進につながった。 ・多様な機関との連携・協働につながった。 <div style="text-align: center;">  <p>令和3年度 福祉カレンダー</p> </div>

<p>カ 各福祉週間等啓発事業</p> <p>① 児童福祉週間(5月) 児童福祉週間の横断幕掲揚(4/30~5/11)</p> <p>② 老人週間(9月) 広報誌9月号、HP、メールマガジンNo. 329、330 掲載</p> <p>③ 児童虐待防止月間(11月)</p> <p>④ 障害者週間(12月)</p> <p>(3) ボランティア・市民活動の推進</p> <p>ア 地域づくり推進委員会の開催(11/24)【再掲】</p> <p>イ 市町社協ボランティア担当者会議兼ボランティアコーディネーター養成研修の実施(1/20)</p> <p>ウ 地域アセスメント等のスキルアップの向上【再掲】</p> <p>エ 「マスク、消毒液等を必要としている福祉・介護事業所に届ける運動」の実施(4/30~6/12)</p> <table border="1" data-bbox="244 761 935 943"> <tr> <td>マスク総受領枚数</td> <td>146,235枚</td> </tr> <tr> <td>マスク寄附者総数</td> <td>823個人・団体</td> </tr> <tr> <td>消毒液総受領量</td> <td>658リットル</td> </tr> <tr> <td>消毒液寄附者総数</td> <td>34個人・団体</td> </tr> </table> <p>・マスクの配付：福祉事業所1,063箇所(146,235枚) ・消毒液の配付 福祉事業所56箇所(配付数658ℓ)</p> <p>(4) ふれあい基金による活動支援の実施</p> <p>ア ふれあい基金運営委員会の開催</p> <p>第1回開催：コロナウイルス感染拡大防止の為、書面協議に変更し、5/29 案件資料の送付、6/5 委員長一任の承諾を得て、6/15 に委員長に下記助成先決定の承認を受けた。</p> <p>第2回開催：3/5 Web(Zoom ミーティング併用) 改選に伴い委員長の選任。令和2年度の実績見込みの報告と令和3年度の予定を報告、承認を受けた。</p> <p>イ 県ボランティア協会への助成</p> <p>①リフトバス運行事業 ②ボランティア研究集会事業 ③市民活動推進事業 ④「ケアする人のケア」事業</p> <p>ウ 地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業</p> <p>エ 広域的な防災推進助成事業</p> <p>オ しずおかの居場所助成事業</p> <p>【ウ～オ】に関する実績</p> <p>①募集開始：市町社協、NPO等への周知(令和2年4月～) 県内37団体から申込</p> <p>②助成先の審議：第1回ふれあい基金運営委員会 26団体の助成先を決定 活動推進助成(11団体：先駆的助成0団体)、セルフヘルプグループ活動支援助成(4団体)、しずおか</p>	マスク総受領枚数	146,235枚	マスク寄附者総数	823個人・団体	消毒液総受領量	658リットル	消毒液寄附者総数	34個人・団体	<p>継続</p> <p>〃</p>	<p>・県内ボランティアコーディネーターの資質向上につながった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染防止に向けて福祉施設・事業所支援につながった。</p> <p>・在宅福祉・ボランティア活動等民間社会福祉団体が行う地域福祉活動の充実と発展に寄与している。</p>
マスク総受領枚数	146,235枚									
マスク寄附者総数	823個人・団体									
消毒液総受領量	658リットル									
消毒液寄附者総数	34個人・団体									

<p>の居場所助成事業(9 団体)、広域的な防災推進助成事業 (2 団体)</p> <p>③助成総額 4, 230 千円</p> <p>④実績 : 新型コロナ感染拡大防止等の影響の為、辞退 (2 団体)、実施事業の中止および変更申請(7 団体) あった。</p> <p>活動推進助成 (10 団体)、セルフヘルプグループ活動支援助成 (4 団体)、しずおかの居場所助成事業(9 団体)、広域的な防災推進助成事業(1 団体)</p> <p>⑤助成確定総額 3, 300 千円</p> <p>カ ふじのくに「地域共生」大賞【再掲】</p> <p>キ 災害ボランティア本部体制整備事業</p> <p>ク 福祉文化作品展奨励事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設協議会 (作品展中止) ・身体障害者福祉会 (11/11~17 作品展開催、12 月助成交付予定) ・肢体不自由児協会 (作品展中止) <p>ケ 高齢者等の移動支援検討事業</p> <p>コ 子どもの居場所づくり応援事業</p> <p>サ 地域生活における「保証機能」研究事業</p> <p>7/13 静岡県下社会福祉協議会『保証機能』研究会</p> <p>(5) ABCしあわせ基金車両贈呈事業の実施 (11 月)</p> <p>申込のあった 61 団体について「ABC しあわせ基金運営委員会」(6/19) で審議し、3 団体に決定、車両贈呈式 (11/10) を開催。</p> <p>【寄贈団体】</p> <p>①社会福祉法人ステップ・ワン ステップ・ワンゆめ農 寄贈車両：ダイハツ ハイゼットトラック</p> <p>②認定NPO法人 マム 寄贈車両：トヨタ シエンタ</p> <p>③社会福祉法人引佐すみれの会 引佐草の根作業所 寄贈車両：スズキ エブリィPC</p> <p>(6) 「教員免許取得に係る介護等体験事業」の実施</p> <p>介護等体験の実施(新型コロナウイルスの感染拡大のため、文部科学省の代替措置を活用する大学や施設の連絡調整を行った。)</p>	<p>継続</p>  <p>ABC しあわせ基金車両贈呈式 令和 2 年 11 月 10 日</p> <p>//</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法の変更等について情報提供し、教員免許取得のための支援ができた。
---	--



マスク、消毒液の寄附
(静岡英和女学院中学校・高等学校)



福祉のまちづくり
絵画コンクール

実施目標2 多機関協働による包括的な支援体制の構築を支援します

推進事項1 包括的支援体制の構築に向けた相談支援事業の実施支援

1 多機関協働による包括的支援体制構築事業の実施を推進します

多様化・複合化した生活課題を抱える人や家族に対し、分野を超えて総合的に相談に応じ、関係機関との調整を行う体制を構築できるよう、アドバイザーの派遣や地域別の研究会を行い、市町の包括的相談支援体制の構築を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 多機関協働による包括的支援体制構築事業の実施推進</p> <p>ア 全体会の開催 (6/26 WEB 配信) 改正社会福祉法が目指す地域福祉の方向性及び市町の包括的支援体制構築に向けた取組について 講師：厚生労働省、中島修教授 (文京学院大学人間学部人間福祉学科)</p> <p>イ 地域別研究会の開催</p> <p>7/21 東部① プラサヴェルデ 参加者 27 人 7/31 賀茂 下田市民文化会館 参加者 20 人 8/ 5 中部 あざれあ 参加者 36 人 8/ 7 東部② プラサヴェルデ 参加者 32 人 8/12 西部 アクトシティ浜松 参加者 29 人</p> <p>ウ 市町へのアドバイザー派遣 (小山町 12/9・函南町 12/22・藤枝市 12/25・沼津市 1/18) 及び事前ヒアリング 6 市 2 町へ実施</p> <p>エ 市町の体制整備に係る相談支援 (伊豆市：9/23、熱海市：10/16)</p> <p>オ 包括的相談支援体制構築推進部会の開催 (10/7、3/11)</p>	新規	<ul style="list-style-type: none"> 複合課題を丸ごと受け止める体制の構築と、相談後も継続して支援が受けられる体制づくり 今年度は、法改正の内容を理解してもらうとともに、体制整備の必要性を感じ、来年度以降につなげるための検討等を始めることを目標とする。
<p>(2) 市町社協における総合相談体制の構築</p> <p>ア 静岡県市町社会福祉協議会連絡協議会相談事業部会の開催 (12/24) 社協・生活支援活動強化方針 (第二次アクションプラン) のチェックリストに基づく取り組み状況の協議</p> <p>イ 静岡県下社会福祉協議会『保証機能』研究会の開催 (7/30、2/19)</p> <p>ウ 相談事業担当者研修会 (多機関協働による包括的支援体制の構築支援の地域別研究会と合同開催)</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> 市町社協が総合相談窓口を設置し、社協本来の総合相談機能が発揮できるような体制づくり
<p>(3) ひきこもり支援強化事業に係る取組</p> <p>ア 個別ヒアリング等の実施</p> <p>12/1 磐田市 12/24 伊豆市 (WEB 会議) 1/26 下田市 (WEB 会議) 2/9 川根本町 (WEB 会議)</p>	新規	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもり相談体制の整備に取り組む市町に対してアドバイザーを派遣



7/31 賀茂地区での地域別研究会

イ ひきこもり支援の方法等に関する勉強会や事例検討会の実施

3/5 伊豆市 勉強会

3/11 川根本町 勉強会・事例検討会

3/23 下田市 勉強会

他 15 市町

(富士市、御殿場市、袋井市、磐田市、東伊豆市、沼津市、牧之原市、伊東市、三島市、菊川市、伊豆の国市、御前崎市、島田市、掛川市、藤枝市)

ウ ひきこもり当事者の居場所づくりに関する支援

3/10 磐田市 (WEB 会議)

(4) 生活困窮者自立支援事業の実施支援

ア ふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアム 県社協、NPO 及び 12 町社協の 14 法人によるコンソーシアム方式での郡部における生活困窮者自立支援事業の受託

【支援実施 (12 町合計)】

自立相談支援事業

内容		件数
相談受付件数	新規	1,416 件
プラン作成件数	新規	282 件
一般就労件数	実就労者件数	22 件
支援調整会議	12 町	87 回

家計再建支援事業

内容		件数
相談受付件数	新規	48 件
プラン作成件数	新規	39 件

一時生活支援事業

内容		件数
利用者数		27 件
プラン作成件数		16 件
宿泊日数		435 泊

- ① コンソーシアム運営委員会 (9/23、3/2)
趣旨:構成団体による事業推進のための課題共有・方針の検討
内容:上・下半期執行状況及び令和3年度に向けた課題整理及び方針の確認
- ② 地区別ブロック会議
開催日:賀茂(12/23)、東部(12/15)、中部(12/17)
内容:支援検討、事例検討等

継続

- ・構成団体の強みを活かした個別支援及び事業を通じた地域づくりの実施
- ・相談援助等の専門性の向上
- ・制度を通じた地域づくりの推進
- ・経済的な就労支援の実施



イ 事業推進のための連絡会

- ① 静岡県主任相談支援員養成研修修了者連絡会の開催（7/15、8/28、9/23、3/10）※赤い羽根助成事業
参加者：主任相談支援員養成研修修了者（社協、行政、社会福祉法人）6人、アドバイザー2人他
内容：国研修（企画・立案）について、コロナ禍での相談業務対応について

- ② 静岡県生活困窮者自立支援事業従事者養成研修会の開催（4回）

1	10/8	支援対象者の特性理解（選択研修） Zoom研修 53人
2	12/21	基礎研修 ハイブリット（Zoom+集合型）研修 44人
3	1/22	法律・就労・事例検討（選択研修） ハイブリット（Zoom+集合型）47人
4	2/22	任意事業理解研修（選択研修） ハイブリット（Zoom+集合型）38人
計		延べ182人

- ③ 医療・福祉・司法なんでもかんでも相談会への参加（生活困窮者自立支援事業従事者養成研修 任意参加研修）1/28、2/13

ウ ふじのくに生活困窮者自立支援基金事業の実施
（令和3年3月末現在）

事業内容	決定件数 （件）	金額 （円）
就労支度金給付	78	1,454,454
ひとり親世帯支援	1	20,000
就労活動応援金付職場体験	3	60,000
認定就労訓練支援	3	60,000
生活維持改善	12	210,889
合計	97	1,805,343

(5) 生活福祉資金貸付事業の実施

- ① 生活福祉資金貸付事業の実施

- ア 総合支援資金
（生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費）
イ 福祉資金（福祉費、緊急小口資金）
ウ 教育支援資金（教育支援費、就学支度費）
エ 不動産担保型生活資金
（不動産担保型生活資金、要保護世帯向け不動産担保型生活資金）
オ 新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急小口資



10/8 生活困窮者自立支援事業
相談業務従事者研修会

- ・低所得世帯等の経済的自立及び生活意欲の助長促進や在宅福祉及び社会参加の促進につながった。

継続

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う景気低迷により生活収入が減少した世帯への特例貸付が全国一斉に行われることになり、生活苦に陥った世帯の経済的支援として機能した。

<p>金等特例貸付の実施(3月末までの申請累計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急小口資金 20,197件 3,473,350千円 ・総合支援資金 6,761件 3,199,995千円 <ul style="list-style-type: none"> 初回貸付 5,139件 2,437,494千円 延長貸付 1,255件 591,421千円 再貸付 367件 171,080千円 <p>② 臨時特例つなぎ資金貸付事業の実施 (住居を失った離職者が公的給付又は公的貸付の交付を受けるまでの生活費の貸付)</p> <p>③ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催 (2/1 書面開催)</p> <p>④ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会小委員会、不動産担保型生活資金審査委員会の開催 (10/22、3/18)</p> <p>⑤ 市町社協新任担当職員研修会の開催 (5月・中止) ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う措置</p> <p>⑥ 市町社協担当職員研修会(会議)の開催 (中止)</p> <p>⑦ 生活福祉資金の実務的課題に関する作業委員会の開催 (中止)</p> <p>⑧ 利用促進のための広報の実施</p> <p>⑨ 債権管理・償還相談の実施</p> <p>ア 滞納者等含めた借受者に対する残高のお知らせの送付(9月、3月)</p> <p>イ 滞納者への訪問調査の実施 (中止)</p> <p>ウ 所在不明者の調査(住民票調査)の実施 (96件)</p> <p>エ 滞納債権整理推進等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納者への償還・生活相談の実施 ・民事訴訟・調停、支払督促等の提起 <p>(6) 児童や障がい者等の自立支援</p> <p>ア 神谷基金障がい者自立支援事業の実施</p> <p>① ふじのくに「地域共生」大賞(神谷基金賞)の実施(4団体受賞)(再掲) 有限会社 INB 木工房「いつでもゆめを」 特定非営利活動法人にじのかけ橋 点訳グループいずかたつむり しずおか言友会</p> <p>② 専門家派遣事業(3事業所へ派遣) 社会福祉法人天竜厚生会 みのり 社会福祉法人牧ノ原やまばと学園 ワークセンターやまばと 社会福祉法人春風会 プラム</p> <p>イ 県里親連合会の事務受託</p>	<p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住居を失った離職者の一時的な生計維持に役立った。 <p>・取り組み効果が優秀な事業所を表彰し、さらなる活動の充実と障がい者の自立支援を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門家の相談・技術指導により有効活用や販売を促進することができ、生産活動が向上した。 <ul style="list-style-type: none"> ・各地区里親会で事業を展開、里親制度の普及発展、会員相互の親睦を図った。
---	-----------	---

<p>ウ 県肢体不自由児協会の事務受託</p> <p>(7) 民生委員・児童委員活動の支援</p> <p>ア 相談援助技法研修会を県内3か所で開催 (8/21 下田市、9/3 沼津市、9/30 掛川市)</p> <p>イ 法定地区民児協会会長研修会の開催(9/11 静岡市)</p> <p>ウ 主任児童委員研修会の開催(2/9 Web 配信)</p> <p>エ 全国民生委員・児童委員大会等参加費助成事業の実施(大会不参加のため未実施)</p> <p>オ 市町民児協・法定地区民児協の研修会等への職員派遣(3か所)</p> <p>カ 県民生委員児童委員協議会の事務受託</p> <p>キ 県が実施する民生委員・児童委員向け研修の映像撮影及びYouTube 限定公開への協力</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肢体不自由児に対する理解促進 ・ 民生委員・児童委員の資質向上 ・ 住民の地域活動の活性化 ・ 民生委員児童委員活動の負担感の軽減
--	----	--

推進事項2 意思決定支援を主体とした権利擁護の推進

1 日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などの方々が、地域において自立した生活を安心して送ることができるよう、福祉サービスの利用支援を市町社協と協働して行った。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 契約締結審査会の開催/毎月1回 (4/16, 8/13, 9/10, 10/15, 11/12, 12/10, 2/18) ※5～7、1、3月は事務局内審査のみで完結のため見送り</p> <p>(2) 事業利用者への支援 市町社協による定期・臨時支援の実施(随時)</p> <p>(3) 支援者の育成支援の実施 ア①福祉関係機関との連携強化研修(12/25) ※専門員研修として実施 申込数 583人/242事業所 当日LIVE配信参加者 59人 YouTube視聴回数 986回</p> <p>【内容】 講義「日常生活自立支援事業における福祉関係機関との連携と課題」 講師：鶴田 安弘 氏(県立富士見学園施設長) 実践報告「関係機関との協働による日常生活自立支援事業を利用した支援方法」 報告者：社会福祉法人島田市社会福祉協議会 専門員 杉本 優子氏 社会福祉法人島田市社会福祉協議会 専門員 中村 直哉氏</p>	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判断能力の不十分な方が自身の意思に基づく地域での暮らしを実現させるための支援を推進するとともに権利侵害や財産侵害の未然防止などに寄与した。 ・ 利用者が安心してサービスを受けられるように支援者の専門性の向上及び支援者間のネットワークの構築をした。

<p>ア②新任専門員研修（6/12）WEB 配信 35 人参加</p> <p>【内容】 業務説明「日常生活自立支援事業の業務～相談から契約まで～」他 説明：生活支援部権利擁護課</p> <p>イ①新任生活支援員研修（10/19）DVD 撮影 （対象者 102 人、22 市町社協へ送付）57 人受講</p> <p>【内容】 実践報告・協議「先輩生活支援員の生きた声をきこう～支援のコツとは？～」 報告者：社会福祉法人富士市社会福祉協議会 専門員 後藤 友希氏 生活支援員 加藤 富雄氏</p> <p>イ②現任生活支援員研修 11/18（東部会場） 60 人（市町社協集合） 30 人 11/24（中・西部会場） 42 人 （自宅でオンライン受講）36 人 計 168 人</p> <p>【内容】 講義「生活支援員としての役割」 講師：鶴田 安弘 氏 （静岡県立富士見学園 施設長）</p> <p>(4) 権利擁護事業あり方検討委員会（委員 6 人） 第 1 回（8/11） WEB 会議 協議内容 ・日常生活自立支援事業 研修について ・成年後見制度に係る実態把握調査について 他</p> <p>第 2 回（10/26） WEB 会議 協議内容 ・法人後見の適正化に向けたばあとなあとの共同事業について ・法人後見のチェック体制について 他</p> <p>第 3 回（2/18） WEB 会議 協議内容 ・日常生活自立支援事業及び法人後見の業務チェックマニュアルについて ・日常生活自立支援事業・法人後見及び監督業務の標準化に向けて</p> <p>(5) 金融関係機関連絡会議 （金融機関、静岡県、政令指定都市社協） 協議・意見交換 「日常的金銭管理サービス等に係る事務手続き等について」他 ※ 特段の協議事項なく、また、コロナ禍により見送り</p> <p>(6) 業務の適正化・効率化を図るための業務システム改修の実施（適宜）</p> <p>(7) 市町社協の運営状況の確認（適宜）</p>	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	
--	--------------------------------------	--

2 成年後見制度利用促進の実施

判断能力が低下してもその人らしく安心して地域生活が継続できるよう、本人の意思を尊重し、自己決定を支援し、適切な福祉サービスにつながるため、市町の成年後見等に係る権利擁護体制整備のための支援に取り組んだ。

また、成年後見制度利用促進法にもとづく国の基本計画により、令和3年度末までに設置が求められている「地域連携ネットワーク」や「中核機関」を設置できるよう、市町での設置・運営の支援を行った。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 成年後見実施機関設置・運営等支援事業</p> <p>ア 成年後見制度市町長申立に係る実務研修 市町長申立に必要とされる実務を学び、関係者の共通認識を図るための研修 6/19 WEB 配信により実施 申込者 272 人</p> <p>イ 市町体制整備相談支援事業 (26 回相談対応)</p> <p>(2) 成年後見制度利用促進協議会の開催 (県内 5 か所) 〈出席者〉静岡家裁、静岡県弁護士会、成年後見センター・リーガルサポート静岡支部、静岡県福祉士会、市町行政、市町社協、県、県社協 〈内容〉①基調説明：成年後見制度の現状 ②静岡家裁からの報告 ③各専門職団体からの報告 ④協議：各市町での成年後見制度利用促進の取り組みについて 賀茂地区 : 9/4 1市5町 参加者 25人 東部地区① : 9/1 4市 参加者 23人 東部地区② : 9/2 6市4町 参加者 35人 中部地区 : 9/7 6市2町 参加者 28人 西部地区 : 9/11 7市1町 参加者 34人 計 145人</p> <p>(3) 福祉関係者等を対象とする理解促進研修</p> <p>ア 成年後見制度理解促進研修会の開催 (ライブ配信[youtube 配信]11/20[11/20~11/30]基礎編、11/27[11/27~12/7]応用編)</p> <p>イ 成年後見制度理解促進出前講座の実施 12/11 森町社協、1/27 沼津特別支援学校愛鷹分校、2/24 袋井中部地域包括声援センター、3/12 自動車事故対策機構静岡支所</p> <p>(4) 成年後見制度に係る実態調査の実施 (10月) 県内 4,052 施設 (高齢・障害系) への郵送による調査の実施</p>	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>・市町の中核機関設置を支援した。</p> <p>・市民後見人育成の基盤となる社協の法人後見等の取り組みを支援した。</p> <p>・制度を必要とする人が適切に制度に繋がる体制を作った。</p>

3 福祉サービス運営適正化委員会事業の実施

福祉サービス利用援助事業の適切な運営と福祉サービス利用者からの苦情解決及び事業者段階における適切な苦情解決の仕組みづくりに取り組んだ。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 運営適正化委員会（全体会）の開催（12月4日）委員改選に伴う、委員長、副委員長専任ほか	継続	・福祉サービスの質の向上
(2) 運営監視合議体の開催（6月※書面、9/10、12/4、3/16）	〃	・福祉サービス利用者の権利擁護
(3) 福祉サービス利用援助事業実施状況調査（通年）	〃	・福祉サービス利用援助事業の適正な運営の確保
(4) 苦情解決合議体の開催（6月※書面、7/20、9/10、12/2、3/16）	〃	・事業者段階の苦情解決体制の整備促進
(5) 事業所における苦情解決の巡回支援（新型コロナウイルス感染対策のため中止）	〃	
(6) 苦情解決研修会の開催（1/19、WEB開催76人1回）	〃	
(7) 調査研究	〃	
(8) 啓発活動の実施 ポスター(大)の作成500部（1月） ポスター・リーフレット等の配付(100件)	〃	

実施目標3 地域共生社会の基盤となる市町社協を支援します

推進事項1 市町社協相互の連絡調整及び基盤強化

市町社協の体制強化、基盤整備を図るとともに、地域福祉を協働して進めるための基礎調査及び個別訪問支援等を行った。

また、各市町の地域福祉推進における現状や課題、今後の取組について、近隣の市町の関係機関による意見交換の場を設定し、連携強化に努めた。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 市町社協連絡協議会及び部会の開催 ア 幹事会の開催（5/25）WEB開催 イ 広報啓発部会・総務部会の設置 ・広報啓発部会幹事会の開催（12/1、2/10） ・総務部会の設置（12/22） ・第1回総務部会幹事会の開催（1/19） 総務部会の運営方法や協議内容について確認した。 ウ 介護保険部会幹事会の開催（11/19） 介護保険部会全体会の開催（3/3）WEB開催	継続	・市町社協の効果的、効率的な経営に寄与 ・市町行政等との連携強化（役割分担の明確化） ・市町域を超えた課題の明確化、共有化 ・社協らしい介護サービスの展開
(2) 地域福祉活動計画の策定支援の実施 ・函南町地域福祉活動計画策定委員会への出席（8/21、10/16、1/12、2/17）	〃	・先進事例、課題解決事例の収集、共有化
(3) 地域福祉推進ブロック会議の開催 賀茂地区7/31、熱海・東部地区7/21、東部・御殿場・富士地区8/7、中部地区8/5、西部地区8/12	〃	・小地域福祉活動の担い手の確保及び活性化につながった。

<p>テーマ：各市町における地域福祉活動の現状や課題を把握するための情報交換</p>		
<p>(4) 県への地域福祉の提言(県知事と正副会長の懇談 9/1) ア 新型コロナウイルス禍における県民の生命と生活を守るための継続支援及び「地域共生社会」に向けた取組の推進 イ 福祉・介護人材の安定的な確保 ウ 災害にも強い福祉のまちづくりの推進</p>	<p>〃</p>	
<p>(5) 市町社協活動実態調査の実施 (4/1 時点)</p>	<p>〃</p>	
<p>(6) 市町社協役員便覧の作成 (200 部、4 月)</p>	<p>〃</p>	
<p>(7) 市町社会福祉協議会個別支援等の実施</p>	<p>新規</p>	
<p>(8) 会計処理の適正化とコンプライアンスの徹底 (市町社協監事支援事業の実施)</p>	<p>〃</p>	
<p>(9) みんなで支える地域福祉促進事業 市町社協における小地域福祉活動に係る担い手づくりへの助成</p>	<p>継続</p>	



3/3 介護保険部会全体会

推進事項2 人材確保と専門性向上の推進

地域福祉の担い手となる市町社協役職員の人材確保と専門性向上を目的とした体系的な研修を実施した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 監事研修会の開催(4/16)	継続	<ul style="list-style-type: none"> 適切な組織運営及び事業推進のために職員のスキルアップに寄与している。 役員の経営者としての共通認識醸成に寄与している。 住民主体の地域福祉活動の活性化につながった。 新たな援助技法習得者と実践成果の増加につながった。 地区単位におけるコミュニティソーシャルワーカーのネットワーク構築につながった。
(2) 新任職員研修の開催(8/6-7) WEB開催	〃	
(3) 新任事務局長研修の開催(5月)	〃	
(4) 事務局長会議の開催(5月書面協議)	〃	
(5) 地域福祉担当者会議の開催(8月)	〃	
(6) 市町社協会長会議の開催(12/7)	〃	
(7) 市町社協会計実務研修会の開催(7/16)	〃	
(8) 市町社協決算実務研修会の開催(2/15)	〃	
(9) 社会福祉協議会職員(コミュニティワーク実践者)研修の実施【再掲】	〃	
ア コミュニティワーク研修会～データ利活用基礎編 1/17 WEB開催	〃	
イ 地域アセスメント研修会の開催 2/2WEB開催	一部	
(10) コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修の開催(7/10-11WEB開催・2/5-6WEB開催)	新規	
(11) コミュニティソーシャルワーク研修受講者スキルアップ研修の実施(8/19) WEB開催	継続	
(12) CSW静岡県東部研究会 CSW事例検討会 2/7 WEB共催	〃	
(13) 市町社協間人事交流事業の周知	〃	



市町社協新任職員研修



コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会【前期】

推進事項3 社会福祉法人等と協働した地域公益活動の推進

市町社会福祉協議会が核となるネットワーク化の促進により、法人間連携による地域における公的な取組の推進と福祉人材確保の取組を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>(1) 社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会が社会福祉法人連携の中核となり、プラットフォームを構築し、社会福祉法人の連携・協働化を図った。 ・社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業担当者WEB会議（6/17） ・焼津・藤枝地区 社会福祉法人役職員セミナー【共催】（9/10） ・福祉人材新卒採用戦略セミナー@焼津【共催】（10/29） ・伊豆市・熱海市内社会福祉法人による『福祉なんでも相談』実施に向けたWEB勉強会【共催】（11/6） ・藤枝市社会福祉法人役職員セミナー（3/15）【共催】 ・新型コロナ禍における『福祉の仕事の魅力』PR映像制作 ・社会福祉法人等「社会資源データベース」構築 ・13市町社協個別支援の実施 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広域を含めて市町での法人間連携の場の設置 ・法人間連携による地域における公益的な取組及び人材確保の取組実施 ・法人間連携による生活支援サービスの協働実施
<p>(2) 社会福祉法人等と連携した生活支援サービスの推進</p> <p>ア 静岡県下社会福祉協議会「移動支援サービス」運営に係るシステム研究会(9/17)</p> <p>イ 生活支援サービス促進用事例映像の製作 「地域共生社会を志向した住民主体の支え合い活動」紹介映像の制作（赤い羽根助成事業）</p>	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・県内全域における住民主体による支え合い活動、生活支援サービスの一層の普及促進を図る。



移動支援サービス運営に係るシステム研究会



住民主体の支えあい活動映像紹介映像

基本目標2 地域福祉を支える組織・人づくり

実施目標1 社会福祉事業者等を支援します

推進事項1 自主的、自立的な法人経営、施設運営に向けた支援

社会福祉法人が良質かつ適切な福祉サービスを提供していくため、コンプライアンス（法令等遵守）の徹底、ガバナンス（組織統治）の確立、財務規律の強化及びサービスの質の向上に向けた体制構築を、県社会福祉法人経営者協議会等と連携して支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 社会福祉法人経営者協議会の事務局運営 ア 社会福祉法人経営者協議会の事務受託 （正副会長会議、理事会、総会の開催、経営セミナーの実施、委員会の開催等） イ 県社協事業との連携強化 （地域における公益的な取組、外国人介護、人材の確保、定着）	継続	・会員法人の課題把握及び経営全般にわたる質の向上
(2) 福祉施設経営指導事業による専門相談の実施 ア 経営相談の実施（会計、法律、施設サービス、労務） イ 福祉施設経営指導連絡協議会の開催（年1回以上）	〃	・法人運営に関する疑問・質問事項について専門家による相談支援を行い、施設の経営全般にわたる質の向上に寄与した。
(3) 経理、労務、施設運営等に関する支援 ア 社会福祉法人監事監査研修会のWEB開催 （4月、500人） イ 社会福祉法人簿記入門講座のWEB開催 （7月、100施設） ウ 社会福祉法人・施設事務職員経理基礎講座のWEB開催 （7月、113施設） エ 社会福祉法人・施設経理応用講座のWEB開催 （9月、181施設） オ 社会福祉施設人事・労務管理研修会の開催 （2月、298人） カ 社会福祉法人予算管理基礎講座のWEB開催 （9月、108施設） キ 社会福祉法人・施設事務職員会計実務専門講座のWEB開催（10月、200施設） ク 社会福祉施設運営管理研修会～新型コロナウイルスに係る制度動向と感染症対策～ WEB開催 （6月、300施設／1000人） ケ 社会福祉法人・施設職員税務実務講座のWEB開催（11月、150施設）	〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	・社会福祉法人・施設の経営基盤強化と質の高いサービス提供の推進に寄与した。
		 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>社会福祉施設 運営管理研修会 （6月1日）</p> </div>

<p>コ 社会福祉法人財務管理講座のWEB開催 (12月、200施設)</p> <p>サ 社会福祉法人決算実務講座の開催(2月、300施設)</p> <p>シ 新設社会福祉法人等運営管理説明会の開催(2月、12人)</p> <p>ス 施設借入金元金・利子助成事業の実施 元金助成 184件、611,062,050円 利子助成 203件、35,788,968円</p> <p>セ 社会福祉振興資金貸付事業の実施(特別整備貸付資金) 償還元金 1件 1,589,160円 貸付金利子 1件 325,012円</p>	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>・法人財政の安定</p> <p>・令和2年度から新たに2施設に元金助成を行い、社会福祉施設の整備促進に寄与した。</p>																														
<p>(4) 民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業の実施</p>	<p>〃</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、社会福祉施設の感染対策事業に対する助成メニューを追加し、106件の活用があった。</p> <p>・民間社会福祉団体の運営基盤の強化と地域福祉の促進に寄与した。</p>																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>事業内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区分1</td> <td>第三者評価事業受審助成</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>区分2</td> <td>地域との連携協働推進助成</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分3</td> <td>職場内OJT助成</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>区分4</td> <td>法人間連携推進事業</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>区分5</td> <td>法人経営適正化のための助成</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>区分6</td> <td>防災減災対策・福祉避難所設置助成</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>区分7</td> <td>移動支援助成</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緊急助成</td> <td>新型コロナウイルスの感染対策事業</td> <td>106</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table>	区分	事業内容	件数	区分1	第三者評価事業受審助成	9	区分2	地域との連携協働推進助成	1	区分3	職場内OJT助成	10	区分4	法人間連携推進事業	6	区分5	法人経営適正化のための助成	8	区分6	防災減災対策・福祉避難所設置助成	0	区分7	移動支援助成	1	緊急助成	新型コロナウイルスの感染対策事業	106	合計		141		
区分	事業内容	件数																														
区分1	第三者評価事業受審助成	9																														
区分2	地域との連携協働推進助成	1																														
区分3	職場内OJT助成	10																														
区分4	法人間連携推進事業	6																														
区分5	法人経営適正化のための助成	8																														
区分6	防災減災対策・福祉避難所設置助成	0																														
区分7	移動支援助成	1																														
緊急助成	新型コロナウイルスの感染対策事業	106																														
合計		141																														
<p>(5) 福祉サービス第三者評価事業及び社会的養護関係施設第三者評価事業の実施</p> <p>ア 福祉サービス第三者評価の実施(3件)</p> <p>イ 評価委員会の開催(11/19)</p>	<p>〃</p>	<p>・受審事業所が事業経営及びサービスにおける具体的な問題点を把握し、「サービスの質の向上」に繋がられるよう支援している。</p>																														
<p>(6) 新型コロナウイルス感染症発生施設への応援体制構築事業の実施</p> <p>ア 感染症発生施設への応援体制検討会の開催 検討会【障がい部会】(9月23日) 検討会【高齢部会】(9月29日) 検討会【全体会】(10月12日、2月22日)</p> <p>イ 派遣職員の募集(11月)</p> <p>ウ 研修会の開催 施設・事業所を対象にした感染対策研修会(動画配信)(12月) 再募集職員(レッドゾーン派遣)を対象にした感染対策研修会(2月)</p> <p>エ クラスタ発生施設への応援職員の派遣 (2件/有料老人ホーム、介護老人保健施設)</p>	<p>新規</p>																															

推進事項2 地域における公益的な取組の推進

複数の社会福祉法人が連携・協働して、制度の狭間にある課題に向き合い、様々な地域づくりに関わる取組の更なる推進を図るため、社会福祉法人や他法人（医療法人及びNPO法人等）の連携の中核として、特に広域及び市町域の連携を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 地域における公益的な取組等推進部会の開催 ア 部会の開催 (第1回：8月17日) (第2回：11月30日)	新規	・県域・市町域・法人単位における取組推進における課題や対応策についての協議を行い、取組の更なる推進につながった。 
(2) 県域、広域、市町域における複数法人間連携の推進 ア 実践事例の収集、ホームページ、広報紙等による実践事例の発信	〃	第2回 地域における公益的な取組推進部会 (8月17日)
(3) 法人単位における取組の強化 ア コロナ禍における実施状況アンケートの実施	〃	

推進事項3 社会福祉関係団体への支援

福祉関係団体が、民間性を発揮した活動を展開できるよう支援するとともに、各団体の課題や情報を共有し、お互いの強みや特性を活かし合うことができるよう、広域的な観点から「協働の場づくり」を推進した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 社会福祉団体等連絡協議会の開催等 ア 社会福祉団体連絡協議会の開催 (10/21) イ 県障害者社会参加推進協議会への参画 (10/2)	継続 〃	・社会全体で取り組んでいくべき重要な課題に対し、解決に向けて協働できる関係性の構築
(2) 社会福祉団体への財政支援 ア 県民間社会福祉団体運営費の助成 第1回助成 (6/30) 第2回助成 (1/29) イ 県民間社会福祉活動促進事業費の助成 第1回助成 (8/31) 第2回助成 (11/30) 第3回助成 (5/31)	〃	・民間社会福祉団体の運営基盤の強化と地域福祉の促進につながった。
(3) ソーシャルアクションの実施 ア 社会福祉に関する県への要望 イ 児童虐待防止静岡の集いへの参画 ウ 障害を理由とする差別解消推進県民会議への参画	〃	

実施目標2 福祉サービスの担い手の確保と育成を支援します

推進事項1 福祉サービスの担い手の確保と定着に向けた支援

社会福祉人材センター、保育士・保育所支援センターの更なる周知を行い、求職者の確保と個別支援の強化を図った。

また、事業所や行政、養成校等の関係機関と連携強化を図り、壮年世代や外国人などを含めた多様な人材確保や就労環境改善に向けた方策の検討、実践等の取り組みをとおして、福祉業界が一丸となり、福祉人材の確保に取り組んだ。

事業の実績	区分	効果・評価						
<p>1 社会福祉人材センターの運営及び利用促進</p> <p>(1) 無料職業紹介所の運営（本所・東部支所） 福祉・介護求人者や求職者からの相談、就労・就職あっせん等（目標：県全体 就職人数1,000人以上） 求人・求職登録・就職状況</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>新規求人登録数</td> <td>10,225人</td> </tr> <tr> <td>新規求職登録数</td> <td>3,464人</td> </tr> <tr> <td>就職者数</td> <td>521人</td> </tr> </table> <p>(2) 社会福祉人材センター運営委員会の開催 日時 令和2年7月7日（火） 場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル 703 会議室 内容 ア 令和元年度事業報告について イ 令和2年度事業計画について</p> <p>(3) 福祉の就職支援セミナーの開催 求職者を対象に福祉の仕事に対する理解促進と就職活動の支援を目的としたセミナーの開催 日時 令和2年10月20日（火）10:00～12:00 場所 静岡県総合社会福祉会館シズウエル 703 会議室 内容 映画上映「ケアニン～こころに咲く花～」 参加者 75人</p> <p>(4) 福祉人材マッチング機能強化事業の実施 ア キャリア支援専門員の設置 5人</p> <p>① 求職者・求人者への個別支援等の実施 （施設・事業所訪問目標：年200回以上） ハローワークへの出張相談(85回) 施設・事業所訪問216か所</p> <p>② 大学等での福祉の仕事ガイダンスの実施 大学2回（1校）126人</p> <p>③ 介護職員養成機関でのガイダンスの実施 ・介護労働安定センター実務者研修受講者 （10/19 ツインメッセ静岡）28人 ※介護施設説明会・相談会（地域別）の実施 （1/25、26、29、2/8）43人 ・介護職への就業ミニセミナー（10/21 ニチイ沼津） 18人</p>	新規求人登録数	10,225人	新規求職登録数	3,464人	就職者数	521人	<p>継続</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>	<p>・全国的に福祉・介護人材の確保が厳しくなっている中、521人就職者を確保し、浜松市福祉人材バンク分を合わせると703人の就職者数となり、全国1位の実績となった。</p> <p>・キャリア支援専門員による各種マッチング機能強化事業により、計332人の採用につながった。</p>
新規求人登録数	10,225人							
新規求職登録数	3,464人							
就職者数	521人							

- ・静岡市介護職員初任者研修受講者
(11/19、12/17 シズウエル) 33人、25人
 - ・ジョブアシスト出前講座(1/29 静岡ビジネス学院 沼津校 外国人向け初任者研修受講者) 8人
 - ・ニチイ学館出前講座 初任者研修受講者 (3/5 ニチイ学館沼津校) 14人
 - ・ジョブアシスト出前講座 (3/30 静岡ビジネス学院 沼津校 実務者研修受講者) 18人
- ④ その他一般求職者向けガイダンス
- ・出張相談会 71回 237人
- ⑤ 他団体主催の就職フェア等への参加
- 静岡県中部地域 Web 就職ガイダンス (8/24) 25人
 - 富士宮市介護福祉向けお仕事相談会 (3/30) 13人
- イ 専門アドバイザーの設置 (目標：年 36 回以上)
(公認会計士、社会保険労務士に委嘱)
- 人事管理や労務管理及び経理事務等に関する専門的な相談会の実施
- <相談件数> (単位：件)

区 分		東部	中部	西部	計
公認会計士	事業所	－(81)	193(89)	－(23)	193
社会保険労務士(3名)	事業所	9(3)	43(6)	8(2)	60
	従事者	1(0)	0	1(0)	2
計		10(84)	236(95)	9(25)	255

- ・公認会計士相談 月 1 回 (中部地区のみ) 計 12 回
 - ・社会保険労務士相談 東部・西部隔月 1 回、中部月 1 回 計 24 回
 - ・相談件数は、相談会場別件数、(事業所所在地別件数) の順で記載
- ウ 福祉人材センター情報発信事業の実施
- 市町社会福祉協議会等の協力を得て、地区社会福祉協議会やボランティア養成講座の参加者等の地域住民に向けた社会福祉人材センターの取り組みの周知や介護補助業務等の紹介をきっかけとした求人、求職のマッチングを図った。
- また、商業施設での PR 活動や他機関が実施する初任者・実務者研修、施設見学ツアー等での周知活動を行った。

◎ 中山間地域

市町名	開催名称	開催日	参加人数
富士宮市	令和 2 年度第 1 回地域寄り合い処スタッフ研修会	10 月 2 日	28 人
川根本町	川根本町民生委員児童委員協議会 11 月定例会	11 月 10 日	32 人
西伊豆町	わくわく居場所づくり応援セミナー	12 月 11 日	22 人
浜松市	静岡県生活困窮者等就労準備支援事業「就労意欲向上合宿」	2 月 8 日	1 人

◎ 中山間地以外

- ・第1回静岡市介護職員初任者研修講座 10月5日 24人
- ・第2回静岡市介護職員初任者研修講座 10月27日 15人

エ ミニ就職相談会の開催

緊急の求人情報(確保要望)に対応するため、毎月、本所及び東部支所において開催した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、4月は中止し5月・6月は個別就職相談会に代替して開催した。

(5・6月の個別就職相談会を含む)

場所	開催回数	参加法人	求職者数	延相談数	採用人数
中部	16回	93法人	209人	274件	38人
東部	12回	81法人	199人	192件	28人
計	28回	174法人	408人	466件	66人

オ 求職者向けの施設見学の実施(リモート施設見学会)
(目標:年間15回以上)

当初計画していた「福祉の職場見学ツアー」は、新型コロナウイルス感染症対策から実施困難なため、代替として「福祉の職場説明会&個別相談会」を開催した。

(1日2事業者が参加し、静岡市ほか求職登録者の多い地区で実施調整)

回数	地区	会場	開催日	参加者数	採用人数
1	静岡市	シズウエル	9/8	9人	5
2	静岡市	シズウエル	9/24	9人	2
3	静岡市	シズウエル	10/8	4人	1
4	御前崎市	御前崎市総合保健福祉センター	10/26	0人	0
5	島田市	プラザおおるり	11/12	3人	0
6	磐田市	ワークピア磐田	12/2	6人	0
7	藤枝市	BIVI 藤枝	12/4	5人	0
8	富士市	ロゼシアター	12/7	4人	0
9	伊豆市	修善寺生きいきプラザ	1/19	2人	0
10	御殿場市	御殿場市民会館	1/21	5人	0
11	富士市	ロゼシアター	2/4	6人	0
合計				53人	8

(5) 福祉人材確保実践セミナーの開催

「外国人介護職員受入 WEB セミナー」

近年急増している外国人介護職員の受入が、外国人本人・



ミニ就職相談会の様子
(令和2年7月20日)

- ・新型コロナウイルス対策によって、施設内への入館を規制している事業所が多いため、リモートや動画での施設内の紹介や業務内容を具体的に説明する相談会を設定した。



(令和2年9月8日)
訪問入浴の説明

継続

法人の双方にとって有意義なものとなるよう、東南アジアの介護に精通した学識者及び、実際に外国人職員を受け入れた法人の担当者から「リアルな実情」を学んだ。

- ・日 時：3月2日(火) 14:00～16:30
- ・会 場：Zoom ミーティングにて開催
- ・参加者：26 名
- ・講 師：静岡県立大学短期大学部社会福祉学科
講師 天野ゆかり氏
ほか、県内施設の実践報告
- ・内 容：「アジアの介護の実情、外国人介護職員の受入側に求められる姿勢」他

(6) 福祉の就職・進学フェアの開催

福祉職場への就労希望者のための就職フェアと、福祉系学科等への進学希望者を対象とした進学フェアの同時開催
ア WEB開催(8/21～25に117の求人PR動画を公開)161人がエンタリーし、25人が資料請求(計98件)、期間中の動画視聴総数は3,572回。(就職者数6人)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、初めてのWEB開催となった。

イ WEB方式+対面方式(就職者数 11人)

①特設サイト

出展法人の求人PRポイントを閲覧・検索できる特設サイトを新規製作した。

②WEBライブ説明会

2月21日(日) 7人

2月26日(金) 2人

③対面式相談会

地区	開催日	会場	人数
東部	3月13日(土)	プラサヴェルデ	52人
中部	3月14日(日)	ツインメッセ静岡	44人
西部	3月11日(木)	浜松市福祉交流センター	44人
計			140人

継続

・コロナ禍でのWEB開催となったが、県外からの参加も可能となり、新たな採用活動に取り組む第一歩となった。
一方で、大学等での開催は厳しい状況となった。

<p>(7) 大学等での出前説明会の実施（目標：7回） 大学や専門学校の授業にゲストスピーカーを派遣し、福祉の仕事に関する理解を深めるセミナーのほかか、求人冊子の作成・配布、大学への出張就職相談を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="256 327 1007 1211"> <thead> <tr> <th></th> <th>日 時</th> <th>学 校 名</th> <th>内 容</th> <th>人 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>12/7(月)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>セミナー (2コマ)</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>12/28(月)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>セミナー</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>1/8(金)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>出張就職 相談</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>1/13(水)</td> <td>静岡県立大学 経営情報部</td> <td>セミナー (録画)</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1/18(月)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>セミナー</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/18 (配布)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>特製求人 冊子配布</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>3/3(水)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>出張相談</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3/5(金)</td> <td>中央歯科歯科 衛生士調理製 菓専門学校</td> <td>セミナー (2コマ)</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>3/23(火)</td> <td>静岡県立大学 短期大学部</td> <td>出張相談</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>		日 時	学 校 名	内 容	人 数	1	12/7(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー (2コマ)	31人	2	12/28(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	31人	3	1/8(金)	静岡県立大学 短期大学部	出張就職 相談	2人	4	1/13(水)	静岡県立大学 経営情報部	セミナー (録画)	30人	5	1/18(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	31人	6	1/18 (配布)	静岡県立大学 短期大学部	特製求人 冊子配布	50人	7	3/3(水)	静岡県立大学 短期大学部	出張相談	1人	8	3/5(金)	中央歯科歯科 衛生士調理製 菓専門学校	セミナー (2コマ)	32人	9	3/23(火)	静岡県立大学 短期大学部	出張相談	1人	継続	
	日 時	学 校 名	内 容	人 数																																																
1	12/7(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー (2コマ)	31人																																																
2	12/28(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	31人																																																
3	1/8(金)	静岡県立大学 短期大学部	出張就職 相談	2人																																																
4	1/13(水)	静岡県立大学 経営情報部	セミナー (録画)	30人																																																
5	1/18(月)	静岡県立大学 短期大学部	セミナー	31人																																																
6	1/18 (配布)	静岡県立大学 短期大学部	特製求人 冊子配布	50人																																																
7	3/3(水)	静岡県立大学 短期大学部	出張相談	1人																																																
8	3/5(金)	中央歯科歯科 衛生士調理製 菓専門学校	セミナー (2コマ)	32人																																																
9	3/23(火)	静岡県立大学 短期大学部	出張相談	1人																																																
<p>(8) 福祉の職場体験事業の実施（目標 1,000人） （4月～3月上旬 県内の介護施設等） 福祉・介護の職場に就職を希望・検討する求職者や福祉系学校に進学希望・関心のある中学生以上の学生を対象にした職場体験を実施した。（就職者数 16人）</p> <table border="1" data-bbox="280 1559 986 1749"> <thead> <tr> <th>地 区</th> <th>東部</th> <th>中部</th> <th>西部</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延受入施設（箇所）</td> <td>14</td> <td>47</td> <td>12</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>体験人数（実人数）</td> <td>13</td> <td>36</td> <td>8</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>延体験日数（日）</td> <td>34</td> <td>97</td> <td>29</td> <td>160</td> </tr> </tbody> </table>	地 区	東部	中部	西部	合計	延受入施設（箇所）	14	47	12	73	体験人数（実人数）	13	36	8	57	延体験日数（日）	34	97	29	160	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が甚大で、職場体験の受け入れを断る事業所が多く、また、中・高生は夏休み期間の短縮で体験申し込みが大幅に減少した。 																														
地 区	東部	中部	西部	合計																																																
延受入施設（箇所）	14	47	12	73																																																
体験人数（実人数）	13	36	8	57																																																
延体験日数（日）	34	97	29	160																																																
<p>(9) 介護職員復職支援事業（目標：復職者 100人） 結婚、出産等で離職した介護経験者の掘り起こしを行い、復職希望者に対して復職前研修や職場体験を行うことで復職を支援し、介護人材の確保を図った。 ア テレビCM等による制度の周知</p>	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングの結果、目標を超える復職者支援につながった。 																																																		

- ・制度・セミナー周知用チラシの作成、配布
(31,000 枚)
- ・テレビ CM 放映 (5/23~6/30) 民放 4 局 112 本、パブリシティ 4 本
- ・WEB 広告(スマートフォン GDN・YDN 画像広告、6/1~11/30、WOMO ネット 4/14~3/19)
- ・静岡新聞夕刊中部版への広告掲載 (令和 2 年 11 月 10 日号)
- ・むるぶ広告掲載(令和 2 年 12 月号)
- ・仕事情報アイデムへの広告掲載 (令和 3 年 1 月 3 日発行、令和 3 年 1 月 10 日発行、令和 3 年 3 月 7 日発行)
- ・すろーかる広告掲載 (令和 3 年 1 月号)

イ 介護職経験者復職支援動画の作成

- ・本会ホームページや Facebook による周知、本会就職相談会、セミナーでの放映、チラシによる周知を実施

ウ 支援対象者の届出システムへの登録

- ・福祉人材情報システムの「届出マイページ」への登録 (17 人)
- ・窓口の Wi-Fi 環境の整備 (介護の資格届出制度の登録促進)

エ 復職前研修

① 「介護のシゴト復職応援セミナー」の実施

- ・中部 7/20(月)、8/20(木)、9/6(日)、9/18(金)、10/15(木)、11/19(木)、12/17(木)、1/18(月)、1/22(金)、2/19(金)、3/14(日)
 - ・東部 7/15(水)、8/19(水)、9/16(水)、9/26 (土)、10/14(水)、10/23(金)、11/18(水)、12/16(水)、1/20(水)、1/27(水)、2/17(水)、3/13(土)、3/13(土)
 - ・西部 9/19(土)、9/19(土)、10/9(金)、1/29(金)、3/11(木)、3/11(木)
- 合計 30 回のセミナーを開催。

オ マッチングの実施と復職後のサポート (3 月末現在)

	支援者数	採用数	復職者数
人数	1,198	103	102

(10) 静岡県福祉職合同入職式 (～就職者のための合同研修会～) の開催

ア 合同入職式

県内福祉施設に次年度 4 月採用の新規入職者を対象にした合同入職式をリモートで開催した。

- ・テレビ CM や WEB 広告を利用し、幅広く県民に、事業の周知、利用促進を図った。



復職前研修の様子
(令和 2 年 9 月 19 日
湖西市商工会)



令和 3 年合同入職式
(令和 3 年 3 月 8 日
中部地区)

継続

地区	開催日
東部	令和3年3月4日(木)
中部	令和3年3月8日(月)
西部	令和3年3月9日(火)

イ フォローアップセミナー

合同入職式参加者を対象としたセミナーの開催

地区	会場	開催日
東部	プラザヴェルデ	令和2年11月5日(木)
中部	レイアップ御幸町ビル	令和2年11月9日(月)
西部	サラシティ浜松	令和2年11月24日(火)

2 事業者等と福祉人材確保・定着実践研究会の実施

(1) 福祉人材確保・定着実践研究会

福祉業界全体で取り組むイメージアップ戦略や効果的な採用活動を協議する場を設け、その課題に応じて研究会を開催した。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、WEB会議＋分科会方式とした。

分科会名(参加申出者数)	第1回	第2回
①就職フェア(9人)	9/29	11/11
②学生や他業者へのアプローチ(12人)	10/7	12/3
③WEB会議ツール活用(8人)	10/23	
④人材定着(12人)	9/25	12/8
⑤外国人雇用(8人)	10/6	12/10

(2) 福祉人材確保・定着実践研究会公開講座の開催

研究会での検討課題や実践的取組に係る先進事例を学ぶ場として、公開講座により、県域での課題共有や取組につなげていくことを目的に開催した。

ア 採用活動にも活かせるZoom入門セミナー

新型コロナウイルスの影響により、社会福祉施設でもWEB会議ツールの使用が必要になったため、「ZoomでZoomを学ぶセミナー」を企画した。

- ・日時：7月3日(金) 14:00～15:30
- ・会場：Zoomウェビナーにて開催
- ・参加者：168名
- ・講師：ヒューマンライト経営相談事業所
代表コンサルタント 峯尾喜一氏
- ・内容：Zoomの基本的な知識、操作方法
採用活動への活用事例

イ Zoom入門セミナー(超・基礎編)

継続

・人材確保や職場定着、福祉のイメージアップ、事業所間連携等に対する課題や現在の取り組み等を協議した。

〃

・福祉人材確保に関する時事的なテーマを企画・開催した。WEBセミナーとしたことで、例年よりも参加者が増加した。なお、セミナー企画については上記研究会にて協議した。

<p>WEB 会議ツールが浸透してきたが、利用頻度や理解度に法人差・個人差が大きいことから、再度入門セミナー（超・基礎編）を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：12月18日(金) 10:00～11:30 ・会 場：Zoomミーティングにて開催 ・参加者：74台 ・講 師：ヒューマンライト経営相談事業所 代表コンサルタント 峯尾喜一氏 ・内 容：WEB 会議ツール「Zoom」の基本的な使い方 <p>ウ 広報力 WEB セミナー</p> <p>「伝えること」についての基本的な考え方や、文章作成・写真撮影のコツを学ぶセミナーを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：1月28日(木) 14:00～16:00 ・会 場：Zoomミーティングにて開催 ・参加者：61台 ・講 師：株式会社すろーらいふ 小田庸介氏 ・内 容：プロから学ぶ！広報のイロハ <p>エ WEB 会議ツール活用セミナー</p> <p>既に「WEB 会議ツール」を有効に活用している法人の実践事例を共有する機会を設けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：2月5日(金) 14:00～16:00 ・会 場：Zoomミーティングにて開催 ・参加者：72台 ・講 師：静岡県社会福祉協議会 人材課 曾根允 清承会 久保田和宏氏 美芳会 大塚渉爾氏 ・内 容：WEB 会議ツールで新しい可能性を切り拓く (WEB 会議ツール活用の事例報告) <p>(3) 調査研究の実施</p> <p>ア 資格取得支援・人材育成に関する状況調査</p> <p>5～6月にWEB アンケートにて調査実施</p> <p>【調査項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①資格取得支援の制度の有無 ②人材育成、内部研修制度の有無 ③「介護補助」等での雇用の有無 ④学生アルバイト受入の可否 ⑤その他、求職者にPRしたい自事業所の人材育成・確保の制度 <p>イ 「WEB 会議ツール」導入状況調査</p> <p>7月にWEB アンケートにて調査実施</p> <p>【調査項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①WEB 会議ツールの導入状況、使用アプリ ②導入への課題 	<p>新規</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内法人の「資格取得支援・人材育成」及び「WEB 会議ツール導入状況」について、実態を明らかにするとともに、好事例を共有することで、質の向上に寄与した。
---	-----------	---

<p style="text-align: center;">③実際の活用事例（会議、面会、採用等）の収集</p> <p>3 外国人介護人材サポート事業 外国人介護職員が言語、文化、生活習慣等の相違などを越えて職場環境に適応し、安心して働くことができるよう職場への定着を支援した。</p> <p>(1) 事前調査（外国人介護人材雇用に関する状況調査）の実施 6～7月に、248事業所を対象に郵送による調査を実施した。 56事業所から回答があり、また、外国人職員96人から回答があった。 【調査項目】 ア 事業所担当者向け ① 雇用にあたり手続き上で苦慮したこと ② 雇用にあたり生活面・業務面で支援したこと ③ 雇用後、施設内での変化について 等 イ 外国人介護職員向け ① 介護の仕事を選んだ理由 ② 静岡県に来た理由 ③ 仕事や生活で不安な事、困っている事 等</p> <p>(2) 職場訪問（訪問目標数50か所） 訪問数50か所</p> <p>(3) 研修交流会の開催（目標16回） 県内18回企画、14回実施</p> <p>4 介護サービス提供体制強化市町支援事業業務 (1) 介護人材発掘事業 事業所の人材確保のための就職説明・マッチング会の開催を対面式、WEB方式で開催 ①令和3年3月6日（土）（WEB型及び集合型） 場所：南熱海マリンホール 中ホール 出展事業所：7事業所 参加者：6名 採用：1名 ②令和3年3月13日（土）（WEB型及び集合型） 場所：プラサヴェルデ コンベンションホールB 出展事業所：7事業所 参加者：52名 採用：1名 ③令和3年3月3日（水）（WEB型及び集合型） 場所：道の駅開国下田みなと 会議室1 出展事業所：5事業所 参加者：1名</p>	<p>新規</p> <p>新規</p> <p>新規</p>	<p>・近年増加してきた「外国人介護職員」について、調査や巡回訪問を通じて現状と課題の情報収集に努めた。</p> <div data-bbox="1158 689 1463 869" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1158 869 1463 1055" data-label="Caption"> <p>職場訪問：ショートステイつなぐ ミャンマーからの技能実習生</p> </div> <p>〃</p> <p>〃</p> <div data-bbox="1158 1055 1463 1361" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1158 1361 1463 1496" data-label="Caption"> <p>就職相談会 令和3年3月13日（土） プラサヴェルデ</p> </div>
--	-------------------------------	--

※求人広告の作成、新聞折込の実施

11月28日(土) 伊東市内 24,050部

2月28日(日)

賀茂地域、伊豆・伊豆の国市・三島市(一部除く)77,900部

(2) 訪問介護事業所広報強化事業

ホームヘルパーの仕事内容や魅力を広報するための動画の制作、リーフレット(若者編とセカンドキャリア編)の2種類を制作し、就職セミナー等で放映、配布

(3) 体験就労事業

熱海伊東圏域及び賀茂圏域の事業所を中心に、就労又は体験就労した者の1か月間の賃金を、事業所に対し補助した。
20件 2,273,343円

(4) 訪問介護緊急時連携支援事業

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で訪問介護事業所のサービス継続が困難となった場合や、サービス継続のための感染対策の支援について、賀茂圏域において事業所連携等の仕組みを構築した。
- ・賀茂地域訪問介護緊急時連携支援に関する意見交換会
令和3年1月25日(月)
参加者：賀茂地域の10事業所及び、各市町行政等
- ・動画「コロナ感染症在宅援助におけるポイント」の制作、事業所への周知を行った。

5 保育士・保育所支援センターの運営及び利用促進

(1) 保育士・保育所支援センターの運営

ア 就職支援コーディネーターの配置

- ① 事業所の保育士募集、求人に関する相談対応
- ② 潜在保育士の就労に関する相談対応
- ③ 求職者のニーズに合った就職先の紹介、斡旋
- ④ 保育士資格の取得等に関する相談対応

(令和3年3月末現在)

新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数
625件	1294人	109人

(2) 保育士就職説明会の開催(年4回)

地区	会場	開催日	参加人数
中部 第1回	@WEB会場 (エントリー者限定の動画配信)	8/21(金)~ 25(火)	69人
	@ほいく Job Book (求人情報冊子)		3,000部 作成

新規



//



//



継続

・コロナ禍において、前年度比、新規求人登録数、就職者数は減少したが、周知活動が浸透してきた結果、新規求職登録数は、ほぼ横ばいを維持。就職者数は保育士確保が難しくなっている中109人の就職に結びついた。

継続

中部第2回	シズウエル (静岡市)	1/30 (土)	23人
西部	iプラザ (磐田市)	1/16 (土)	9人
東部	プラサヴェルデ (沼津市)	1/31 (日)	12人
合 計			113人

(3) 潜在保育士現場復帰支援研修 (年4回)

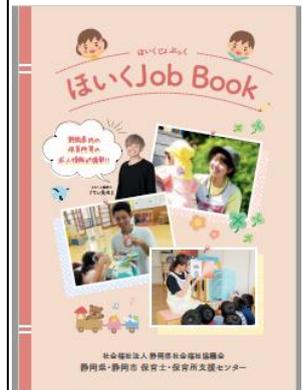
地区	会場	開催日	参加人数
中部第1回	@ほいく Job Book (求人情報冊子) 内にセミナーページとして掲載		3,000部 作成
中部第2回	シズウエル	1/30 (土)	27人
西部	iプラザ	1/16 (土)	10人
東部	プラサヴェルデ	1/31 (日)	12人
合 計			49人

地区	講師・講義内容
中部第1回	「てい先生」から保育の仕事に就職、復職を考えているみなさんへの応援メッセージ 講師：てい先生 (倉津 貴大 氏)
西部	「最近の保育の傾向とは 10の姿とこれからの保育士に求められるもの」 講師：(同) キョウイクデザイン 教育アドバイザー・保育士 増田 実菜 氏
中部第2回	「選ばれる、頼りにされる保育士になるために、今、私ができること」 講師：てい先生 (倉津 貴大 氏)
東部	「保育士としてのコミュカを上げよう！子どもへの言葉かけ、チームで保育をするということ」 講師：(同) キョウイクデザイン 教育アドバイザー・保育士 増田 実菜 氏



継続

保育士就職説明会
@WEB会場
＜中部第1回＞



保育士現場復帰支援研修
＜中部第1回＞
(ほいく Job Book)

(4) 出張相談会の開催（年 11 回）

県内各地区のハローワークにおいて相談会を開催し、保育現場の求人情報の提供や保育士資格取得のためのアドバイス等を行うとともに、保育所の先生等による講話（ミニセミナー）の時間を設け、保育の仕事に興味をもっていたことで、保育人材の確保に結びつけた。

回数	地区	会場	開催日	相談件数	ミニセミナー講師
1	東部	HW 富士宮	9/2 (水)	2 件	野中こども園副園長 中村 章啓 氏
2	静岡市	HW静岡	9/25 (金)	7 件	竜南こども園園長 太田嶋 俊彦 氏
3	静岡市	HW清水	10/21 (水)	2 件	Montessori ちやい るどはうす 代表取締役 乾 泰代 氏
4	西部	HW掛川	11/11 (水)	5 件	桜木こどもの森園長 岡田 博次 氏
5	静岡市	HW静岡	11/24 (火)	7 件	だきしめこども園園長 小林 かおり 氏
6	中部	HW島田	12/8 (火)	0 件	月坂保育園園長 奥川 むつみ 氏
7	静岡市	HW清水	1/13 (水)	3 件	有度十七夜山保 育園 園長 笠井 友泰 氏
8	西部	HW磐田	1/20 (水)	3 件	磐田市役所幼保 支援課主任 竹原 友子 氏
9	東部	HW沼津 ・三島	2/2 (火)	2 件	しんあい保育園園長 山本 重治 氏
10	東部	HW浜松	2/6 (土)	2 件	ひくまこども園園長 山田 佳敬 氏
11	静岡市	HW静岡 ・清水	2/10 (水)	3 件	沼上こども園園長 森下 健二 氏

※HW：ハローワーク

(5) 保育現場体験事業

（令和 2 年 5 月上旬～令和 3 年 2 月末）

対 象：保育士又は幼稚園教諭

保育士資格又は幼稚園教諭免許取得見込者

体験先：県内保育所及び静岡市内公立こども園等

（令和 3 年 3 月現在）

継続



出張相談会
＜HW 静岡 9/25＞

継続

・体験者からは、「子どもたちと関わることで新しい発見があった。保育士や園長先生から今の保育について貴重な話が聞け、保育の仕

地 区	東部	中部	西部	合計
延受入施設（箇所）	11	18	4	33
体験人数（実人数）	10	13	3	26
延体験日数（日）	21	34	6	61
見学人数（実人数）	0	3	0	3
延見学日数（日）	0	4	0	4

(6) 保育士さんの働く職場説明会&セミナー

保育所等での働き方や現状等での働き方や現状等の説明及び現場で活用できる知識・技術を習得する説明会&セミナーを開催する。保育士として働くイメージを深め、就業や再就職に対する不安を軽減し、就職意欲の向上を図った。

〔職場説明会〕

コース	開催日	説明会事業所
中部 (静岡市)	12/2 (水)	静岡市子ども未来局こども園課 (福)あゆみ福祉会竜南こども園・竜南乳児園 (福)静岡市社会福祉協議会 施設サービス課
西部	12/16 (水)	袋井市教育委員会すこやかこども課 (福)明和会 めいわ可睡保育園・明和保育園 オハナ 特定非営利活動法人 国際教育文化協会 (のびのび南クラブ)
東部	1/31 (水)	沼津市子育て支援課 (福)信愛会 しんあい保育園 沼津市子育て支援課 放課後児童クラブ連絡協議会

【セミナー(各会共通)】ワークショップ(動物のお面を作ろう)

講師：静岡福祉大学 子ども学部 子ども学科

講師 八木 朋美 氏

(7) 保育士・保育所支援センター登録システム及びホームページの管理運営、離職保育士届出制度の周知を行った。

静岡県・静岡市 保育士・保育所支援センターホームページ

<http://shizuoka-hoiku.jp>

<平成 29 年 3 月開設・平成 30 年 11 月リニューアル>

離職保育士届出数	136 人(令和 3 年 3 月末現在)
----------	----------------------

新規



保育士さんの働く職場説明会&セミナー
<西部 袋井コース>

継続

事に関わりたいという思いが強くなった。」という意見があった。

- ・ コロナ禍で見学ツアーの代替として開催。説明会は、写真や動画を活用し施設の雰囲気が充分感じられた。セミナーでは学ぶ機会が少ない実技(工作)を行い、参加者からは「実践的な事を学べて良かった。」と好評だった。

<p>(8) 放課後児童支援員の人材確保支援 保育士資格を有する放課後児童支援員の人材確保について、求職者と雇用者からの相談対応や勤務条件等のマッチングを実施した。</p> <table border="1" data-bbox="288 331 1050 465"> <thead> <tr> <th>求人相談</th> <th>求職相談</th> <th>新規求人登録数</th> <th>新規求職登録数</th> <th>就職者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8件</td> <td>11件</td> <td>8件(34人)</td> <td>0人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	求人相談	求職相談	新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数	8件	11件	8件(34人)	0人	0人	<p>継続</p>	
求人相談	求職相談	新規求人登録数	新規求職登録数	就職者数								
8件	11件	8件(34人)	0人	0人								
<p>(9) 保育士養成施設連絡会の開催 保育士を取り巻く状況の共有、早期離職の解消に向けた仕組みの検討や保育士の職場定着を目的とした情報共有を実施した。(令和3年3月17日オンラインにて開催)</p>	<p>//</p>											
<p>6 保育士、介護福祉士等の資金貸付事業の実施 (1) 介護福祉士修学資金貸付事業 ア 介護福祉士修学資金 介護福祉士養成施設に在学する者及び実務者研修受講者に対する、授業料等の貸付け。 ・介護福祉士修学資金 85人 61,639,200円 ・介護福祉士実務者研修 41人 7,144,720円 イ 再就職準備金 離職した介護職員が介護職員として勤務する際の再就職準備金の貸付け。63人 25,200,000円 (2) 保育士修学資金等貸付事業 ア 保育士修学資金 保育士養成施設に通う学生に対する、授業料等の貸付け。 552人 371,955,700円 イ 保育補助者雇上費 保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対する、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の一部についての貸付け。12件 27,697,111円 ウ 保育料の一部 未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際の、未就学児の保育施設利用料の一部についての貸付け。56件 6,603,340円 エ 就職準備金 潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際の就職準備金の貸付け。112件 41,200,000円 オ 子どもの預かり支援事業利用料金の一部 未就学児をもつ潜在保育士が、保育士として保育所に勤務する際、未就学児の預かり支援に関する事業所を利用した場合の利用料金の一部についての貸付け。 2件 60,100円</p>	<p>//</p>	<p>//</p> <p>・依然として高い需要がある保育人材確保、保育士の雇用管理・労働環境の改善、潜在保育士の職場復帰促進に関して有効に活用された。</p>										

<p>(3) 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業 児童養護施設等を退所し、就職または進学した児童等に対し、家賃相当額や生活費、資格取得費を貸し付けることにより、自立を支援</p> <p>ア 生活支援費 8名 4,080,000円 イ 家賃支援費 7名 3,284,160円 ウ 資格取得支援費 3名 723,800円</p>	<p>〃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入所児童等の施設退所後の安定した生活基盤の確立に役立ててもらったための貸付を行い、自立支援につながった。
<p>(4) ひとり親家庭訓練促進資金貸付事業 高等職業訓練促進給付金を活用し、看護師等の就職に有利な資格を取得するため養成機関に入学し卒業後その資格を利用し就労自立を目指す一人親について、入学準備金・就職準備金を貸し付け自立を促進</p> <p>ア 入学準備金 9件 4,500,000円 イ 就職準備金 17件 3,400,000円</p>	<p>〃</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭の経済的基盤の確立のために、看護師等各種資格取得と就職時の準備に要する費用として役立ててもらうことができた。
<p>7 県ホームヘルパー連絡協議会の事務受託 一般研修会の開催（3回、内1回は2会場） サービス提供責任者研修会の開催（2回）</p>	<p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護職員の資質向上につながった。
<div data-bbox="311 1034 850 1400" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="311 1400 850 1500" data-label="Caption"> <p>第1回一般研修会の開催 (令和2年9月11日)</p> </div>		
<p>8 県福利厚生センターの事務受託 ア 業務推進委員会の開催（2月9日開催） イ 会員交流事業の実施（30事業・中止12事業） ウ ニーズ調査等アンケートの実施</p>	<p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で施設職員がリフレッシュでき、意欲向上につながった。 ・施設職員の定着率の向上につながった。

推進事項2 福祉業界・仕事の魅力発信

一般的に持たれている福祉の仕事に対する漠然とした不安やイメージを払拭できるよう、小、中、高校生や保護者・教員等も参加できる体験型イベントのほか、WEB広告・SNSを利用した広報による福祉・介護の魅力発信を引き続き行い、効果的に福祉人材の確保につなげた。

事業の実績						区分	効果・評価																																																																	
1 福祉教育・仕事理解の講座等による若年層や教員、保護者等への浸透 (1) 福祉のお仕事魅力発見セミナーの実施(目標150回) (4月～2月 県内小学校・中学校・高等学校) 県内の学校を訪問し、福祉・介護の仕事について興味・関心、理解を深める出前講座を実施した。 <実施状況>						継続	・コロナの影響で学校からの急なキャンセルもあったが、受講した生徒や教員からは、「福祉の仕事には介護だけでなく、保育士や相談員等の様々な職種があり、資格についても学ぶことができ良かった」や「福祉の仕事に興味を持った」などの意見があり、将来を担う世代の福祉・介護への参入促進に寄与した。																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="2">申込数</th> <th colspan="2">実施数</th> </tr> <tr> <th>校数</th> <th>回数</th> <th>校数</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>公立</td> <td>35</td> <td>81</td> <td>35</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>35</td> <td>81</td> <td>35</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>公立</td> <td>19</td> <td>54</td> <td>18</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19</td> <td>54</td> <td>18</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高等学校</td> <td>公立</td> <td>7</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>7</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15</td> <td>29</td> <td>13</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>69</td> <td>164</td> <td>66</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table>								種別	種別	申込数		実施数		校数	回数	校数	回数	小学校	公立	35	81	35	79	私立	0	0	0	0	計	35	81	35	79	中学校	公立	19	54	18	43	私立	0	0	0	0	計	19	54	18	43	高等学校	公立	7	14	6	13	私立	8	15	7	13	計	15	29	13	26	合計		69	164	66	148	(2) 保護者向け啓発資料の作成、配付 小学生・中学生・高校生の保護者を対象に、福祉の仕事に対する正しい情報を提供するとともに、イメージアップを図るために作成し、「福祉のお仕事魅力発見セミナー」を行った小・中・高校の児童・生徒やイベント等で配布し、啓発を図った。 ・啓発資料の作成検討会委員会書面審議 (1月～2月) ・10,000部作成
種別	種別	申込数		実施数																																																																				
		校数	回数	校数	回数																																																																			
小学校	公立	35	81	35	79																																																																			
	私立	0	0	0	0																																																																			
	計	35	81	35	79																																																																			
中学校	公立	19	54	18	43																																																																			
	私立	0	0	0	0																																																																			
	計	19	54	18	43																																																																			
高等学校	公立	7	14	6	13																																																																			
	私立	8	15	7	13																																																																			
	計	15	29	13	26																																																																			
合計		69	164	66	148																																																																			
2 福祉施設の見学会や参加・体験型イベントの実施 (1) 福祉のしごと学び体験ツアー(リモート版)の実施 中学・高校生等をはじめ、保護者や教員を対象に、社会福祉施設のリモート見学、VR認知症体験等の福祉体験を実施した。																																																																								

＜実績＞			
地区 場所	日程	法人名等	参加 人数
東部 サンウェル沼津	9/5(土)	(株)ツクイ、(福)函要 会、(福)春風会	17人
中部 シズウェル	8/22(土)	(株)ツクイ、(福)清承 会、静岡福祉大学	18人
西部 生活介護事業所 びのほーぷ	8/29(土)	(株)ツクイ、(福)和松 会	11人
計			46人

3 WEBサイトやSNSによる広報・啓発の推進

- (1) 広報（新聞、テレビ、ラジオCM等）の実施
・テレビCM（7月に県内2局で127回放映）
- (2) リーフレットの発行 5,000部
- (3) 社会福祉アクセスガイドの発行 2,700部
- (4) 社会福祉人材センター利用の手引きの発行
2,000部
- (5) 求人の手引きの発行 800部
- (6) 社会福祉人材センター年報の発行 150部
- (7) 福祉・介護の仕事イメージアップ冊子の発行
5,000部
- (8) ホームページの充実（随時更新）
- (9) WEB広告の実施
- (10) 電車内アナウンスの実施

機会となった。

継 続

- ・テレビCMの放送やインターネットによる情報提供等により、広く県民に広報・啓発を行い、福祉の仕事に対するイメージアップや社会福祉人材センターの周知につながった。



推進事項3 質の高い人材の育成支援

1 各種研修の実施

人手不足が深刻化している中、福祉職場のイメージアップ等により、福祉従事者を確保するためには、現に福祉職場に従事する方の資質向上と併せ、就労環境の改善が急務となっている。

そこで、福祉・介護職員を対象とした外部研修実施機関として階層別・テーマ別の研修会を開催するとともに、人材育成の基本である職場内研修の実施を支援した。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 研修の体系化に基づき研修会を開催 研修体系に基づき 62 本の研修を企画し、39 本の研修（1,808 人受講）を実施した。 新型コロナウイルス感染症対応として、7 月までのすべての集合研修及び 8 月以降の接触を伴う実技研修を中止（一部延期）した。	継続	・福祉・介護職員に必要とされる組織力・専門技術力・人間力の習得を通じてサービスの質向上や職員の職場定着に寄与した。
(2) 研修受講申込みの効率的な実施 本会ホームページ上から研修も受講申込みができるサービスを会員に提供した。	〃	・事業所及び本会の経費削減・事務の効率化に寄与した。
(3) 施設・事業所内の人財育成の支援 施設・事業所のニーズに応じた講師を紹介した。	〃	・職場内研修の更なる充実を図った。
(4) 積極的な研修広報の展開 ア 研修計画の計画的な更新 ・新型コロナウイルス感染症の影響で研修中止や日程変更が多いため、HP 公開の研修計画を定期的に更新した。 ・新型コロナウイルス感染症の集合研修における感染防止対策を HP 等で公開周知し、参加者の不安の払拭に努めた。 イ 行政からのメール等による研修計画の周知 ・認知症関連の研修は県健康増進課から、その他の研修は県福祉指導課から周知するとともに、HP で公表（掲載）予定の県介護保険課へも情報提供した。 ウ 研修開催情報の定期的な周知 ・希望する事業所等へ毎月メールにて研修情報を提供するとともに、申込システムに登録のある会員事業所にも情報提供した。	〃	・受講者の確保に努めた。

基本目標3 災害福祉支援体制づくり

実施目標1 災害に備えた支援体制を構築します

推進事項1 静岡県災害ボランティア本部・情報センターの機能強化

県内全域を対象にボランティア活動の支援を行う広域拠点として、市町災害ボランティア本部が円滑に機能するよう、人材育成、活動資機材の整備、情報発信拠点及び県行政等関係機関・団体との連携体制の強化を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 本会職員の人材育成 ア 職員向け研修の開催 SNS研修会の開催(11/9) イ SNS等を使った情報発信トレーニングの実施 平時からSNSを使った情報発信を実施。フェイスブック、インスタグラムの投稿(随時) ウ 県社協災害対応マニュアルに基づく初動訓練の実施 グループウェアを活用した情報伝達訓練実施に向けた検討	継続 〃 〃	・SNSの発信に慣れたことで、初動対応の情報発信が迅速にできる人材が増えた。
(2) 活動資機材の配備と保守点検 ア 設置資機材を活用した稼働訓練と保守点検 発電機の稼働確認を実施した。 イ 賀茂圏域へ資機材倉庫の設置 特別養護老人ホーム中伊豆(伊豆市)へ設置(赤い羽根助成事業)	〃 新規	・迅速に被災地社協に資機材を提供できる体制を整備した。
(3) 県本部・情報センターの体制整備 ア IT支援協定の締結 (株)サイボウズと他県社協と定例オンライン会議の実施 イ 支援協定の年次確認の実施 静岡県商工会青年部連合会との情報交換会の開催(3/22) ウ 県本部・情報センター内における市町別サイトの構築 市町社協平時及び災害時の情報システム強化に関するワーキングチーム設置と会議の開催(10/12, 12/2, 3/1) 市町別サイトの更新作業の訓練を実施 エ 災害福祉支援センター広報の確認、広報周知	〃 〃 継続 〃	・ICT導入のノウハウを他県社協と情報共有し知識を深めた。 ・市町社協が災害時に自らサイトを更新できるスキルを習得した。 ・実効性のあるマニュアル更新に向けて関係者で協議を実施した。
(4) 県本部マニュアルの更新 ア 県、県ボランティア協会と更新内容の検討 県所管3課を交えた5者検討会の開催(7/7, 1/19) イ マニュアルの更新着手 「新型コロナウイルス感染防止を踏まえた静岡県災害ボランティア本部・情報センター及び市町災害ボランティア本部(センター)運営の考え方」の作成	〃 〃	・コロナ禍での災害ボランティアセンター運営ができるよう支援した。



災害ボランティア活動用
資機材整備事業

実施目標2 災害時の市町社協を支援します

推進事項1 市町社協運営支援

「被災地に対する社協ネットワークの役割と支援の提案」(全社協作成)を進め、災害時の連絡体制の整備や社協間のネットワークを活かした効果的な支援のあり方を検討するとともに、BCP(事業継続計画)の策定など、提案に沿った体制づくりを支援します。災害時には社協ネットワークを駆使し、災害支援活動に専念できるよう、スーパーバイズ機能、コーディネート機能、代替機能を発揮した支援活動を行った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 災害時相互支援協定に基づく職員派遣の円滑化 ア 本部立上げ訓練内容の見直し 新型コロナウイルス感染症予防のため会場での訓練実施は見送った。 市町社協災害担当者との被害情報収集訓練の実施(大雨、台風接近時) イ 社協ブロック派遣の実施(災害時)	継続 〃	・ICTを活用した情報収集を導入したことで、最新情報を県内市町間で被害状況を随時共有できるようになった。
(2) 県災害ボランティア本部・情報センターの体制整備 ア 市町支援チームの担い手、活動内容の明確化 イ 外部からの受援に対する検討 内閣府三者連携研修への協力と参加(1/28) ウ 運営財源確保に関する要望の継続 静岡県、県ボランティア協会と「静岡県災害ボランティア活動検討会」の開催(7/7, 1/19) ※再掲	継続 〃 〃 〃	・災害ボランティアセンター運営に係る人件費と旅費の一部が公費負担として認められた。 ・災害ボランティアセンター運営にICT導入し訓練で検証することができ課題を把握できた。
(3) 市町社協災害ボランティア担当者研修・会議の実施 ア 災害対応研修会の実施 新型コロナウイルス感染症予防のため開催を見送り、市町社協平時及び災害時における情報システム強化に関するワーキングチーム設置と会議を開催(10/12、12/2、3/1) 島田市社協災害ボランティアセンター運営訓練に協力(3/13)	〃	



島田市災害ボランティアセンター運営訓練

市町社協平時及び災害時における情報システム強化に関するワーキングチーム



静岡県災害ボランティア活動検討会

推進事項2 被災者への生活支援

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 円滑な生活福祉資金(特例貸付)の実施 災害時等の貸付けの特例措置に関する協定に基づく協定機関連絡会の実施及び実施体制・方法の検討	継続	・全市町社協で災害時の事業運営が円滑に展開できる体制構築した
(2) 日常生活自立支援事業の利用者への支援の検討 ア 運営マニュアルに基づいた訓練の実施(1回) イ 災害VCと他事業との連携検証(随時)	〃	・县市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるようにした。
(3) 生活支援相談員の体制整備の検討 生活支援相談員の設置想定の方策と体制整備に向けた検討	〃	・市町社協で運営が円滑にできるよう体制整備を行った。
(4) 介護保険サービス利用者への支援の検討 サービス利用者の安否確認と避難生活時の支援を想定した体制整備の検討	〃	・县市町社協の担当職員が共通認識のもと行動できるようにした。

基本目標4 地域福祉を支える県社協の基盤づくり

実施目標1 組織・経営強化を図ります

推進事項1 組織体制の強化

本会の会員サービスの充実に向けた検討を行うとともに、未加入の県内事業所等に対し、加入促進を行った。

また、制度改正や社会の動向に対応した組織体制を整備するとともに、法令順守の徹底を図った。

災害に対しては、想定されるあらゆる状況に対応できるよう活動マニュアル整備の検討を進めた。

なお、平成31年度から5年間指定管理者の指定を受けている静岡県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営については、静岡県と締結する協定書を遵守し、入居団体や利用者の安心と満足を確保する管理と運営に努めた。

事業の実績	区分	効果・評価
<p>1 会員サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織強化委員会及び企画戦略会議等において新たな会員サービスを検討・実施した。 ・民間社会福祉施設を対象とした、新型コロナウイルス感染対策事業に対する助成の実施 (助成件数 106 件、助成額 6,677 千円) ・感染症対策に係る「社会福祉法人運営管理研修会」の実施 (研修会参加数 300 施設、参加者約 1,000 人) 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・会員制度の理解促進と会員向けサービスの充実による新規会員の獲得。 ・新型コロナウイルス感染対策事業に対する問い合わせが複数あり、うち、3施設が新規入会。
<p>2 未加入事業所、賛助会員の加入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織強化委員会及び企画戦略会議における検討結果等をもとに、情報発信や加入促進策を実施した。 ・保育所・こども園への新規入会勧誘 (65 法人) うち、5施設が新規入会 	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・普通会员については、新たに入会案内を保育所・こども園に送付し、5施設の新規入会があった。
<p>3 連絡協議会、部会、委員会活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町社協連絡協議会、社会福祉団体連絡協議会の運営 (再掲) ・部会 (地域公益部会)、事業別委員会の開催 (再掲) 	〃	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会、部会、委員会において、先進事例や解決事例を共有
<p>4 事務組織体制、ガバナンスの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務課長及び課員による、新規採用職員向けの導入研修 (4月10人、8月2人、11月3人、2月1人) ・同一賃金同一労働への対応のため、職務権限や役割分担に関する考え方を整理した。 ・事務の円滑化のため、事務権限の見直しを行った。 ・生活福祉資金貸付業務の増に対応し、派遣社員を配置するなど柔軟に対応した。 	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・社協全体として、法令順守意識の維持。 ・業務の増に対して派遣社員を配置し、職員負担の軽減・事務円滑化ができた。

<p>5 理事会・評議員会の運営</p> <p>(1) 理事会の開催</p> <p>【書面】 令和2年4月16日（木）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度4月生活福祉資金会計 補正予算</p> <p>② 評議員会の招集</p> <p>【書面】 令和2年5月22日（金）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度5月生活福祉資金会計 補正予算</p> <p>② 評議員会の招集</p> <p>【書面】 令和2年6月9日（火）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事・監事の候補者選定案</p> <p>② 評議員候補者選任案</p> <p>③ 重要な役割を担う職員の選任及び解任</p> <p>④ 評議員選定委員会委員選任案について</p> <p>⑤ 令和元年度事業報告</p> <p>⑥ 令和元年度一般会計・生活福祉資金会計収支決算</p> <p>⑦ 令和2年度6月一般会計・生活福祉資金会計収支補正予算</p> <p>⑧ 評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 外部監査の実施結果</p> <p>② 令和元年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果</p> <p>③ 県社協に対する寄附金等</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染拡大に対する対応</p> <p>⑤ 令和2年度理事会・評議員会等の日程</p> <p>【書面】 令和2年7月20日（月）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事候補者選定案</p> <p>② 評議員候補者選任案</p> <p>③ 評議員会の招集</p> <p>【書面】 令和2年8月21日（金）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 人事案件（副会長の選定）</p> <p>【書面】 令和2年9月30日（水）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度10月生活福祉資金会計 補正予算</p> <p>【第1回（第215回）理事会】 令和2年10月27日（火）</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算（案）</p> <p>② 第176回評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p>	<p>継 続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社協及び地域が抱える課題や重要事項等を審議することにより、県社協事業の円滑な遂行と的確な地域福祉施策の推進につながった。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大を受けた生活福祉資金の貸付申請の増大や各種新規事業等に対応し、柔軟に補正予算を編成し、迅速な事業実施を図ることができた。 ・ 特に令和2年度は、従前の集合開催に加え、Zoomによるリモート出席を併用し、役員・評議員の出席率の向上に取り組んだ。
---	------------	--

<p>① 静岡県社会福祉協議会 評議員選任結果</p> <p>② 令和2年度上半期主要事業執行状況報告</p> <p>③ 令和元年度決算の検証</p> <p>④ 令和元年度及び令和2年度上半期の会長及び常務理事の職務執行状況</p> <p>⑤ 「新型コロナウイルス感染症への対応記録」</p> <p>【書面】 令和2年11月30日（月）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 職員給与規程の改正</p> <p>② 役員等報酬規程の改正</p> <p>③ 評議員会の招集</p> <p>【第2回（第216回）理事会】 令和3年3月12日（金）</p> <p>1 議題</p> <p>① 評議員選定委員会委員選任案</p> <p>② 令和2年度3月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算（案）</p> <p>③ 令和3年度事業計画（案）</p> <p>④ 令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算（案）</p> <p>⑤ 諸規程の一部改正</p> <p>⑥ 第177回評議員会の招集</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 令和2年度静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等</p> <p>② 令和2年度会長及び常務理事の職務執行状況</p> <p>③ 新型コロナ感染症に係る「介護・福祉現場への誹謗中傷防止に向けた共同声明」</p> <p>④ 静岡県社会福祉協議会 創設70周年</p> <p>⑤ 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>⑥ 令和3年度理事会・評議員会等の日程</p> <p>(2) 評議員会の開催</p> <p>【書面】 令和2年4月24日（金）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度4月生活福祉資金会計 補正予算</p> <p>【書面】 令和2年5月29日（金）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度5月生活福祉資金会計 補正予算</p> <p>【書面】 令和2年6月24日（水）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事・監事の選任</p> <p>② 令和元年度事業報告</p> <p>③ 令和元年度一般会計・生活福祉資金会計収支決算</p> <p>④ 令和2年度6月一般会計・生活福祉資金会計 収支補正予算</p>	<p>継 続</p>	
--	------------	--

<p>2 報告事項</p> <p>① 外部監査の実施結果</p> <p>② 令和元年度決算に基づく社会福祉充実残額の算定結果</p> <p>③ 県社協に対する寄附金等</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染拡大に対する対応</p> <p>⑤ 令和2年度理事会・評議員会等の日程</p> <p>【書面】 令和2年7月27日（月）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 理事の選任</p> <p>【書面】 令和2年10月7日（水）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度10月生活福祉資金会計 補正予算</p> <p>【第1回（第176回）評議員会】 令和2年11月12日（木）</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度11月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算（案）</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 令和2年度上半期主要事業執行状況報告</p> <p>② 令和元年度決算の検証</p> <p>③ 「新型コロナウイルス感染症への対応記録」</p> <p>【書面】 令和2年12月8日（火）みなし決議</p> <p>1 議題</p> <p>① 役員等報酬規程の改正</p> <p>【第2回（第177回）評議員会】 令和3年3月25日（木）</p> <p>1 議題</p> <p>① 令和2年度3月一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算（案）</p> <p>② 令和3年度事業計画（案）</p> <p>③ 令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算（案）</p> <p>2 報告事項</p> <p>① 評議員選定委員会委員の選任</p> <p>② 令和2年度静岡県社会福祉協議会に対する寄附金等</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症に係る「介護・福祉現場への誹謗中傷防止に向けた共同声明」</p> <p>④ 静岡県社会福祉協議会 創設70周年</p> <p>⑤ 生活福祉資金特例貸付の実施状況</p> <p>⑥ 福祉教育副読本「みんなちがっても同じ、『いのち』。」活用状況調査の結果</p> <p>⑦ 令和3年度理事会・評議員会等の日程</p> <p>(3) 監事による監査（1回） 令和2年5月20日（水）、21日（木） 指摘事項なし</p>	<p>継 続</p>	
---	------------	--

<p>(4) 評議員選定委員会の開催（1回） 【書面】 令和2年9月25日（金）みなし決議 ① 評議員の選任について</p>	<p>継続</p>	
<p>6 政策提言の実施 ・会長及び副会長が知事と面談し、地域福祉の推進について3項目を提案（9/1）</p>	<p>〃</p>	<p>・県へ社会福祉に関する要望の実現を要請できた。</p>
<p>7 県社協災害対策実施計画、各業務班の活動マニュアル作成と随時見直し</p>	<p>〃</p>	<p>・各業務班の活動内容の明確化を進めた。</p>
<p>8 県社協災害対策本部の立ち上げ訓練の実施 ・新型コロナ関連業務を優先したことから中止した。</p>	<p>新規</p>	
<p>9 役員の福祉現場視察の実施 ・新型コロナ感染拡大防止のため中止した。</p>	<p>継続</p>	
<p>10 県総合社会福祉会館（シズウエル）の管理・運営 指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日 ア 指定管理業務 ① 会議室等の使用承認等 ② 利用料金の設定及び收受 ③ 会館の維持管理 ④ 会館入居団体、利用者の調整 ⑤ 来館者への食事提供に関する業務 イ 利用実績（3月末現在） ・有料会議室（10室のうち1室は、展示ギャラリー兼用） 1,995件利用、利用料金収入9,827,000円 ・その他の施設（7施設、32入居団体） ・累計5,169件、168,401人利用 ウ マナー研修（7/10,17 26人） 「知らないと恥をかく接遇の基本、さすが！と言われる接遇のコツ」等 エ 普通救命講習Ⅰ 心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）の取扱（11月18、25日25人）等 オ フェスタシズウエル2020 ・コロナ感染拡大防止のため中止した。</p>	<p>〃</p>	<p>・指定管理者として、会館の管理運営業務を着実に遂行し、入居団体や利用者が安心し、満足が得られる運営に努めた。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、会館内でのマスク着用、玄関や会議室へのアルコール消毒液の設置、受付の飛沫防止パネルの設置、トイレ等の消毒などの対策を徹底した。 ・会館入居団体職員等を対象としたマナー研修に多くの職員等が参加し、会館職員及び関係者の資質向上を図ることができた。</p>
<p>11 防災訓練の実施 (1) 情報伝達訓練の実施 （6/3会館入居団体職員等） (2) 総合社会福祉会館防災訓練の実施</p>	<p>〃 〃 〃</p>	<p>・情報伝達が円滑に行われるか検証できた。 ・入居団体職員の防災意識</p>

第1回（地震）：9/3、参加人員 146 人 第2回（火災）：2/18 参加人員 153 人 避難誘導訓練、救護訓練、放水訓練等 (3) 階段避難器具（EVAC+CHAIR）の操作訓練の実施 （8/25 参加人員 8 名、2/18 参加人 12 名）	継続	の高揚と防災設備操作の熟知に努めた。また、階段避難器具（EVAC+CHAIR）の操作訓練や放水訓練を実施し、操作法の習得に努めた。
12 任意監査の実施 (1) 決算書類に関する任意監査の実施（5/15, 18） 指摘事項なし	〃	・会計経理の適正な手続きと事業運営の透明性の確保を図った。
(2) 出納業務に関する任意監査の実施（10/20, 21）	〃	
(3) 会計業務及び予算執行に関する任意監査の実施（2/3, 4）	〃	



救急救命講習 I
(AED 取扱実習 11/25)



第2回防災訓練（火災）
(放水訓練 2/18)

推進事項 2 経営基盤の強化

限られた財源を有効活用するため、財政の効率化と改善を推進し、財政基盤の強化を図った。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) 新たな自主財源の検討 ・社協封筒への広告枠の設定	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源事業の新たな展開のための財源確保を図った。 ・基金運用先を見直し、手持ち資金の新たな運用を行うことで、利金収入の増収につなげた。 ・計画的な財政執行の促進 ・消耗品の調達コストの低減を図った。
(2) 各種基金の運用方法の見直し ・資金運用規程、基金設置要綱等を見直し、社債（電力債）運用を実施	〃	
(3) 経常経費の見直し ・備品管理の一元化 ・リース料やトナー等消耗品のトータルコストを考慮した、印刷機の更新 ・事業検証、決算分析の実施	〃	
(4) ICT 活用による業務効率化 ・システムの導入に向けた検討（会員管理、研修申込、労務管理等） ・グループウェアの変更による、業務の効率化 ・文書収発簿の電子化	〃	
(5) 支出削減への積極的取組 ・インターネットの活用による消耗品費の低減	継続	

推進事項3 広報力の強化

県内の地域共生づくりに向けた先駆的な取り組みや地域特性を反映した取り組みなどの最新情報を収集し、職員一人一人が高い意識を持ち、様々な媒体を活用した広報・情報提供の取り組みを進めた。

事業の実績	区分	効果・評価
(1) ホームページの充実及び積極的な活用促進 ・バナー広告設置 ・レイアウト一部変更（SNSのリンク作成）	新規	・バナー広告の設置により収入が増加した。
(2) 広報力強化を検討する場を設置 ・公式インスタグラムの開設 ・広報戦略委員会を中心としたSNS運用チームを部署横断的に設置（平日は、ほぼ毎日SNSを更新）	〃	・Facebook ページへの「いいね！」数が増加 687(4/1)⇒910(3/31) ・社会福祉協議会の認知度向上
(3) 県社協パンフレットの発行（400部、4月） ・レイアウト変更により、読みやすく明るいパンフレットへ変更	継続	
(4) 機関紙「むすぶつなぐ」（社会福祉しずおか）の発行 ・年間8回（4、5、7、9、10、11、1、3の各月） ・各11,300部発行	〃	

実施目標2 「人財」育成を図ります

推進事項1 安心して働ける職場づくり

働き方改革関連法施行に伴い諸規定の整備等を行うとともに、長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進のための取組を行った。

また、本会職員が、育児・介護等個々のライフスタイルに合った働き方ができるよう働きやすい職場環境の整備について検討を進めた。また、県社協職員として目指すべき職員像や具体的な行動目標について、役職、階層、雇用形態ごとの明文化を検討するとともに、知識や技術の向上に取り組んだ。

事業の実績	区分	効果・評価
1 働きやすい職場環境の整備 (1) 働き方改革への対応 ・休暇の取得が遅れている職員へ取得奨励 ・職務権限や役割分担に関する検討	新規	・職員のワークライフバランスの向上 ・休暇の取得促進によるリフレッシュや、仕事の効率化による生産性の向上を図った。
(2) 長時間労働の是正や年次有給休暇の取得推進のための取組 ・夏季休暇期間の前倒し延長による確実な取得の促進	〃	
(3) 多様な働き方の検討 ・在宅勤務（テレワーク）の導入 ・時間単位特別休暇の導入（小中学校の臨時休校等に対応した子の養育）	〃	・コロナ禍においても職員が安心して働ける仕組や環境を整備した。
(4) 職員の安全衛生・健康保持のための新たな取組の検討 ・コロナウイルス感染防止のため、アルコール消毒液の職	新規	
	〃	

<p>場内配置や、窓口に飛沫感染防止のための仕切り板の設置、室内換気の励行、会議等における3密回避の取組等を実施</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の残業時間における職員の熱中症予防のため、スポットクーラーやサーキュレーター等の空調機器を配置 		
<p>2 職員福利厚生事業</p>	<p>継 続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員が心身の健康を維持しながら、安心して働ける職場環境の維持に努めた。
<p>(1) 職員健康診断 (年1回実施)</p>	<p>//</p>	
<p>(2) 人間ドック助成 (35歳以上65歳未満)</p>	<p>//</p>	
<p>(3) 県派遣職員人間ドック事業</p>	<p>//</p>	
<p>(4) インフルエンザ予防接種助成</p>	<p>//</p>	
<p>(5) 衛生委員会 (根拠:労働安全衛生法)</p>	<p>//</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス産業医2/25実施 		
<p>(6) ストレスチェックの実施・面接指導の実施</p>	<p>//</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ストレスチェックの実施 (9月) 		
<ul style="list-style-type: none"> 高ストレス者対象の面接指導の希望者募集 (12月) 		
<p>3 計画的な人材育成の仕組みづくり</p>		
<p>(1) 新規採用職員の教育体制の構築</p>	<p>新 規</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員の職務に対する不安の解消を図った。
<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修の実施 (4/2・13 10人、8/13 2人、11/2 2人、11/16 1人、2/1 1人) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・正規職員についてエルダー制度を設け、新人研修及びエルダー向け研修を実施 		
<p>(2) 目指すべき職員像、行動目標の検討</p>	<p>//</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成委員会にて検討を継続 		
<p>(3) 階層別研修への参加(新採、中堅、管理職員等)</p>	<p>継 続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成を体系的に実施することにより、職員のスキルアップを図った。
<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修 ※再掲 		
<ul style="list-style-type: none"> ・市町社会福祉協議会新任職員研修会 (8/6～7 5人) 		
<p>(4) 専門研修 (テーマ別) への参加</p>	<p>//</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・職業紹介責任者講習 (7/6 1人、1人) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・facebook スタートアップセミナー(5/22 2人) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・会計実務講座 (初級) (8月～12月 1人) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材センター業務法令研修 (8/31、9/3 2人) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材情報システム研修会 (9/28、10/1 1人) 		
<ul style="list-style-type: none"> ・甲種防火管理者研修 (9/17～18 1人) 		
<p>(5) 職員に対する資格取得奨励研修 (希望選考制)</p>	<p>//</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度: 希望者なし 		
<p>(6) 外部からの依頼による講師の派遣</p>	<p>//</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・三重県DWA T養成研修 		
<ul style="list-style-type: none"> ・牧之原市・吉田町市民後見人養成講座事前説明会 		
<ul style="list-style-type: none"> ・袋井市市民後見人フォローアップ研修 ほか 		
<p>4 インターンシップ</p>	<p>継 続</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染防止のため、実施を見送った。 		
<ul style="list-style-type: none"> 来年度に向けて実施方法等を検討 		

事業報告の附属明細書

役員・評議員・事務局職員・受託団体の状況

令和3年4月1日現在

1 役員、評議員 (単位：人)

理 事	会 長	1
	副 会 長	3
	常務理事	1
	その他理事	9
	計	14
監 事		3
評議員		26

2 職員 (単位：人)

区 分	前年度(R元年度)		本年度(R2年度)				
	令和元年度 末現在	令和元年度 末退任等	採用	中途 退 職	職 種 転 換	令和2年度 末現在	令和2年度 末退任等
職 員 (内育休)	26 (2)	△3 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	28 (2)	3 (0)
再 雇 用 (内育休)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)
専 任 職 員 (内育休)	9 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	13 (0)	2 (0)
嘱 託 員 (内育休)	9 (0)	△2 (0)	1 (0)	0 (0)	△4 (0)	4 (0)	2 (0)
嘱託事務員 (内育休)	10 (0)	△2 (0)	10 (0)	△5 (0)	0 (0)	13 (0)	3 (0)
臨時事務員 (内育休)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)
計 (内育休)	58 (2)	△7 (0)	16 (0)	△5 (0)	0 (0)	62 (2)	11 (0)

※1 令和2年度に職種転換した職員は4人(嘱託員→専任職員4人)

※2 区分の項目における「職員」は、プロパー職員と県派遣職員の合計

※3 職員数は、本会が採用している実数(育児休業者を含む)

事務受託団体一覧

団体名	担当課
静岡県社会福祉法人経営者協議会	経営支援課
福利厚生センター静岡事務局	経営支援課
静岡県里親連合会	経営支援課
静岡県肢体不自由児協会	経営支援課
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	経営支援課
静岡県民生委員児童委員協議会	地域福祉課

会員状況一覧（令和3年3月末現在）

分類	種別	会員数	分類	種別	会員数	
生活保護施設	救護施設	7		就労移行支援	3	
	宿所提供施設	1		就労継続支援	101	
	医療保護施設	1		障害者支援施設	69	
	計	9		共同生活援助	31	
児童福祉施設	児童発達支援事業所	9	障害者福祉施設	計画相談支援	1	
	放課後等デイサービス	13		地域活動支援センター	9	
	保育所	317		福祉ホーム	2	
	へき地保育所	2		身体障害者福祉センター	4	
	小規模保育所	5		障害者就業・生活支援センター	1	
	認定こども園	157		計	221	
	事業所内保育所	1	婦人保護施設	婦人保護施設	1	
	乳児院	4		計	1	
	母子生活支援施設	3	社会福祉一般施設	無料低額宿泊所	2	
	児童養護施設	12		無料低額診療施設	1	
	児童心理治療施設	1		計	3	
	児童自立支援施設	1	社会福祉協議会・団体	市町社会福祉協議会	35	
	児童館	1		福祉関係団体等	98	
	福祉型障害児入所支援	10		計	133	
	医療型障害児入所支援	4	介護保険等関係事業所	介護保険・障害福祉サービス	188	
	福祉型児童発達支援センター	11		計	188	
	児童相談所	2	老健・療養病床	介護老人保健施設	59	
	計	553		介護療養型医療施設	12	
				病院	2	
	老人福祉施設	老人デイサービスセンター	212	個人会員	民生委員・児童委員等	6,939
小規模多機能型居宅介護事業所		16	計		6,939	
複合型サービス事業所		4	賛助会員		首長・議長	44
特別養護老人ホーム		237		団体	7	
養護老人ホーム		25		企業	61	
軽費老人ホーム		38		個人	25	
有料老人ホーム		35		計	137	
サービス付き高齢者向け住宅		2		合計		
老人福祉センター		15				
老人介護支援センター		5				
認知症高齢者グループホーム		66				
地域包括支援センター		7				
老人憩の家		1				
計		663			8,920	

令和2年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金

地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業

<地域福祉・ボランティア活動等推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業内容
1	三島市	コスモスの会	146,000	高齢者のフレイル予防と絆づくり
2	富士市	Fujiことはじめ	175,000	「みんなで繋がろう！SASAEUの輪」事業
3	富士宮市	特定非営利活動法人 風	154,080	子どもで食堂のボランティア育成事業
4	静岡市 葵区	静岡おやこ劇場	210,000	忍者まちを走る！黒マント団
5	静岡市 葵区	やまねこくらぶ	46,650	てらこやファーム「やまねこ園」
6	磐田市	いわたすみれの会	35,444	「講演会」とふれあい磐田みんなの芸能発表会
7	三島市	静岡CAPにじ	103,940	オンラインCAPおとなワークショップ
8	浜松市 中区	認定NPO法人 魅惑的倶楽部	300,000	被災地の教訓に学ぶ減災シンポジウム・交流会・展示会
9	静岡市 葵区	ママの部活動	180,000	手芸部～園グッズ準備を応援します～
10	沼津市	ほっとカフェ文化村	291,000	文化・芸術活動のユニバーサルカフェ
計			1,642,114	

<セルフヘルプ活動支援事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	静岡市 葵区	竹の子の会 静岡支部	66,000	令和2年度 プラダーウィリー 症候群 勉強会
2	富士宮市	特定非営利活動法人 EPO コミュニティースペースのらのら	300,000	若年性認知症ピアサポーター育 成事業
3	静岡市 駿河区	スルガダルク	200,993	依存症者のためのアサーティブ トレーニング
4	静岡市 清水区	認定NPO法人 精神障害者生活支援よもぎ会	162,500	カレンダー制作
計			729,493	

<しずおかの居場所助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	熱海市	ファミリーサロン熱海伊豆山 こどもとカメさん食堂	133,025	ファミリーサロン熱海伊豆山こ どもとカメさん食堂
2	富士市	JA 富士市女性部 こども食堂「ひまわり」	73,000	子育て応援、地域支援 こども食 堂 ひまわり
3	富士市	JA 富士支部女性部 こども食堂 たんぽぽ	7,042	JA 富士支部 女性部 こども食 堂 たんぽぽ
4	沼津市	藤井原サロン愛	150,000	健康体操を安全に行うために、体 調管理と筋力の柔軟性及び強化 を図る
5	川根本 町	地名居場所 ふぁみりい	50,000	地名居場所づくり「地名カフェ ふぁみりい」
6	静岡市 葵区	みろくふれあいサロン	120,000	コロナに負けるな！！みんなで 集まろうの会
7	袋井市	りおな子ども食堂 ボランティアの会	50,000	手作りのご飯で 心豊かに 明 日も頑張って
8	沼津市	NPO 法人 臨床心理オフィス Be サポート	150,000	不登校ひきこもりサポート事業 「なごみ」
9	静岡市 葵区	特定非営利活動法人 しずおか共育ネット	125,000	定時制高校生・中退者・卒業生の 居場所運営
計			858,067	

<広域的な防災活動推進助成事業>

(単位：円)

NO.	市町名	グループ名	助成額	事業
1	焼津市	社会福祉法人 焼津市社会福祉協議会	69,936	災害時志太榛原地区社協広域連携推進事業
計			69,936	

<令和2年度ふじのくに「地域共生」大賞 受賞一覧>

(単位：円)

NO	グループ・団体名	活動テーマ	受賞の内容	贈呈額
1	酪農王国株式会社	農福連携による雇用促進、耕作放棄地の再稼働など	優秀賞	100,000
2	「地域いきいき共生」 恩地町環境みどり会	荒廃農地の保全、食育活動、市民協働農業の推進	優秀賞	100,000
3	サヨばあちゃんの休憩所	共生食堂、交流の輪を広げる拠点の運営、弁当配食	奨励賞	100,000
4	遊水匠の会	認知症になっても安心して共に暮らせる健幸まちづくり	奨励賞	100,000
5	にほん語かいわ会	在住外国人との相互理解を促す活動を通して支え合える共生社会	多文化共生賞	50,000
6	有限会社 INB 木工房「いつでもゆめを」	認知症の方の仕事場で元気復活	神谷基金賞	100,000
7	特定非営利活動法人 にじのかけ橋	障がいのある方の就労・地域生活・スポーツ活動を支える地域支援づくり	神谷基金賞	100,000
8	点訳グループいずかたつむり	地元の視覚障がい者にローカル色豊かな情報を届ける	神谷基金賞	100,000
9	しずおか言友会	吃音にとらわれず豊かに生き、吃音に理解ある社会づくり	神谷基金賞	100,000
計				850,000

令和2年度教員免許取得のための介護等体験事業

学校別決定者数一覧

No.	大学・学部名	人数
1	愛知産業大学短期大学	1
2	鎌倉女子大学	11
3	京都教育大学	5
4	京都産業大学	2
5	京都女子大学	8
6	京都市立芸術大学	1
7	京都ノートルダム女子大学	2
8	京都府立大学	1
9	國學院大學	1
10	相模女子大学	1
11	静岡産業大学	7
12	静岡大学 人文社会科学部	16
13	静岡大学 理学部	25
14	静岡文化芸術大学	10
15	上越教育大学	2
16	尚美学園大学	1
17	星槎大学	1
18	創価大学 通信教育部	1
19	玉川大学 教育学部(通信教育課程)	1
20	津田塾大学	1
21	東海大学 海洋学部	1
22	東海大学 湘南校舎	4
23	東京未来大学	3
24	同志社大学	2
25	常葉大学 静岡草薙キャンパス	192
26	常葉大学 浜松キャンパス	39
27	日本大学 国際関係学部	29
28	日本大学 通信教育部	3
29	花園大学	1
30	浜松学院大学	29
31	武蔵野大学	2
32	武蔵野音楽大学	3
33	武蔵野美術大学	1
34	明星大学通信教育部	14
35	立正大学	1
	合計	422

※文部科学省の定める代替措置による体験へ移行したため、福祉施設における体験終了者は8人

令和2年度みんなで支える地域福祉促進事業一覧

事業区分	名称	事業名	決算額	県費補助額
実 県 施 社 事 協 業			円	円
	県社協	小地域福祉活動等の担い手養成研修事業	2,275,967	1,125,000
	小計		2,275,967	1,125,000
	三島市	県営住宅空き住居を利用した居場所事業	580,000	290,000
	藤枝市	地域で「誰ひとりも見逃さない」まちづくり事業	970,155	472,000
	菊川市	地域の支えあい・つながり結び直しプロジェクト	1,350,000	675,000
	長泉町	地域共生社会をめざした地域資源との繋がりづくり	800,000	400,000
	磐田市	住民参加型生活支援事業	1,650,000	675,000
	裾野市	裾野市子どもの居場所事業	506,071	250,000
	南伊豆町	地域住民活動活性化事業	944,000	472,000
	函南町	「地域でつくる」いつでも行ける居場所といつでも来れる足の手段の体制づくり	1,367,942	675,000
	小計		8,168,168	3,909,000
合計			10,444,135	5,034,000

令和2年度運営適正化委員会苦情受付合計、解決結果

(単位:件)

サービス種別	区分	苦情受付件数	苦情解決結果									
			① 相談助言	② 紹介伝達	③ あっせん	④ 通知	⑤その他				⑥ 継続中	⑦ 意見・要望
							I 改善申入れ	II 申出人取下げ	III 事情調査不可	IV I、II以外		
高齢者	①職員の接遇	1	1									
	②サービスの質や量	1		1								
	③説明・情報提供											
	④利用料	1	1									
	⑤被害・損害	3		2					1			
	⑥権利侵害	4		4								
	⑦その他											
	小計	10	2	7					1			
障害者	①職員の接遇	11	5						6			
	②サービスの質や量	7	5	1				1				
	③説明・情報提供	2	2									
	④利用料											
	⑤被害・損害	1							1			
	⑥権利侵害	2		2								
	⑦その他	3		3								
	小計	26	12	6					1	7		
児童	①職員の接遇											
	②サービスの質や量											
	③説明・情報提供	2							2			
	④利用料	1	1									
	⑤被害・損害											
	⑥権利侵害	3	1	1					1			
	⑦その他	2	1	1								
	小計	8	3	2						3		
その他	①職員の接遇	5	2						3			
	②サービスの質や量	5	3	1					1			
	③説明・情報提供	6	5						1			
	④利用料											
	⑤被害・損害											
	⑥権利侵害	1	1									
	⑦その他											
	小計	17	11	1						5		
合計	①職員の接遇	17	8						9			
	②サービスの質や量	13	8	3				1	1			
	③説明・情報提供	10	7						3			
	④利用料	2	2									
	⑤被害・損害	4		2					2			
	⑥権利侵害	10	2	7					1			
	⑦その他	5	1	4								
	合計	61	28	16					1	16		

令和2年度静岡県民間社会福祉施設運営費助成基金助成事業

区分	助成事業名	概 要		件数	助成額
1	社会福祉事業振興のための助成	(区分1) 第三者評価受審助成事業	福祉サービス第三者評価事業において、良質かつ安心・安全なサービス提供実現のために推進する事業に対して助成する。	9	(千円) 1,307
2		(区分2) 地域との連携協働推進助成事業	子ども食堂、認知症カフェ、居場所、相談窓口の設置、子育て・介護相談の実施などの住民の福祉への理解や施設と地域との連携の推進等を図る取組に対して助成する。	1	42
3		(区分3) 職場内OJT助成事業	人材確保、定着のための方針内研修の実施に対して助成する。	10	1,811
4		(区分4) 法人間連携推進事業	複数の事業所が合同で研修等を行い、事業所間連携による住民の福祉の理解に向けた取組や人材の育成を図る事業に対して助成する。	6	806
5		(区分5) 法人の経営適正化のための助成事業	外部の専門家（公認会計士・社会保険労務士、社会福祉士等）の指導による法人経営の適正化に向けた取組に対して助成する。	8	1,461
6		(区分6) 防災減災対策・福祉避難所設置助成事業	福祉避難所に指定された事業所において、地域との合同防災訓練や事業所から地域に発信できる防災対策等に関して助成する。	0	0
7		(区分7) 移動支援助成事業	地域の高齢者等を対象とした移動支援に必要な経費、及び移動支援に関する講習会等普及啓発に係る取組に対して助成する。	1	300
特		(特別助成) 先駆的・研究事業に対する助成	地域福祉や職員の資質向上等を目的とした先駆的な取り組みで、実施に2年を要する事業又は2年継続することで効果や成果が発揮される事業に対して助成する。ただし、プレゼンテーションによって、その成果や効果が他の模範となるような事業であると認められるものに限る。	0	0
緊急		(緊急助成) 新型コロナウイルス感染対策事業	民間社会福祉施設の新型コロナウイルス感染防止対策事業に対して助成する。	106	6,677
小 計				141	12,404
経	経営協への助成	各種別協への運営費、研修費助成			1,560
合 計					13,964

令和2年度福祉サービス第三者評価事業実施一覧

	経営主体	施設名	種別
1	(福) 浮保会	浮島保育園	保育所
2	(福) 富士旭出学園	富士明成園	障害者支援施設
3	(福) 葵寮	救護施設 葵寮	救護施設

令和2年度民間社会福祉団体運営費助成事業

(単位:円)

No.	団 体 名	団体決算額	補助決算額	補助事業の内容
		円	円	
1	(福)静岡県社会福祉協議会	1,383,338	810,000	運営に要する経費
2	(福)静岡県身体障害者福祉会	3,840,000	3,735,000	〃
3	静岡県民生委員児童委員協議会	867,117	560,000	〃
4	静岡県社会福祉法人経営者協議会	4,147,716	3,160,000	〃
5	静岡県保育連合会	1,530,120	610,000	〃
6	静岡県里親連合会	2,120,056	2,070,000	〃
7	静岡県知的障害者福祉協会	663,997	410,000	〃
8	静岡県保育士会	1,344,309	290,000	〃
9	静岡県肢体不自由児協会	254,124	130,000	〃
10	(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会	2,456,581	500,000	〃
11	(公社)静岡県母子寡婦福祉連合会	3,691,555	390,000	〃
12	静岡県筋ジストロフィー協会	454,619	360,000	〃
13	静岡県手をつなぐ育成会	10,083,564	7,400,000	〃
14	静岡県自閉症協会	406,386	250,000	〃
15	(一社)静岡県子ども会連合会	5,128,229	3,340,000	〃
16	静岡県聴覚障害者親の会	50,395	35,068	〃
17	(一財)静岡県老人クラブ連合会	10,501,548	4,380,000	〃
18	静岡県ホームヘルパー連絡協議会	980,830	540,000	〃
19	(N)静岡県作業所連合会・わ	790,941	410,000	〃
	計	50,695,425	29,380,068	

令和2年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(民間団体育成強化事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県社会福 祉協議会	1	継	広報事業	6,732,799	847,000
	2	継	市町社会福祉協議会職員研修事業	851,473	428,000
	計			7,584,272	1,275,000
社会福祉法人 静岡県身体障 害者 福祉会	1	継	身体障害者福祉事業推進費	1,600,000	1,600,000
	2	継	身体障害者相談活動事業費	1,125,000	900,000
	3	継	身体障害者機能回復促進事業	1,150,000	920,000
	4	継	身体障害者文化作品展開催事業	360,000	288,000
	5	継	身体障害者自動車安全教室開催事業	281,000	224,000
	6	継	心臓障害者相談指導事業	180,000	144,000
	7	継	静岡県身体障害者福祉大会開催事業	450,000	270,000
計			5,146,000	4,346,000	
(静岡県視覚障 害者協会)	1	継	町づくり情報提供事業	620,000	620,000
	2	継	視覚障害者社会参加促進事業	1,080,000	1,080,000
	3	継	視覚障害者リーダー養成事業	250,000	150,000
計			1,950,000	1,850,000	
(静岡県聴覚障 害者協会)	1	継	聴覚障害者研修事業	400,000	228,000
	2	継	聴覚障害者スポーツ大会開催事業	1,053,000	828,000
	3	継	聴覚障害者健康増進事業	580,000	400,000
	4	継	聴力・言語障害者生活相談事業	400,000	320,000
計			2,433,000	1,776,000	
(3団体合計)	総合計			9,529,000	7,972,000
静岡県民生委 員児童委員協 議会	1	継	単位民児協会長研修事業	1,804,050	1,440,000
	2	継	主任児童委員研修事業	300,000	240,000
	3	継	相談技法に関する研修事業	709,776	500,000
計			2,813,826	2,180,000	
静岡県経営者 協議会	2	継	施設利用者作品奨励事業	320,000	150,000
	計			320,000	150,000
静岡県保育連 合会	2	継	新規採用職員研修会	223,500	170,000
	3	継	新規採用予定職員研修会	236,315	135,000
計			459,815	305,000	
団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)

静岡県里親連 合会	1	継	里親促進事業	840,470	670,000
	2	継	里親月間事業	523,500	500,000
	3	継	里親賠償責任保険事業	421,120	412,000
	計			1,785,090	1,582,000
静岡県知的障 害者福祉協会	2	継	職員研修所開設事業	349,900	174,000
	計			349,900	174,000
静岡県保育士 会	1	継	保育実務研修事業	433,483	300,000
	2	継	委託研究事業	1,914,020	355,000
	3	継	実践研修事業	480,000	300,000
	4	継	地域保育啓発事業	580,000	180,000
	計			3,407,503	1,135,000
静岡県肢体不 自由児協会	1	継	療育図書等刊行事業	637,749	250,000
	計			637,749	250,000
社団法人静岡 県母子寡婦福 祉連合会	1	継	若年母子家庭研修会	755,790	390,000
	3	継	母子家庭支援研修会	229,126	132,000
	5	継	母子父子家庭啓発事業	201,215	100,000
	計			1,186,131	622,000
静岡県筋ジスト ロフィー協会	1	継	集団検診・療育相談	404,661	320,000
	計			404,661	320,000
静岡県手をつな ぐ育成会	1	継	知的障害者相談員等研修会事業	975,462	780,000
	2	継	心身障害児者地域活動促進事業	520,000	312,000
	計			1,495,462	1,092,000
静岡県自閉症 協会	1	継	保護者・指導者研修会	170,154	130,000
	2	継	自閉症児者療育訓練	274,106	219,200
	計			444,260	349,200
静岡県子ども会 連合会	1	継	育成研修事業	501,817	250,000
	2	継	モデル子ども会開催事業	9,242	4,000
	3	継	子ども会活動振興研究事業	108,108	54,000
	4	継	子ども会活動作文募集及び表彰事業	682,183	682,000
	6	継	児童館構成員研修事業	238,086	119,000
	計			1,539,436	1,109,000
団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
	1	継	生活相談事業	194,930	155,000

静岡県聴覚障害者親の会	2	継	役員研修事業	200,439	160,000
	3	継	聴覚障害理解啓発事業	365,604	292,000
	4	継	盲ろう者社会参加理解啓発事業	400,000	320,000
	計			1,160,973	927,000
財団法人静岡県老人クラブ連合会	1	継	地域福祉人材養成事業	703,697	422,000
	2	継	活動推進相談員育成指導事業	1,791,933	1,071,000
	3	継	地域クラブ活性化推進事業	2,025,951	1,215,000
	計			4,521,581	2,708,000
静岡県ホームヘルパー連絡協議会	1	継	ホームヘルパー研修事業	763,742	606,000
	2	継	サービス提供責任者研修事業	121,312	88,000
	計			885,054	694,000
特定非営利活動法人静岡県作業所連合会・わ	1	継	事業所職員研修事業	709,630	567,000
	計			709,630	567,000
総 合 計				39,234,343	23,411,200

令和2年度民間社会福祉活動促進事業費助成事業(地域福祉促進事業)

(単位:円)

団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)
社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	1	継	市町社協地域福祉等支援事業	2,384,367	1,745,000
	2	継	地域包括ケア推進に関わる啓発事業	682,000	545,000
	計			3,066,367	2,290,000
社会福祉法人静岡県 身体障害者福祉会	1	継	身体障害者スポーツ活動等健康増進事業	2,250,000	1,800,000
	2	継	身体障害者地域ふれあい奉仕活動事業	900,000	720,000
	3	継	身体障害者地域防災対策連携強化事業	1,125,000	900,000
	4	継	障害者自立支援福祉機器普及促進事業	600,000	600,000
	計			4,875,000	4,020,000
(静岡県視覚障害者協会)	1	継	視覚障害者地域ふれあい促進事業	1,000,000	800,000
	計			1,000,000	800,000
(静岡県聴覚障害者協会)	1	継	みみの日大会開催事業	1,100,000	600,000
	2	継	手話活動研究事業	840,000	640,000
	3	継	手話通訳者健康障害予防事業	1,450,000	1,450,000
		継	東海女性幹部研修会	550,000	300,000
	計			3,940,000	2,990,000
(3団体合計)	総合計			9,815,000	7,810,000
静岡県里親連合会	1	継	里親専用サポート事業	762,665	600,000
	2	継	里親地区研修事業	350,204	280,000
	計			1,112,869	880,000
静岡県知的障害者福祉協会	2	継	障害者創作作品展示事業	1,373,795	1,060,000
	計			1,373,795	1,060,000
一般社団法人静岡県 肢体不自由児者父母の会連合会	1	継	肢体不自由児者ふれあい体験研修事業	1,276,463	976,000
	計			1,276,463	976,000
団体名	NO	期間	事業名	実績報告	補助額(円)

社団法人 静岡県母子寡婦福祉連合会	1	継	親と子の心身健全育成推進事業	1,517,194	1,500,000
	2	継	地域ふれあい事業	1,000,000	800,000
	計			2,517,194	2,300,000
静岡県筋ジストロフィー協会	1	継	筋ジストロフィー介護者研修事業	1,343,998	1,040,000
	2	継	筋ジストロフィー相談窓口事業	1,004,379	800,000
	3	継	筋ジストロフィーアビリティ探索事業	281,754	224,000
	計			2,630,131	2,064,000
静岡県手をつなぐ育成会	2	継	地域交流・自立促進事業	1,381,250	1,105,000
	計			1,381,250	1,105,000
静岡県自閉症協会	2	継	支援者育成事業	612,929	488,800
	計			612,929	488,800
静岡県子ども会連合会	1	継	チャレンジ冒険遊び事業	2,230,034	1,784,000
	計			2,230,034	1,784,000
財団法人 静岡県老人クラブ連合会	1	継	シニアスポーツ普及推進事業	892,762	714,000
	2	継	クラブ解散・休会等再興支援事業	1,488,311	1,050,000
	計			2,381,073	1,764,000
特定非営利活動法人 静岡県作業所連合会・わ	1	継	地域交流ふれあいスポーツ・レクリエーション	1,308,997	1,046,000
	2	継	障害者福祉普及強化事業	1,815,131	1,440,000
	計			3,124,128	2,486,000
総合計				31,521,233	25,007,800

令和2年度研修評価表

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
組織力を高める 組織力強化	1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース（中部1）	新型コロナウイルス感染対策により中止	7/15 8/12,13	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・サービス提供者、チームの一員としての基本の習得 ・初任者が自らのキャリアデザインを描く
		〃（中部2）	45 17-16	1/26 2/16,17	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		〃（東部）	45 25-17	8/26 9/10,11	3	三島商工会議所	
		〃（西部）	45 21-14	10/28 12/3,4	3	浜松市福祉交流センター	
	2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース(中部1)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・中堅職員としての役割を遂行するための基本の習得 ・中堅職員が自らのキャリアデザインを描く
		〃（中部2）	45 12-11	1/27 2/25,26	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		〃（東部）	45 9-8	6/16 7/7,8	3	三島商工会議所	
		〃（西部）	45 11-7	10/2 10/22,23	3	浜松市福祉交流センター	
	3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース（中部1）	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・チームリーダーの役割を遂行するための基本の習得 ・チームリーダーが自らのキャリアデザインを描く
		〃（中部2）	45 14-10	12/22 1/19,20	3	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		〃（東部）	45 35-29	9/17 10/7,8	3	三島商工会議所	
		〃（西部）	45 14-3	1/15 2/4,5	3	浜松市福祉交流センター	
4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース	45 9-4	11/26,27	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・管理職としての役割を遂行するための基本の習得 ・管理者等が自らのキャリアデザインを描く	
5	高口光子の人手不足を乗り越えよう	100 29-10	8/4	1	静岡県産業経済会館	人材が定着するための環境とチーム作りの方法を学ぶ	
6	高口光子の多職種連携講座 ～ターミナル期の実践の場で試される チームの力～	50 16-13	12/3	1	静岡県産業経済会館	質の高いケアを提供するために専門職の違いを活かし、相互に連携する方法を学ぶ	
7	高口光子の失敗しない新人育成	90 47-46	2/12	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	人を育てる仕組みと環境づくりについて学ぶ	
8	相談員のための支援力アップ講座	60 61-38	8/3	1	静岡県産業経済会館	生活相談員の役割と業務について正しい理解と更なる支援力アップのための知識、技術の習得	
9	セルフリーダーシップノススメ	90 87-85	2/24	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	中堅職員に求められる組織人としての役割行動や、モチベーション向上のための知識、技能の習得	
10	人が育つ組織づくり講座	90 94-89	3/2	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	キャリアパスを用いた福祉職員の育成・指導の方法を、実例を基に考える	
11	研修活用入門講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	研修を活用した人材育成手法を学ぶ	
12	外国人材指導にも役立つティーチング研修【新規】	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	外国人材の指導にも役立つ、理解しやすい業務マニュアル・業務手順書のつくり方、教え方を学ぶ	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
			-	-	-	-	-	
(福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋 博昭氏 聖隷クリスティア大学 助教 落合 克能氏 (福)三愛会 特別養護老人ホーム愛華の郷 介護長 中村 愛氏	初任者(概ね入職後 1~2年程度の職員)	テキスト 代等	13	3	0	0	0	
81.3%			18.7%	0.0%	0.0%	0		
(福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋 博昭氏 (福)誠信会 富士市吉原中部地域包括支援センター センター長 小林 拓氏 (福)富士宮市社会福祉協議会 主幹兼相談支援係長 遠藤 久仁子氏			11	4	0	0	0	
73.3%	26.7%	0.0%	0.0%	0				
(福)天竜厚生会 総務部総務課 森川 正志氏 (福)桂 居宅介護支援事業所かたす 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美氏			11	2	0	0	1	
78.6%	14.3%	0.0%	0.0%					
			-	-	-	-	-	
(福)牧之原やまばと学園 障害者支援施設 垂穂 泰 施設長 大畑 彰弘氏 (福)富士宮市社会福祉協議会 主幹兼相談支援係長 遠藤 久仁子氏 (一社)静岡市清水医師会 社会福祉士 安藤 千晶氏	中堅職員(入職後概ね 3~5年程度の職員)	テキスト 代等	10	0	0	0	0	
100%			0.0%	0.0%	0.0%	0		
(福)炉暖会 特別養護老人ホーム炉暖の郷 相談員兼介護支援員 土屋 博昭氏 (福)桂 居宅介護支援事業所かたす 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男氏 (福)天竜厚生会 総務課 森川 正志氏			7	1	0	0	0	
87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0				
(一社)静岡市清水医師会 社会福祉士 安藤 千晶氏 (福)天竜厚生会 総務課 森川 正志氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美氏			5	2	0	0	0	
71.4%	28.6%	0.0%	0.0%					
			-	-	-	-	-	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治氏 (福)桂 居宅介護支援事業所かたす 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美氏	チームリーダー(主任、係長等)	テキスト 代等	10	0	0	0	0	
100%			0.0%	0.0%	0.0%	0		
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治氏 (福)十字の園 伊豆高原十字の園 施設長 宮島 克利氏 (福)あしたか太陽の丘 静岡県立富士見学園 鶴田 安弘氏			24	3	0	0	1	
85.7%	10.7%	0.0%	0.0%	0				
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治氏 (福)桂 居宅介護支援事業所かたす 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男氏 放課後等デイサービスという 施設長 栗原 寛美氏			12	1	0	0	0	
92.3%	7.7%	0.0%	0.0%					
(福)和松会 理事・相談役 板倉 幸夫氏 (福)桂 居宅介護支援事業所かたす 管理者・主任介護支援専門員 飯塚 哲男氏	管理者、施設長等	テキスト 代等	4	0	0	0	0	
100%	0.0%	0.0%	0.0%					
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子氏	介護保険施設・事業所に勤務する 主に中堅クラス以上の方	6,000 (4,000)	7	1	0	0	0	
87.5%	12.5%	0.0%	0.0%					
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子氏	介護保険施設・事業所に勤務する 主に中堅クラス以上の方	6,000 (4,000)	13	0	0	0	0	
100%	0.0%	0.0%	0.0%					
医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子氏	介護保険施設・事業所に勤務する 主に中堅クラス以上の方	5,000 (3,000)	27	3	0	0	0	
90.0%	10.0%	0.0%	0.0%					
健康科学大学 健康科学部 准教授 梅沢 佳裕氏	社会福祉施設・介護保険事業所に 勤務する方(相談員)	6,000 (4,000)	23	13	0	0	0	
63.9%	36.1%	0.0%	0.0%					
日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	61	13	0	0	0	
82.4%	17.6%	0.0%	0.0%					
日本女子大学 人間社会学部 教授 久田 則夫氏	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	5,000 (3,000)	58	11	0	0	0	
84.1%	15.9%	0.0%	0.0%					
	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	2,000 (無料)	-	-	-	-	-	
	社会福祉施設・介護保険事業所等 に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	

研修課

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容	
			申込-受講					
組織力を高める 組織力強化	13	コーチング研修	60 46-29	9/15	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	コーチングに対する意識を深め、部下の自発的意欲を引き出すための指導法を習得する	
	14	会議を良くするファシリテーション講座	60 15-9	12/2	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	会議でチームが本来持っている力を引き出し、大きく育てる「ファシリテーション」を学ぶ	
	16	市町社協 新任職員研修	50 65-65	8/6~7	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社協職員としての心構え、福祉サービスの実践、組織活動に必要な知識等	
	17	市町社協 トップセミナー(会長会議)	55 55-55	12/7	1	WEB配信	改正社会福祉法の方向性と今後の社協事業の方向性について	
	18	社会福祉法人 経営セミナー [前期] (県社会福祉法人経営者協議会)	全国社会福祉法人経営者協議会ホームページにて 会員法人対象に動画配信型でセミナーを開催					社会福祉法人の健全な経営や施設経営の基盤強化を図る
	19	社会福祉法人 経営セミナー [後期] (県社会福祉法人経営者協議会)						社会福祉法人の今日的課題と各種制度改革への対応について
	20	社会福祉法人 監事監査研修会	500 225 - 225	4/27		オンライン	監事の役割や業務、会計監査のポイントを学ぶ 講師:公認会計士 杉山 明喜雄 氏	
	21	社会福祉法人 運営管理研修会	1,300 1,300 - 1,300	6/1	1	オンライン	感染対策に必要な基本的知識や手法を学ぶとともに新型コロナウイルス感染症に係る最新の制度、施策について情報提供をする	
	22	新設社会福祉法人 運営管理説明会	20 12-12	2/28	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	社会福祉法人の会計処理及び指導監査、各種運営支援制度、福利厚生等について情報提供する	
	23	社会福祉施設 人事・労務管理研修会	268 268 - 268	1/15~2/28		動画配信	最新の制度、施策の状況など、これからの社会福祉法人の使命や経営のあり方を学び、考える機会をする	
	24	外国人介護人材受入WEBセミナー (福祉人材確保・定着実践研究会)	80 36-26	3/2	1	Zoomミーティング	近年、急増している外国人介護職員の受入が、外国人本人・法人の双方にとって有意義なものとなるよう、リアルな実情を学ぶ	
	25	採用活動にも活かせる“ZOOM”入門セミナー (福祉人材確保・定着実践研究会 公開講座)	480 261-168	7/3	1	Zoomウェビナー	新型コロナウイルスの影響により、社会福祉施設でもWEB会議ツールの使用が必要になっているため、「ZoomでZoomを学ぶセミナー」を企画した	
		ZOOM入門セミナー(超・基礎編) (福祉人材確保・定着実践研究会 公開講座)	80 83-74	12/18	1	Zoomミーティング	Zoomの「使い方」に関する理解度にも差が出てきている現状があり、「Zoomの使い方」に不安がある方を対象に開催した。	
		広報力WEBセミナー (福祉人材確保・定着実践研究会 公開講座)	80 83-61	1/28	1	Zoomミーティング	「広報」「伝えること」についての基本的な考え方や、文章作成・写真撮影のコツを学ぶ	
		WEB会議ツール活用セミナー(実践報告) (福祉人材確保・定着実践研究会 公開講座)	80 83-72	2/5	1	Zoomミーティング	既に「WEB会議ツール」を有効に活用している法人の実践事例を共有する機会を設けることで、県内の福祉業界の新しい可能性を切り拓く	
	26	社会福祉法人 簿記入門講座	100 100-100	7/20~8/9		動画配信	複式簿記の基本的仕組みや初歩的な仕分けの理解	
	27	社会福祉法人・施設事務職員 経理基礎講座	113 113-113	7/20~8/10		動画配信	帳簿組織と財務諸表、仕分の考え方、勘定科目、伝票起票に関する基本的知識を学ぶ	
	28	社会福祉法人・施設事務職員 経理応用講座	181 181-181	8/24~9/10		動画配信	社会福祉法人の会計制度や施設・事業種別に即した、日々の応用的な会計処理を、実戦的事例を通じ、個別具体的に学ぶ 講師:公認会計士 杉山 明喜雄 氏	
	29	社会福祉法人 予算管理基礎講座	108 108-108	9/15~9/24		動画配信	社会福祉法人の制度上の予算や予算管理に関する基礎知識、予算積算方法等について学ぶ	
	30	社会福祉法人・施設事務職員 会計実務専門講座	124 124-124	10/20~10/28		動画配信	会計実務に関する特定テーマを必要に応じてとりあげ、会計実務に必要な専門的知識を深める	
31	社会福祉法人・施設事務職員 税務実務講座 (消費税)	46 46-46	11/25~12/8		動画配信	社会福祉法人の特性に応じた税務に必要な、実務的な税務知識を学ぶ ※消費税と所得税等を隔年で実施 講師:公認会計士 杉山 明喜雄 氏		

講師	対象	受講料 (会費)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井 美保 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	25 89.0%	3 11.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	研修課
(特非)日本ファシリテーション協会 フェロー 鈴木 まり子 氏	社会福祉事業又は介護保険事業に従事する、主に中堅クラス以上の方	6,000 (4,000)	6 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0	
コーチングアカデミー静岡校校長 酒井 美保 氏 静岡福祉大学福祉心理学科教授 渡邊 英勝 氏 日本ファシリテーション協会 鈴木 まり子 氏	(市町村協) 当該年度採用職員及び未受講の方	無料	37 56.9%	27 41.5%	1 1.5%	0 0.0%	0	地域福祉課
文京学院大学人間学部 教授 中島修 氏	(市町村協) 会長・役員・事務局長等	無料	-	-	-	-	-	
㈱アイギス 代表取締役社長 脇 貴志 氏 全国経営協 副会長 谷村 誠 氏	社会福祉法人の役員等	無料	-	-	-	-	-	経営支援課
全国経営協 地域共生社会推進委員長 宮田 裕司 氏、全国経営協 事務局	社会福祉法人の役員等	無料	-	-	-	-	-	
静岡県福祉指導課職員 公認会計士 杉山 明喜雄 氏	社会福祉法人の監事、役員等	10,000 (5,000)	-	-	-	-	-	
県福祉指導課 課長 沢井 和昭 氏 静岡済生会総合病院 感染管理認定看護師 杉村 きよ美 氏	社会福祉法人の役員	無料	103 67.8%	48 31.6%	1 0.7%	0 0.0%	0	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	新設社会福祉法人関係者等	2,000	-	-	-	-	-	
SDGs市民社会ネットワーク 代表 大橋 正昭 氏 ㈱川原経営総合センター 田中 律子 氏	社会福祉施設の役員	無料	98 62.8%	56 35.9%	2 1.3%	0 0.0%	0	
静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科介護福祉専攻 講師 天野ゆかり氏 他	福祉・介護事業所経営者等	無料	16 61.5%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	3	人材課
ヒューマンライト経営相談事業所 代表コンサルタント 峯尾喜一氏	福祉・介護事業所の採用担当者等	無料	43 27.7%	78 50.3%	14 9.0%	2 1.3%	18	
ヒューマンライト経営相談事業所 代表コンサルタント 峯尾喜一氏	福祉・介護事業所の採用担当者等		24 32.4%	32 43.2%	2 2.7%	0 0.0%	16	
株式会社すろーらいふ 小田庸介氏	福祉・介護事業所の採用担当者等		26 42.6%	20 32.8%	3 4.9%	2 3.3%	10	
(福)清承会 久保田和宏氏 (福)美芳会 大塚渉爾氏	福祉・介護事業所の採用担当者等		29 40.3%	14 19.4%	2 2.8%	0 0.0%	27	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	新任会計実務担当者等		10,000 (5,000)	-	-	-	-	-
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等 (簿記入門修了程度)	15,000 (10,000)	-	-	-	-	-	経営支援課
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等 (経理基礎修了程度)	15,000 (10,000)	-	-	-	-	-	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	新任予算管理担当者等	10,000 (5,000)	-	-	-	-	-	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等	10,000 (5,000)	-	-	-	-	-	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	税務実務担当者等	10,000 (5,000)	-	-	-	-	-	

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
組織力を高める	32	社会福祉法人 財務管理講座	87 87-87	12/21~1/11		-	経営状況を把握するための手法等、財務管理の基礎的知識を学ぶ
	33	社会福祉法人 決算実務講座	187 187-187	2/24~3/11		-	各種決算整理事項や財務諸表の作成等に必要な知識を学ぶ
	34	市町社協 会計実務研修会	50 74-71	7/16	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル).WEB配信併用	社協における会計実務処理等
	35	市町社協 決算実務研修会	50 66-54	2/15、16	2	WEB配信	社協における決算実務処理等
組織力を高める			5,089 4,119 - 3,855				
専門技術力を身につける	36	介護技術講座(基礎編)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	2	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	体の仕組みと働きを理解し、ボディメカニクスを活用した基本的介護技術を習得
	37	介護技術講座(実践編)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	2	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	生活場面に即した実践的介護技術の習得
	38	口腔のケア講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	高齢者や障害のある方への口腔のケアに必要な知識・技術の習得
	39	(仮)ポジショニング研修【新規】	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	高齢者の皮膚障害の早期発見と褥瘡予防のために、皮膚の観察・ケアについて基礎的方法を学ぶ
	40	排泄ケアWebセミナー	90 22-21	9/16	1	オンライン	介護職に必要な排泄ケアの基礎的知識の習得
	41	快適なおむつの使い方講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	介護現場における紙おむつ装着に関する知識や技術の習得
	42	車いすメンテナンスセミナー	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	車いすを利用する方が快適に過ごせるよう、車いすの調整とメンテナンスを学ぶ
	43	フットケア講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	高齢者への支援方法としてフットケアの知識・技術の習得
	44	新型コロナウイルス感染症対策講座	210 230-200	9/14,28 10/26	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	社会福祉施設や介護保険事業所において、主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な感染症の基礎的知識と予防方法の習得
	45	新型コロナウイルス感染症対策講座(第2弾)	180 181-165	3/12午前 3/12午後	1	オンライン	社会福祉施設や介護保険事業所において、主に高齢者や障害のある方を支援する職員に必要な、感染症の実践的知識と予防方法の習得
	46	感染症講座(児童編)	60 63-43	8/19	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	児童に特有な感染症を中心として、基礎的知識と予防方法、及び家庭や医療機関との連携等について学ぶ。
	47	介護職のための薬の基礎知識	90 48-48	2/8	1	オンライン	介護職に必要な薬の基礎的知識の習得
	48	急変を見逃さないための救急講座	70 66-35	11/25	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	利用者の容体の変化を見逃さずに対応するために必要な知識の習得
	49	ターミナルケア入門講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	ターミナルケアの実際を理解し、終末期の対応や、家族へのケア方法を学ぶ
	50	精神疾患の理解	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	精神疾患、うつ、統合失調症などの知識を習得するとともに、症状に応じた支援方法の基礎を学ぶ
51	楽しく笑顔になれるレクリエーション	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シズウエル)	高齢者のためのレクリエーションの知識と技術の習得	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	社会福祉法人の役員等	10,000 (5,000)	-	-	-	-	-	経営 支援課
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	会計実務担当者等	15,000 (10,000)	-	-	-	-	-	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	総務・会計担当者	無料	29 40.8%	15 21.1%	3 4.2%	0 0.0%	24	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	総務・会計責任者、担当者	無料	16 25.0%	13 20.3%	1 1.6%	0 0.0%	34	
			748 58.2%	370 28.8%	29 2.3%	4 0.3%	134	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	-	-	-	-	-	-	研修課
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等で介護技術の基礎的知識がある方	-	-	-	-	-	-	
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	-	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	-	-	-	-	-	-	
順天堂大学 保健看護学部 准教授 藤尾 祐子 氏	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	8 47.1%	9 52.9%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する介護職等	5,000 (3,000)	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
静岡済生会総合病院 TQMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000	124 80.0%	29 18.7%	2 1.3%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 TQMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	「初級編」を受講した方、または感染症の「標準予防策」について基礎知識がある方	5,000 (3,000)	93 76.2%	28 23%	1 0.8%	0 0.0%	0	
静岡済生会総合病院 TQMセンター 感染対策室 主任 感染管理認定看護師 鈴木 のぞみ 氏	保育所等、児童福祉施設に勤務する方	6,000 (4,000)	39 90.7%	4 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ドレッドノート(株) 薬剤師・主任介護支援専門員 藤澤 節子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	20 64.5%	11 35.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
日本赤十字社 静岡赤十字社病院 救急看護認定看護師 池田 朋美 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	21 63.6%	12 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	-	-	-	-	-	
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
利用者 の 日常 生活 支 援	52	利用者を癒すタッチケア ～セラピューティック・ケア～	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	「触れること」の効果を再確認し、介護等における活用方法を 学ぶ
	53	(仮)拘縮予防講座【新規】	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	生活場面における正しい座り方の技術や拘縮予防の方法など を学ぶ
	54	介護職員が知っておきたい 利用者の身体観察のポイント講座	新型コロナウイ ルス感染対策に より中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	高齢者の食事、排泄、入浴などそれぞれの生活場面に応じた 観察ポイントを学ぶ
	55	成年後見制度 市町長申立研修	240 240-270	6/19	1	【webによるライブ配信】	成年後見制度 市町長申立に係る実務を学ぶ
	56	福祉職員のための成年後見制度理解促進研修 会(基礎編・応用編)	- -- 約2,500	11/20,27	2	【webによるライブ配信+オ ンデマンド配信】	(基礎)成年後見制度の基礎知識を学ぶ (応用)支援内容の検討・医療同意・身元保証について
	57	高口光子の認知症の人に寄り添う プロの介護セミナー(研修名変更)	90 57-55	3/1	1	オンライン	・認知症高齢者に対する介護の見方、考え方 ・認知症高齢者への対応
	58	認知症の人のためのレクリエーション	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症の方のためのレクリエーションの知識と技術の習得
	59	三好春樹の 『人間学に基づく認知症介護』	100 28-16	12/9	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症の方の行動や心理症状を理解し、利用者へのより良い 関わり方について考える
	60	現役OT安藤祐介の 認知症の人に心地よい介護技術講座	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	お金や時間や人手をかせずに、現場ですぐに取り組みめる認知 症の方への心地よい「関わり方」「動きの手伝い方」の工夫を 学ぶ
	61	認知症介護基礎研修(東部)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	三島商工会議所	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
		認知症介護基礎研修(西部)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	浜松市福祉交流センター	
		認知症介護基礎研修(中部)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館(シ ズウエル)	
	62	認知症介護実践者研修(浜松)	80 58-47	10/9,21,29 11/6,20 1/7	6	浜松市福祉交流センター	認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族のQOL向 上を図る対応や技術を修得(全6日+実習)
		認知症介護実践者研修(掛川)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	6	掛川市生涯学習センター	
		認知症介護実践者研修(静岡)	80 105-77	10/5,19 11/3,4,17 1/8	6	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		認知症介護実践者研修(富士)	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	6	ふじさんめっせ	
		認知症介護実践者研修(三島)	80 62-45	10/2,27 11/11,18 12/14,2/1	6	三島商工会議所	
	63	認知症介護実践リーダー研修	新型コロナウイルス 感染対策に より中止	中止	10	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・ 態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジ メント能力を修得(全10日+実習)
	64	認知症対応型サービス事業 管理者研修	50 21-20	2/19 2/20	2	浜松市福祉交流センター	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
		認知症対応型サービス事業 管理者研修	80 49-48	3/11 3/12	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	
		認知症対応型サービス事業 管理者研修	50 35-32	3/4 3/5	2	三島商工会議所	

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当 課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	研修課
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
静岡家庭裁判所 主任書記官 伊藤世二氏 ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治氏	市町行政担当職員、地域包括支援センター職員、市町社協職員	無料	178 65.9%	90 33.3%	2 0.7%	0 0.0%	0	権利 擁護課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井慶治氏 静岡県精神保健福祉士協会 事務局長 山口雅弘氏 藤枝市社会福祉協議会 成年後見係長 大塚江梨華氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方、市町行政担当職員、市町社協職員	無料	-	-	-	-	-	
湖山医療福祉グループ(医財) 百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	30 90.9%	2 6.1%	1 3.0%	0 0.0%	0	研修課
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
生活とリハビリ研究所 代表 三好 春樹 氏	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	13 86.7%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
	認知症介護に携わる方	テキスト 代等	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	高齢者介護の実務経験が概ね2年以上の方	43,000	40 85.1%	4 8.5%	1 2.1%	1 2.1%	1	
			-	-	-	-	-	
			56 75.7%	11 14.9%	2 2.7%	0 0.0%	5	
			-	-	-	-	-	
			41 89.1%	3 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	2	
	高齢者介護の実務経験が概ね5年以上で、認知症介護実践者研修修了後1年経過している者	80,000	-	-	-	-	-	
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	認知症対応型通所介護事業所(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の管理者	4,500	15 75.0%	4 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1	
			34 75.6%	9 20.0%	2 4.4%	0 0.0%	0	
			27 84.4%	4 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1	

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
利用者の日常生活支援	65	小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	35 26-26	1/25 3/22	2	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)
		小規模多機能型サービス等 計画作成担当者研修	35 16-15	2/4 3/23	2	浜松市福祉交流センター	
66	認知症対応型サービス事業 開設者研修	45 9-9	12/8	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	(行政からの受託研修、募集・申込先は行政)	
リスク防止	67	介護記録の書き方・活かし方講座	60 41-30	8/24	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	介護職に必要な介護記録の書き方・活かし方の基礎的知識の習得
	68	高齢者施設のリスクマネジメント講座 in web講座	49 49-49	7/26~8/25	1	動画配信	高齢者施設・事業所の危機管理・安全管理に必要な基礎的知識・技術の習得
	69	子どもがいる現場の リスクマネジメント講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	子どもがいる現場での危機管理・安全管理に必要な知識・技術の習得
	70	リスクマネジメント講座(防災・防犯編)【新規】	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	介護施設のリスクマネジメント、介護中の事故防止を学ぶ
	71	高齢者の転倒予防講座 ～片麻痺と高次脳機能障害の理解～	60 21-20	10/6	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	高齢者の転倒予防について、必要な知識・技能の習得
	72	管理者・管理職員が知っておきたい 介護現場における高齢者虐待の 予防と対応	90 33-32	1/22	1	オンライン	虐待防止への取り組みと発生時の対応方法等、管理者等に 必要な知識を習得する
	73	高口光子のチームで取り組む 身体拘束廃止【新規】	90 43-41	10/13	1	オンライン	身体拘束について理解を深め、責任の所在やチームケアのあり方を学ぶ
	74	福祉サービス苦情解決研修会	80 80-78	1/19	1	オンライン	時代に合った苦情対応力の強化など苦情解決力の向上を目指した応用編の講義とグループワーク
	75	ケアマネ・相談員のための栄養ケア Web講座	90 22-21	10/14	1	オンライン	個別援助計画やケアプラン作成の際に役立つ栄養学を学ぶ
	76	看護職員研修	90 50-46	2/10	1	オンライン	社会福祉施設等に勤務する看護職員に必要な知識・技術の習得
職種別	77	ホームヘルパー全体研修 (県ホームヘルパー連絡協議会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			
	78	ホームヘルパー一般研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	30 12-12	9/11	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症の人に優しい介護技術と関わり方
		” ②	40 21-18	10/8	1	あざれあ	接遇研修
		” ③	110 37-30	10/21,11/4	2	あざれあ、プラサヴェルデ	新型コロナウイルス感染症の対策
	79	サービス提供責任者研修① (県ホームヘルパー連絡協議会)	80 32-30	11/21	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	訪問リハビリテーションと訪問介護との連携
		” ②	40 18-12	12/15	1	あざれあ	モニタリングの仕方及び実地指導のポイント
	80	肢体不自由児療育指導者講習①-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	肢体不自由児の総論(入門講座)
		” ①-2	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡医療福祉センター	訓練の基本(実技を含む)
	81	肢体不自由児療育指導者講習②-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	脳性麻痺の概論
		” ②-2	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡医療福祉センター	脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)

専門技術力を身につける

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当 課	
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答		
静岡県認知症介護指導者の会 杉森 幸恵 氏、小野 祐 氏 全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会 事務局長 山越 孝浩 氏	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者であって認知症介護実践研修修了者	6,000	17 63.0%	7 25.9%	2 7.4%	0 0.0%	1	研修課	
			8 57.1%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2		
静岡県認知症介護指導者の会 ほか	(看護)小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所の代表者	5,000	7 77.8%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0		
健康科学大学 健康科学部 福祉心理学科 准教授 梅沢 佳裕 氏	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	22 73.3%	8 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0		
(株)安全な介護 代表取締役 山田 滋 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	3,000 (2,000)	36 45.0%	43 53.8%	1 1.3%	0 0.0%	0		
	保育所・児童福祉施設等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-		
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-		
静岡リハビリテーション病院 リハビリテーション部理学療法科 主任 田中 幸平 氏	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	9 75%	3 25%	0 0.0%	0 0.0%	0		
(一社)権利擁護支援プロジェクト 社会福祉士 小川 久美子 氏	老人福祉施設・介護保険事業所等の管理者等	5,000 (3,000)	7 43.8%	9 56.2%	0 0.0%	0 0.0%	0		
湖山医療福祉グループ(医財)百葉の会 人材開発室部長 高口 光子 氏	介護保険施設・事業所に勤務する方	5,000 (3,000)	19 73.1%	7 26.9%	0 0.0%	0 0.0%	0		
㈱ツクイスタッフ専任講師・社会福祉士 山郷 政史 氏	第三者委員・苦情解決責任者・苦情受付担当者等	6,000 (4,000)	45 83.3%	7 13.0%	2 3.7%	0 0.0%	0		地域 福祉 課
順天堂大学 保健看護学部 准教授 藤尾 祐子 氏	社会福祉施設等に勤務する看護職員	5,000 (3,000)	11 91.7%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0		
市立島田市民病院 看護部看護師長 排泄ケア認定看護師 奈木 志津子 氏	社会福祉施設等に勤務する看護職員	5,000 (3,000)	27 90.0%	3 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0		
			-	-	-	-	-		
ケアセンターゆうゆう 認知症フロア専属作業療法士 安藤 祐介 氏	ヘルパー	5,000 (2,000)	9 75.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0		
コーティングアカデミー静岡校 校長 酒井 美保 氏	ヘルパー	5,000 (2,000)	18 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0		
たんぽぽ診療所 院長 遠藤 博之 氏	ヘルパー	5,000 (2,000)	25 83.3%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%	0		
一般社団法人日本介護支援専門員協会常任理事 能本 守康 氏 他	サービス提供責任者、ヘルパー	5,000 (2,000)	14 46.7%	6 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	10		
静岡県健康福祉部福祉指導課 参事 平野 義徳 氏、主幹 松浦 史明 氏	サービス提供責任者	5,000 (2,000)	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	0		
こども病院 滝川 一晴 氏、常葉大学 姉崎 弘 氏 静岡大学 石川 慶和 氏、中央特別支援学校 前校長 渡邊 浩喜 氏	肢体不自由児の総論(入門講座)	4,500	-	-	-	-	-		
静岡医療福祉センター 森山 明夫 氏、望月 祐介 氏、山内 一之 氏 他 こども病院 稲員 恵美 氏	訓練の基本(実技を含む)	4,500	-	-	-	-	-		
静岡医療福祉センター 望月 達夫 氏、つばさ静岡 山倉 慎二 氏 静岡てんかん神経医療センター 重松 秀夫 氏、井出商会 井出 容敬 氏	脳性麻痺の概論	4,500	-	-	-	-	-		
静岡医療福祉センター 橋本 尚幸 氏、山内 一之 氏 他	脳性麻痺の訓練入門(実技を含む)	4,500	-	-	-	-	-		

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
専門技術力を身につける 職種別	82	肢体不自由児療育指導者講習③-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		シズウエル	脳性麻痺の各論
		" ③-2	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡医療福祉センター	脳性麻痺の訓練(実技を含む)
	83	肢体不自由児療育指導者講習④-1 (県肢体不自由児協会)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	成人脳性麻痺
		" ④-2	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡医療福祉センター	成人脳性麻痺者のリハビリテーション
	84	コミュニティワーク研修会 【テーマ別に2回開催】	100 69-69	1/14 2/2	2	WEB配信	「住民主体」の根底となる、住民間の合意形成や地域課題を明確にすること等、コミュニティワークについての理解を深める
	85	ボランティアコーディネーター研修	50 25-24	1/20	1	WEB配信	ボランティアコーディネーターとして必要な知識と技術の習得を図る
	86	生活支援コーディネーター養成研修	200 229-229	1/15	1	WEB配信	地域支援事業における生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターに必要な知識と技術の習得を図る
	88	市町社協 監事研修	35 35-35	4/17	1	WEB配信	監事の役割と必要な知識について
	89	市町社協 新任事務局長研修	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			
	90	社協災害対応研修会	50 13-13		3	WEB配信	災害ボランティアセンター運営におけるICTの導入について
	91	CSW実践者養成研修 <地域福祉コーディネーター>	30 28-27	7/10,11 2/5,6	4	WEB配信	具体的な事例を通して、コミュニティソーシャルワーク技法を講義と演習形式により習得する
	121	CSW実践者スキルアップ研修	50 21-20	8/19	1	WEB配信	コミュニケーションソーシャルワークに求められる問題解決理論・アプローチについて
	92	日常生活自立支援事業 新任専門員研修会	36 36-35	6/12	1	【webライブ配信】	専門員としての心構え、基礎的知識の習得 講師: 県社協 権利擁護課職員
	93	日常生活自立支援事業 福祉関係機関との連携強化研修	583 583-583	12/25	1	【webライブ配信+オンデマンド配信】	制度の理解と審査のポイント、関係機関との関係構築について
	94	日常生活自立支援事業 新任生活支援員研修会	120 120-130	なし	1	映像DVDを作成の上、市町社協に配布	日常生活自立支援事業の概要について 先輩生活支援員の生きた声を聞こう
	95	日常生活自立支援事業 現任生活支援員研修会(東部・中西部)	100 140-168	11/18,24	各1	【集合研修(アサガエルテ・プラザおおりり)+webによるライブ配信(市町社協・自宅)】	支援員に必要な福祉的視点～生活支援員の役割～
	96	生活福祉資金新任担当者研修会	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡市	・生活福祉資金貸付制度の概要(「業務運営の手引き」) ・生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度の連携 講師: 県社協職員 他
97	生活福祉資金担当者会議	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止		静岡市	・生活福祉資金貸付事業における債権管理と借受人支援 ・日常的な借受人への寄り添い支援と生活福祉資金の役割	
専門技術力を身につける			3,928 3,074-2,924				

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
こども病院 加藤 光剛 氏, つばさ静岡 浅野 一恵 氏 静岡医療福祉センター 伊井 玄 氏, 橋本 潤子 氏	脳性麻痺の各論	4,500	-	-	-	-	-	経営支援課
静岡医療福祉センター 山内 一之 氏 他	脳性麻痺の訓練(実技を含む)	4,500	-	-	-	-	-	
静岡医療福祉センター 望月 達夫 氏, 森山 明夫 氏, 橋本 尚幸 氏 静岡てんかん神経医療センター 山崎 悦子 氏	成人脳性麻痺	4,500	-	-	-	-	-	
静岡医療福祉センター 橋本 尚幸 氏, 山内 一之 氏 他	成人脳性麻痺者のリハビリテーション	4,500	-	-	-	-	-	
	市町社協職員, 市町行政職員, 生活支援コーディネーター	無料	25 50.0%	24 48.0%	1 2.0%	0 0.0%	0	地域福祉課
	地域においてボランティアコーディネーターに関わる方等	無料	15 62.5%	8 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1	
県内行政事例報告: 藤枝市、南伊豆町、伊豆の国市、湖西市 県外事例報告: 八尾市社協、(福)創生会 講義: 静岡県立大学 教授 東野定律氏 ニッセイ基礎研究所: 前田展弘氏 静岡市福祉総務課、静岡市シニア向け就労サポート窓口マネージャー、高齢者就職コーディネーター	第1層及び第2層を活動対象とする生活支援コーディネーターとその候補者	無料	-	-	-	-	-	
公認会計士 杉山 明喜雄 氏	市町社協監事	無料	-	-	-	-	-	
	市町社協新任事務局長	無料	-	-	-	-	-	
柴田哲史氏(サイボウズ株式会社) 山崎博之氏(長野県社会福祉協議会)	市町社協職員	無料	-	-	-	-	-	
講師: 日本社会事業大学 准教授 菱沼 幹男 氏	地域福祉関係職員、地域包括支援センター関係職員	15,000	18 72.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	3	
講師: 日本社会事業大学 准教授 菱沼 幹男 氏	CSW養成研修受講者	無料	12 60.0%	2 10.0%	1 5.0%	0 0.0%	5	
県社協職員	市町社協専門員	無料	21 60.0%	10 28.6%	2 5.7%	0 0.0%	2	
県社協職員 県富士見学園施設長 鶴田安弘氏	市町社協専門員、高齢者・障害者関係の施設事業所従事者、ケースワーカー等	無料	119 73.9%	37 23.0%	5 3.1%	0 0.0%	0	
県社協職員 富士市社会福祉協議会 専門員 後藤友希氏 生活支援員 加藤富雄氏	市町社協新任生活支援員	無料	-	-	-	-	-	
県社協職員 県富士見学園施設長 鶴田安弘氏	市町社協現任生活支援員	無料	76 60.8%	44 35.2%	2 1.6%	0 0.0%	3	
市町社会福祉協議会職員(予定)	市町社協職員	無料	-	-	-	-	-	生活支援課
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	市町社協職員	無料	-	-	-	-	-	
			1,306 71.2%	463 25.2%	28 1.5%	1 0.1%	37	

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
対人関係 人間力を高める	98	コンプライアンス講座	60 38-25	9/25	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	福祉サービス事業従事者が最低限備えておくべき、コンプライアンスと職業倫理の基礎的知識の習得
	99	ハラメント研修 ～高齢者の生と性の理解～	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	人が豊かに生きていく上で欠かすことのできない「性」について理解を深め、福祉の現場で直面する問題への適切な向き合い方を考える
	100	権利擁護・成年後見セミナー(基礎編)	60 26-23	10/27	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する職員として必要な権利擁護・成年後見の基礎的知識の習得
	101	権利擁護・成年後見セミナー(実務編)	60 15-11	11/18	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	認知症高齢者や知的障がい者等を支援する職員として必要な権利擁護・成年後見の実践的知識の習得
	102	接遇・マナー・コミュニケーション講座 (中部)	60 56-41	9/18	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	接遇の心理学、ビジネスマナー、利用者・家族・スタッフ同士の連携を取るコミュニケーション、自分自身のこころのケアについて学ぶ
		接遇・マナー・コミュニケーション講座 (西部)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	三島商工会議所	
		接遇・マナー・コミュニケーション講座 (東部)	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	浜松市福祉交流センター	
	103	アンガーマネジメントを学ぶ講座	90 44-42	3/17	1	オンライン	介護の現場等で怒りの感情を上手にコントロールしながら相手と接するためのスキルを学ぶ
	104	スーパービジョン講座	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	福祉専門職を養成するためのスーパービジョンを学ぶ
	105	入居者家族とのより良い関係づくり講座 in web	90 21-20	2/15	1	オンライン	入居者家族が抱える想いを理解し、より良い関係づくりのためのポイントやアプローチ方法を学ぶ
106	共感を得る「ことば」講座	60 40-22	12/15	1	静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	DJボリスも学んだスピーチロックとは！？ 「相手を制限する言葉」から「相手を受け入れる言葉」を旨とし、「言葉選び」の重要性を考える	
リフレッシュ	107	福祉職場のストレスマネジメント講座 in web	90 25-25	12/11	1	オンライン	介護職・福祉職が抱えがちなストレスについて認識し、ストレスを上手にコントロールする方法を学び、心身共に安定した状態になることで、サービスの質の向上を図る
人間力を高める			570 265 - 219				
地域福祉を支える力を身につける	108	法定地区民児協会長研修会 (県民生委員児童委員協議会)	167 148-148	9/11	1	ホテルアソシア静岡	人生100年時代の体操入門～トップアスリートに学ぶ～
	109	主任児童委員研修会 (県民生委員児童委員協議会)	87 90-90	2/9	1	WEB配信	問題を抱えた家庭への相談援助の技法について
	110	相談援助技法研修会 (県民生委員児童委員協議会)	120 81-81	8/21, 9/3.30	3	賀茂地域: 県下田総合庁舎 東部地域: プラサヴェルデ 中・西部地域: 掛川グランドホテル	コミュニケーションの基本と相談援助の原則
	111	地域福祉教育推進ワークショップ	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			
	112	福祉の職場体験	160 169-160	4月～ 2月		県内	福祉の施設体験
	113	福祉の就職支援セミナー	100 75-75	10/20		静岡県総合社会福祉会館 (シズウエル)	・福祉職の大切さと魅力、就職活動の心得について ・求職登録相談コーナー 映画上映「ケアニン～ここに咲く花～」
	114	介護のシゴト復職応援セミナー	900 559-559	7/15～3/14	30	県内30か所	・介護に関する基本的な知識や技術の再確認及び、最新の知識及び技術の習得 ・介護現場の現状 など 講師: 介護現場の実践者等

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当 課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	28 80.0%	5 14.3%	2 5.7%	0 0.0%	0	研修 課
	老人福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	17 73.9%	6 26.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
コミュニケーションハウス 代表 坂倉 裕子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	31 77.5%	8 20.0%	1 2.5%	0 0.0%	0	
		6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
		6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
横浜市立大学 医学部看護学科 講師 田辺 有理子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する中堅職員以上の方	5,000 (3,000)	25 67.6%	12 32.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	-	-	-	-	-	
大妻女子大学 人間関係学部 人間福祉学科 准教授 井上 修一 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	8 80.0%	2 20%	0 0.0%	0 0.0%	0	
(株)はあもにい 代表取締役 大野 晴巳 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	6,000 (4,000)	14 66.7%	3 14.3%	2 9.5%	0 0.0%	2	
産業カウンセラー 横山美弥子 氏	社会福祉施設・介護保険事業所等に勤務する方	5,000 (3,000)	10 76.9%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	0	
			143 75.3%	40 21.1%	5 2.6%	0 0.0%	37	
中京大学名誉教授 湯浅 景元 氏	県民児協会員(法定地区民児協会長等)	無料	111 75.0%	8 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	29	地域 福祉 課
株式会社越谷心理支援センター代表 石渡 淳嗣 氏	県民児協会員(主任児童委員)	無料	43 47.8%	30 33.3%	4 4.4%	0 0.0%	13	
駒澤大学 教授 川上 富雄 氏	県民児協会員(民生委員・児童委員)	無料	46 56.8%	25 30.9%	3 3.7%	0 0.0%	7	
静岡福祉大学 准教授 楢木 博之 氏 他 社会福祉法人和松会 常務理事 板倉 幸夫 氏 他	福祉職に関心のある方、福祉職場に就労を希望する方	無料	68 93.2%	4 5.5%	0 0.0%	0 0.0%	1	人材 課
	福祉職場に就労を希望する方、関心のある方	無料	56 75.7%	3 4.1%	0 0.0%	0 0.0%	15	
㈱ツクイ 丸野さくら氏ほか	介護施設等の離職者で介護職に復帰を希望する方	無料	398 71.2%	93 16.6%	9 1.6%	2 0.4%	57	

分野	番号	研修名	定員	実施日	日数	会場	内容
			申込-受講				
地域福祉を支える力を身につける	115	保育士さん就職応援セミナー【中部1】				求人情報冊子「ほいくJob Book」セミナーページへの掲載	「てい先生」からの保育の仕事に就職、復職を考えているみなさんへの応援メッセージ
		保育士さん就職応援セミナー【西部】	- 10-10	1/16		プラザ(総合健康福祉会館)	最近の保育の傾向とは 10の姿とこれからの保育士に求められるもの
		保育士さん就職応援セミナー【中部2】	27 27-27	1/30		静岡県総合社会福祉会館シズウエル	選ばれる、頼りにされる保育士になるために、今、私ができること
		保育士さん就職応援セミナー【東部】	12 12-12	1/31		プラザヴェルデ	保育士としてのコミュカを上げよう！子どもへの言葉かけ、チームで保育をするということ
	116	フォローアップセミナー(新任職員対象)	65 65-65	11/5、11/9、 11/24		静岡市、浜松市、沼津市	・仕事のやりがいや魅力の再確認 ・事業所を超えた仲間づくり
	117	静岡DCAT登録員養成研修	新型コロナウイルス感染対策により中止	中止			静岡県災害派遣福祉チーム(静岡DCAT)として活動するための基礎知識を学ぶ
	118	静岡DCAT登録員スキルアップ研修第1弾	- -- 82	11/1~12/31		動画配信	登録員として必要な感染症の知識と活動場面に応じた対応策等を学ぶ
		静岡DCAT登録員スキルアップ研修第2弾	- -- 78	1/15~3/26		動画配信	長野県ふくしチームの活動事例から、災害時における福祉チームの活動の手順やポイントを学ぶ
119	静岡DCAT登録員エリア別情報交換会	90 50-50	①10/26 ②10/29 ③11/2		①レイアップ御幸町ビル(中部) ②アクトシティ浜松(西部) ③プラザヴェルデ(東部) 各会場オンライン参加も可	静岡DCAT登録員どうしの顔の見える関係づくりを進めるとともに、平時の取組の活性化を図る	
地域福祉を支える力を身につける			1,738 1,286 - 1,437				
合計			11,325 8,744 - 8,435				

講師	対象	受講料 (会員)	満足度(上段:件数(人)、下段:率(%))					担当課
			満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	
てい先生(保育士)	保育所等への就業を希望している方	無料						人材課
(同)キョウイクデザイン 教育アドバイザー 増田 実菜 氏(保育士)	保育所等への就業を希望している方	無料	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
てい先生(保育士)	保育所等への就業を希望している方	無料	13 76.5%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	1	
(同)キョウイクデザイン 教育アドバイザー 増田 実菜 氏(保育士)	保育所等への就業を希望している方	無料	5 55.6%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%	0	
コーチングアカデミー静岡校 校長 酒井 美保 氏	合同入職式に出席した方	無料	53 81.5%	12 18.5%	0 0.0%	0 0.0%	0	
	静岡DCAT登録員支援協力申出書を提出している法人・施設の所属職員	無料						経営支援課
浜松医科大学健康社会医学 教授 尾島 俊之 氏	静岡DCAT登録員	無料	31 37.8%	12 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	39	
長野県社会福祉協議会 まちづくりボランティアセンター 橋本 昌之 氏	静岡DCAT登録員	無料	16 20.5%	5 6.4%	0 0.0%	0 0.0%	57	
宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部 松岡 学 氏	静岡DCAT登録員	無料	34 68.0%	10 20%	0 0.0%	0 0.0%	6	
			881 66.0%	210 15.7%	16 1.2%	2 0.1%	225	
			3,078 66.3%	1,083 23.3%	78 1.7%	7 0.2%	398	

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670

静岡市葵区駿府町 1-70

TEL 054-254-5248 FAX 054-251-7508

令和3年6月